

クロス集計結果
(社会人)

表1	20代×結婚希望の有無	6
表2	こどもの人数0人×結婚意向なしの理由	7
表3	男性or女性×理想の結婚年齢	8
表4	男性or女性×結婚に対するイメージ	9
表5	結婚してこどもは持たず、仕事を続ける希望×結婚に対するイメージ	10
表6	結婚希望なし×結婚に対するイメージ	11
表7	こどもの人数0人×結婚のきっかけ	12
表8	未婚×結婚に繋がる出会いのシーン	13
表9	男性or女性×希望するライフスタイル	14
表10	雇用形態×希望するライフスタイル	15
表11	片働き×希望するライフスタイル	16
表12	結婚してこどもは持たず、仕事を続ける×子育てに対するイメージ	17
表13	理想のこどもの人数より現実の方が多×子育てに対するイメージ	18
表14	結婚希望なし×子育てに対するイメージ	19
表15	結婚してこどもを持ち結婚 (or出産) の機会に退職しその後は仕事をしない×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	20
表16	こどもの人数0人×働きながら子育てができる環境充実のために必要な支援	21
表17	片働き×働きながら子育てができる環境充実のために必要な支援	22
表18	20代or30代×こどもを産み育てていくために必要な資金	23
表19	結婚していない人×理想のこどもの人数	24
表20	現在持つこどもの人数×理想のこどもの人数	25
表21	理想のこどもの人数と現実のこどもの人数のギャップ×理想のこどもの人数	26
表22	結婚希望あり×理想のこどもの人数	27
表23	年代×現実的なこどもの人数	28
表24	結婚していない人×現実的なこどもの人数	29

(目次)	表25	現在持つこどもの人数×現実的なこどもの人数	3 0
	表26	こどもの人数における理想と現実のギャップ×現実的なこどもの人数	3 1
	表27	結婚希望なし×現実的なこどもの人数	3 2
	表28	年代×こどもの人数における理想と現実のギャップ	3 3
	表29	現在持つこどもの人数×こどもの人数における理想と現実のギャップ	3 4
	表30	結婚希望なし×こどもの人数における理想と現実のギャップ	3 5
	表31	20代or30代or40代×理想より現実に持つこどもの人数が少ない理由	3 6
	表32	こども3人以上×理想より現実に持つこどもの人数が少ない理由	3 7
	表33	20代×不妊治療経験	3 8
	表34	結婚していない人×不妊治療経験	3 9
	表35	こどもの人数×不妊治療経験	4 0
	表36	正規雇用×不妊治療期間の働き方	4 1
	表37	女性×30代×子育てに対するイメージ	4 2
	表38	女性×30代×既婚×子育てに対するイメージ	4 3
	表39	男性×既婚×子育てに対するイメージ	4 4
	表40	女性×30代×希望するライフスタイル×子育てに対するイメージ	4 5
	表41	30代×希望するライフスタイル×子育てに対するイメージ	4 6
	表42	女性×20代×既婚×必要な子育て支援	4 7
	表43	女性×20代or30代×大卒・短大・高専（大学院含む）卒×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	4 8
	表44	20代or30代×大学・短大・高専（大学院含む）卒×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	4 9
	表45	女性×20代or30代×正規雇用×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	5 0
	表46	女性×20代×未婚×正規雇用×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	5 1
	表47	女性×30代×既婚×正規雇用×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	5 2

表48	女性×30代or40代×結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、 再び仕事をする×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	5 3
表49	30代or40代×結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、 再び仕事をする×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援	5 4
表50	女性×20代or30代×こどもを産み育てていくために必要な資金	5 5
表51	女性×30代×理想のこどもの人数と現実にギャップあり×こどもを産み育てていくために必要な資金	5 6
表52	女性×30代×熊本市在住×不便さを感じる交通機関	5 7
表53	男性×未婚×理想のこどもの人数	5 8
表54	女性×20代×未婚×理想のこどもの人数	5 9
表55	女性or男性×30代×熊本市在住×現実的なこどもの人数	6 0
表56	30代×熊本市在住×現実的なこどもの人数	6 1
表57	女性×理想のこどもの人数より現実に持つこどもの人数が少ないor同じor多い×現実的なこどもの人数	6 2
表58	女性×20代×結婚希望あり×現実的なこどもの人数	6 3
表59	女性×20代×現実的なこどもの人数	6 4
表60	男性or女性×20代×こどもの人数における理想と現実のギャップ	6 5
表61	女性×20代×理想のこどもの人数より現実に持てるこどもの人数が少ない理由	6 6
表62	女性×20代or30代×こども1人×若年層定着のために充実させるべきもの	6 7
表63	男性×30代or40代or50代×結婚に対するイメージ	6 8
表64	女性×40代×結婚希望なし×結婚に対するイメージ	6 9
表65	女性×結婚希望なし×結婚に対するイメージ	7 0
表66	女性×未婚×結婚に繋がる出会いのシーン	7 1
表67	30代×未婚×結婚に繋がる出会いのシーン	7 2
表68	男性×20代or30代or40代or50代×希望するライフスタイル	7 3

本報告書では、「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査集計結果報告書について、クロス集計によりさらに細かく分析を行った。

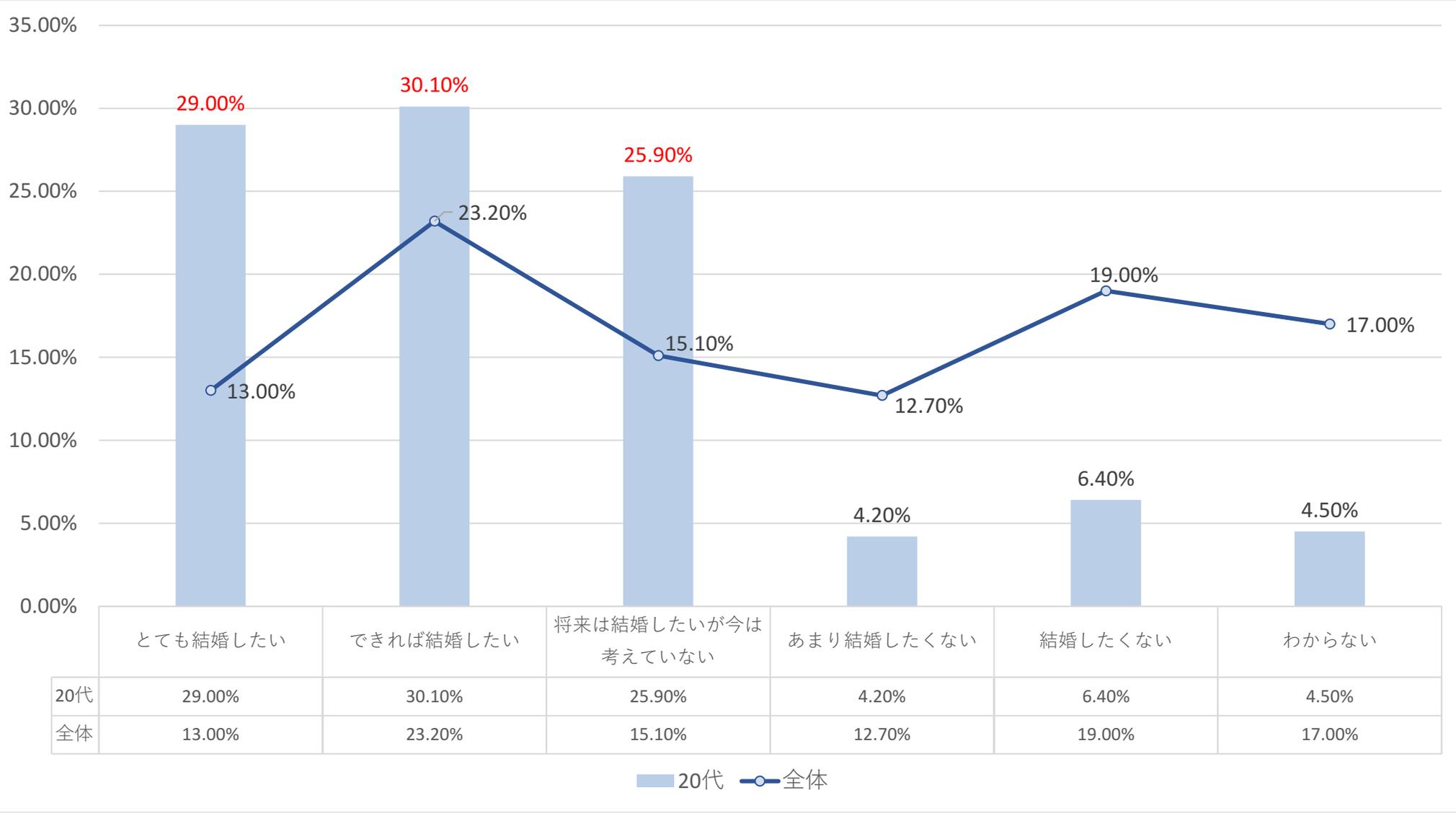
クロス集計結果と「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査集計結果報告書(単純集計:以降「全体」)とを比較し、10ポイント以上の差が見られた項目について、サンプルボリュームが明らかに小さいものを除き本報告書としてまとめた。また、分析に当たっては、クロス集計項目ごとに調査票の全ての質問に対してクロス集計を行っているが、本報告書では、クロス集計結果のうち、 χ^2 乗検定の下で有意水準0.1%で有意な差が認められた項目を掲載している。

χ^2 乗検定

χ^2 乗検定とは、観測値と期待値のずれを測るための統計量である χ^2 乗値を用い、クロス集計表の2つの変数が関連を調べる検定方法のことである。本報告書では、 χ^2 乗検定の結果得られた検定統計量p値が0.001未満であれば、有意水準0.1%で統計学的に有意な差が認められると判断する。

表1 20代×結婚希望の有無

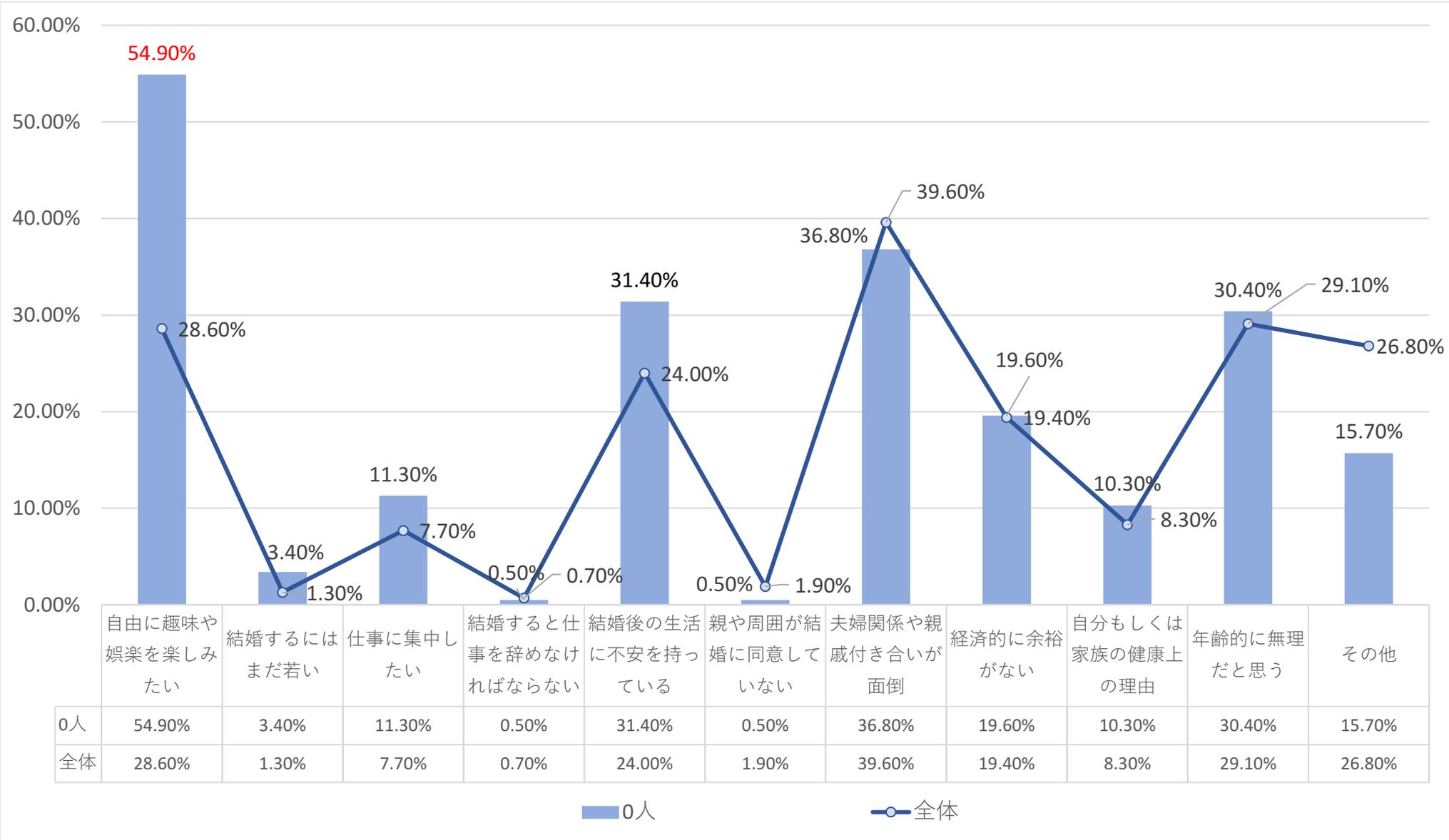
20代は、将来の結婚希望として「とても結婚したい」「できれば結婚したい」「将来は結婚したいが今は考えていない」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q2年齢×Q14結婚希望（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=380.6$ 自由度=20 $p<0.001$

表2 こどもの人数0人×結婚意向なしの理由

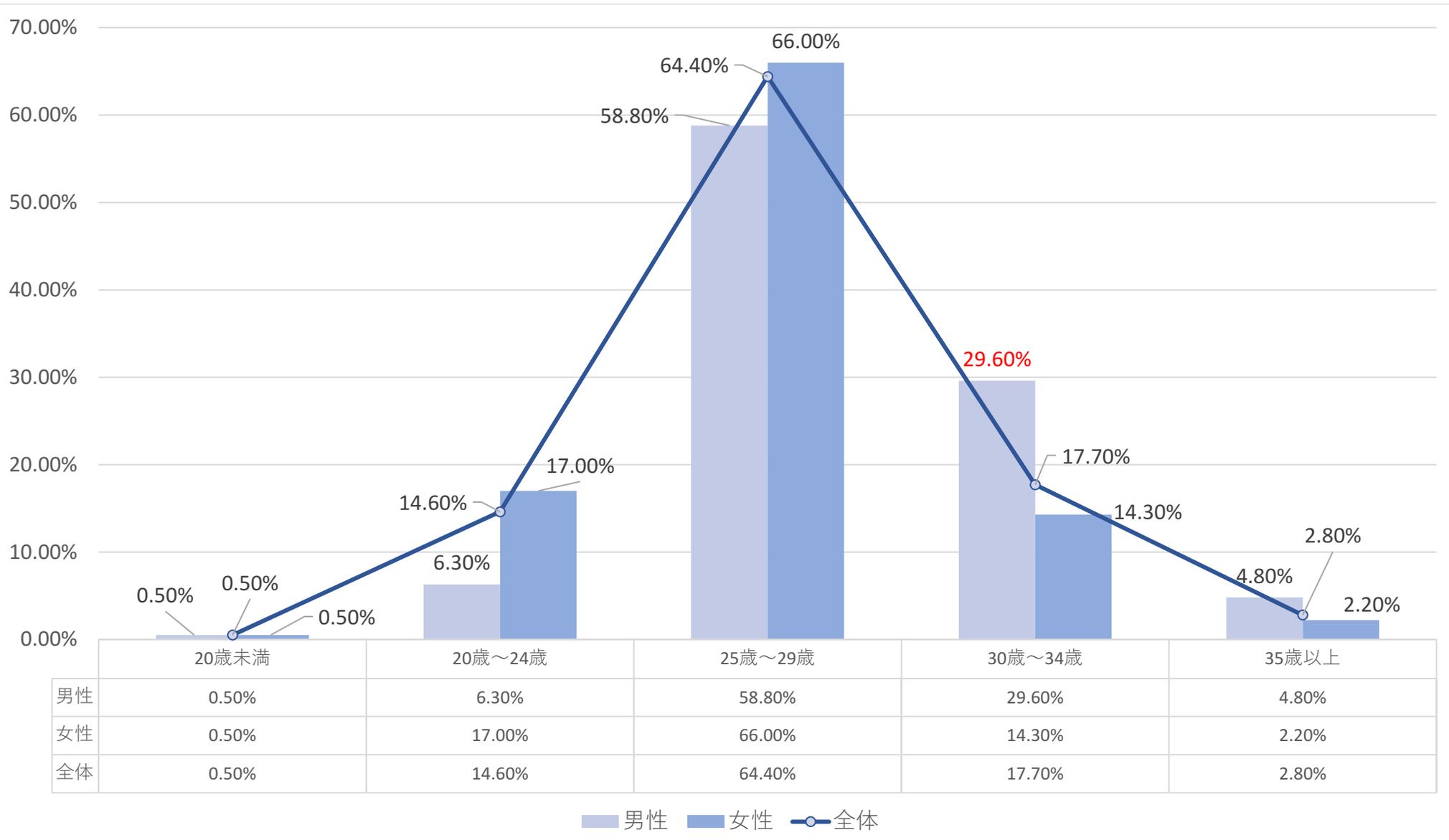
こどもを持っていない人で結婚の意向がない理由として「自由に趣味や娯楽を楽しみたい」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q34こどもの人数×Q15結婚したくない理由「自由に趣味や娯楽を楽しみたい」 (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=100.5$ 自由度=3 $p<0.001$

表3 男性or女性×理想の結婚年齢

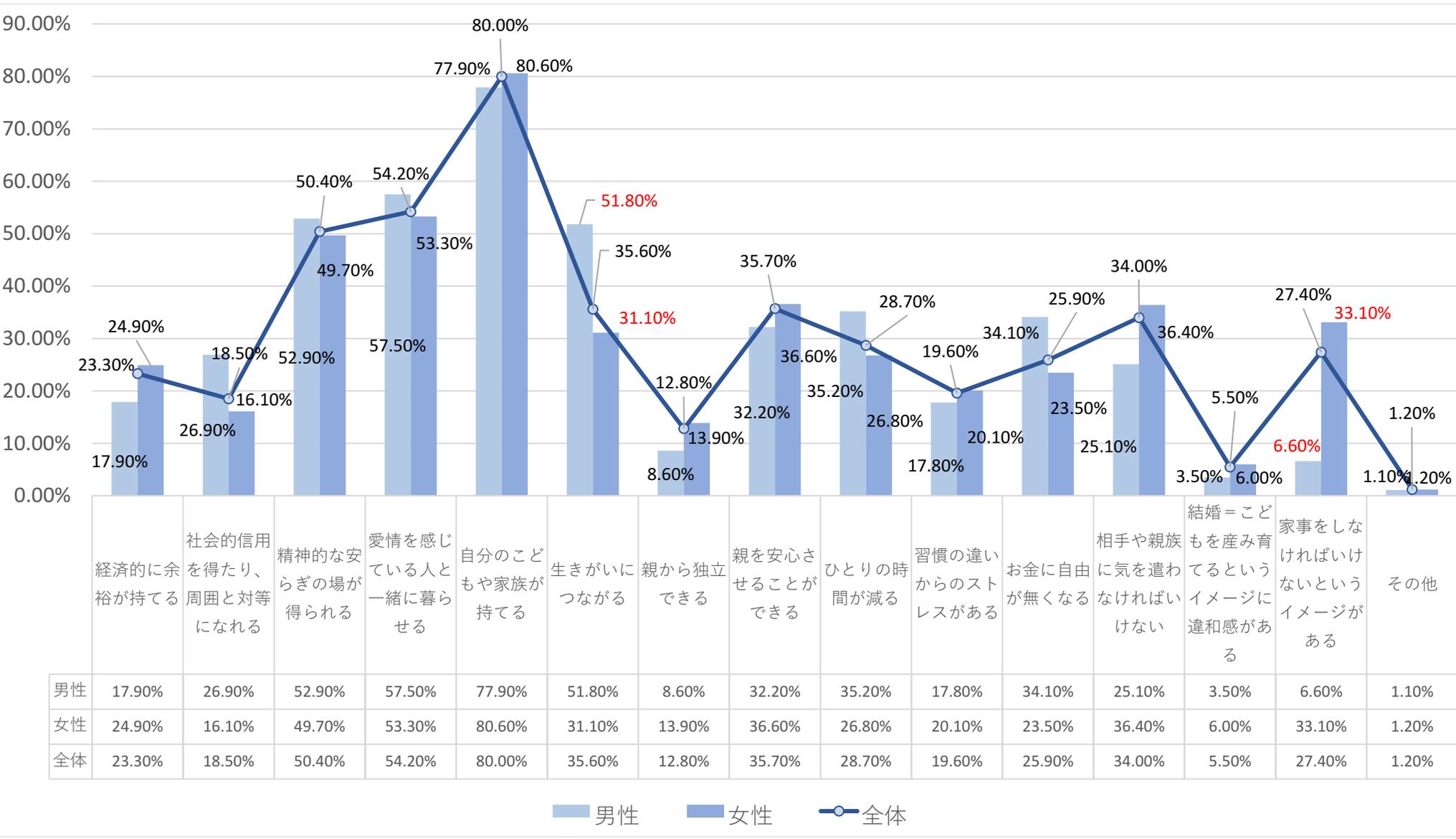
男女ともに理想の結婚年齢として「25歳～29歳」を最も多く回答。また、男性の理想の結婚年齢として「30歳～34歳」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別×Q16理想の結婚年齢（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=330.6$ 自由度=8 $p<0.001$

表4 男性or女性×結婚に対するイメージ

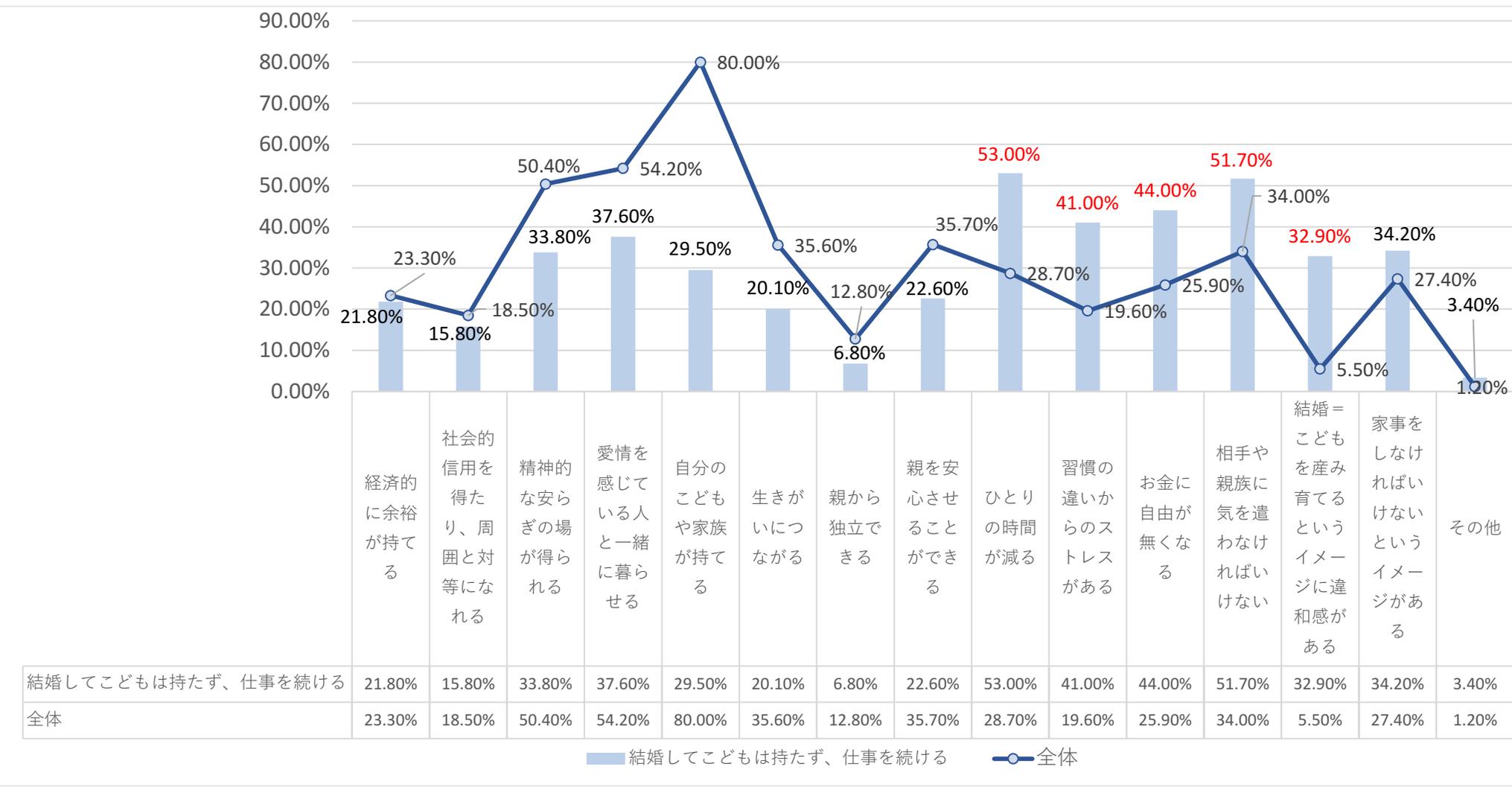
男女ともに結婚に対するイメージとして「自分の子どもや家族が持てる」を最も多く回答。男性は女性より結婚が「生きがいにつながる」と考える傾向。女性は「家事をしなければいけないというイメージがある」が男性に比べて高い傾向。



Q1性別×Q20結婚に対するイメージ「生きがいにつながる」 (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=268.1$ 自由度=2 $p<0.001$

表5 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける希望×結婚に対するイメージ

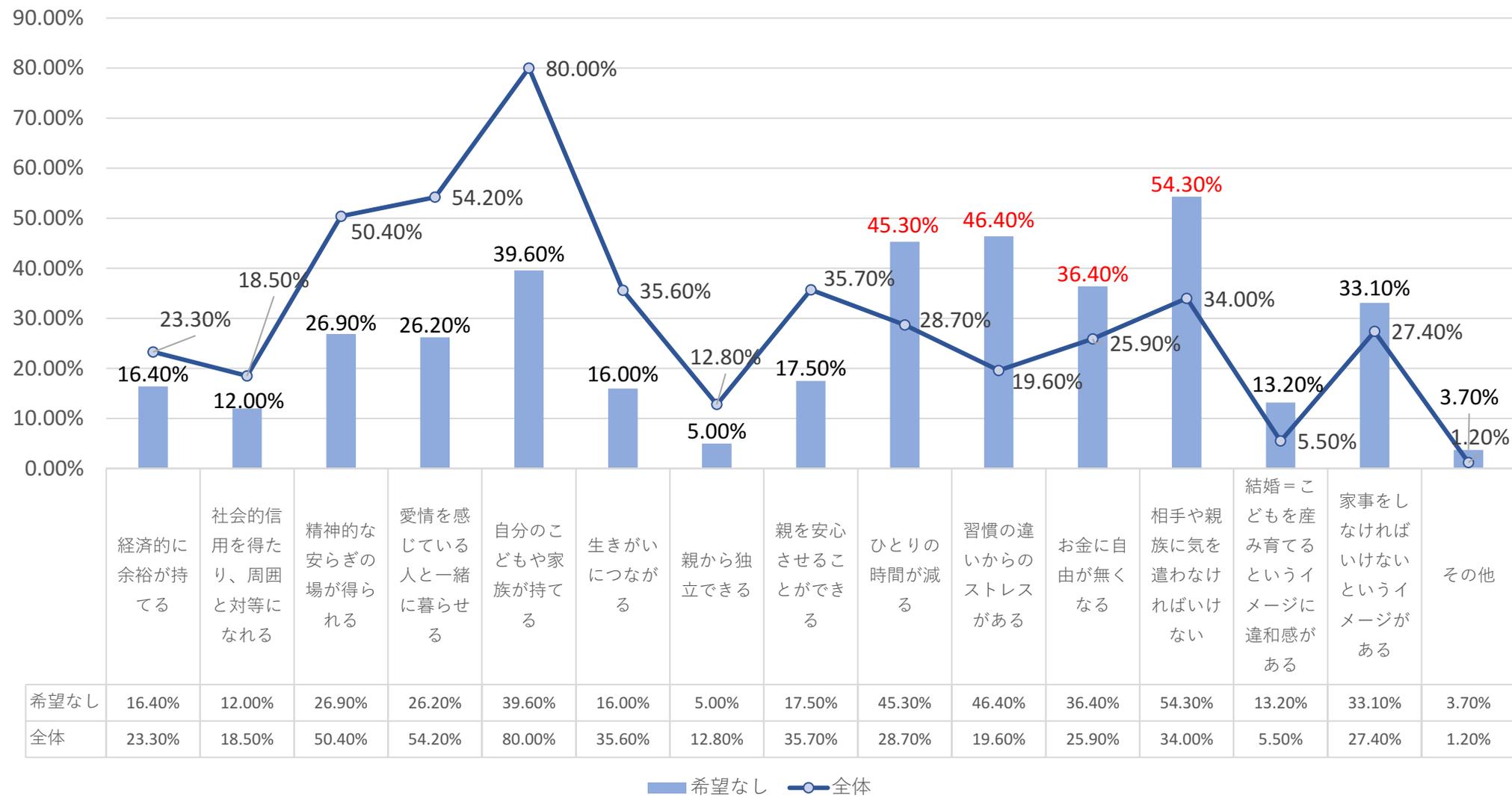
結婚してこどもは持たず、仕事を続けることを希望する人は、結婚に対するイメージとして「ひとりの時間が減る」「習慣の違いからのストレスがある」「お金に自由が無くなる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」「結婚＝こどもを産み育てるというイメージに違和感がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q23希望するライフスタイル×Q20結婚に対するイメージ「結婚＝こどもを産み育てるというイメージに違和感がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=366.0$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q23希望するライフスタイル×Q20結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=77.6$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q23希望するライフスタイル×Q20結婚に対するイメージ「お金に自由が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=59.2$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q23希望するライフスタイル×Q20結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=79.4$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q23希望するライフスタイル×Q20結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=84.1$ 自由度=4 $p<0.001$

表6 結婚希望なし×結婚に対するイメージ

結婚を希望していない人は、結婚に対するイメージとして「ひとりの時間が減る」「習慣の違いからのストレスがある」「お金に自由が無くなる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q14結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=83.0$ 自由度=1 $p<0.001$

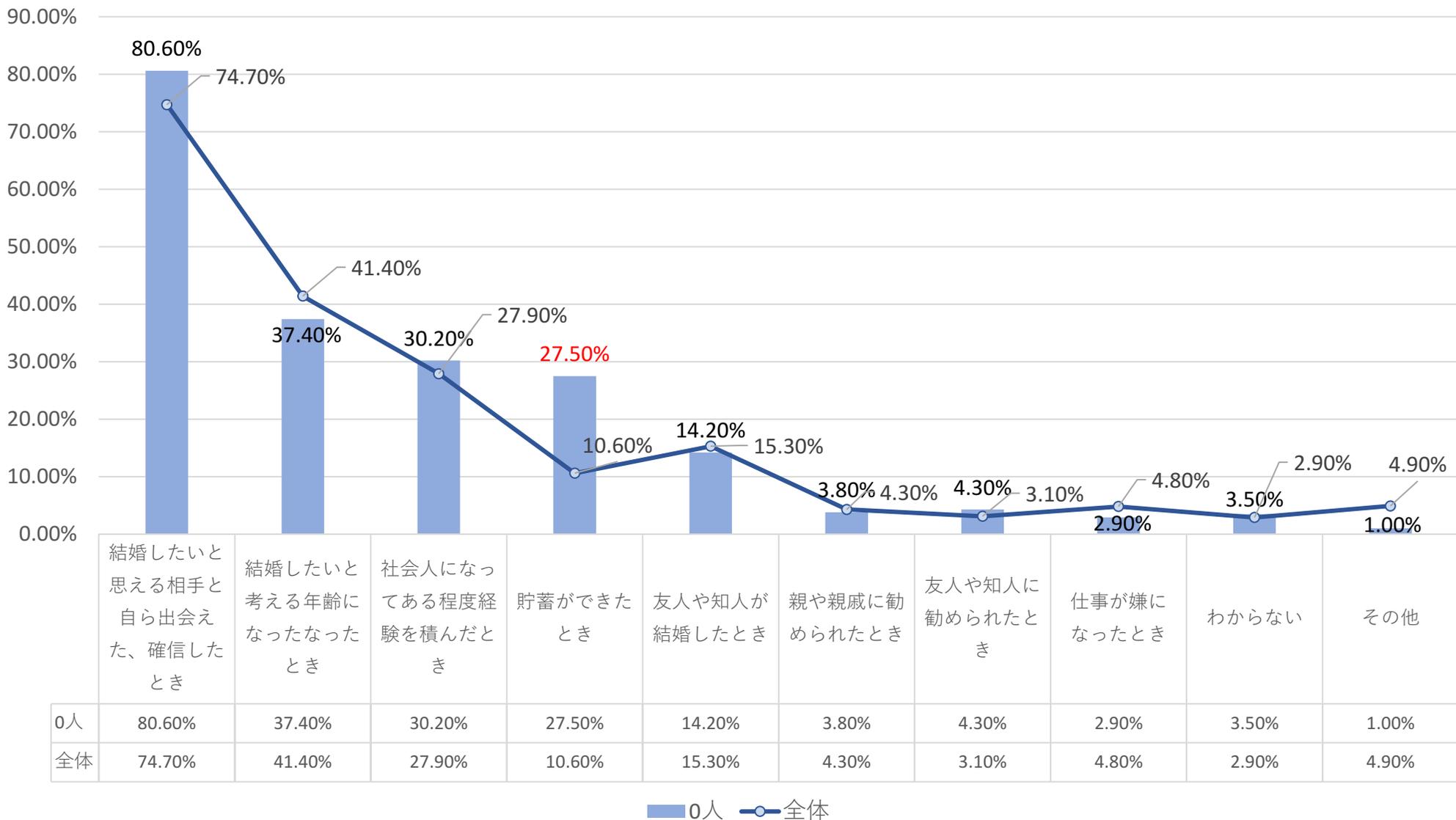
Q14結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「お金に自由が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=21.1$ 自由度=1 $p<0.001$

Q14結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=113.1$ 自由度=1 $p<0.001$

Q14結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=32.0$ 自由度=1 $p<0.001$

表7 こどもの人数0人×結婚のきっかけ

こどもを持っていない人は、結婚のきっかけとして「結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき」を最も多く回答。また「貯蓄ができたとき」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

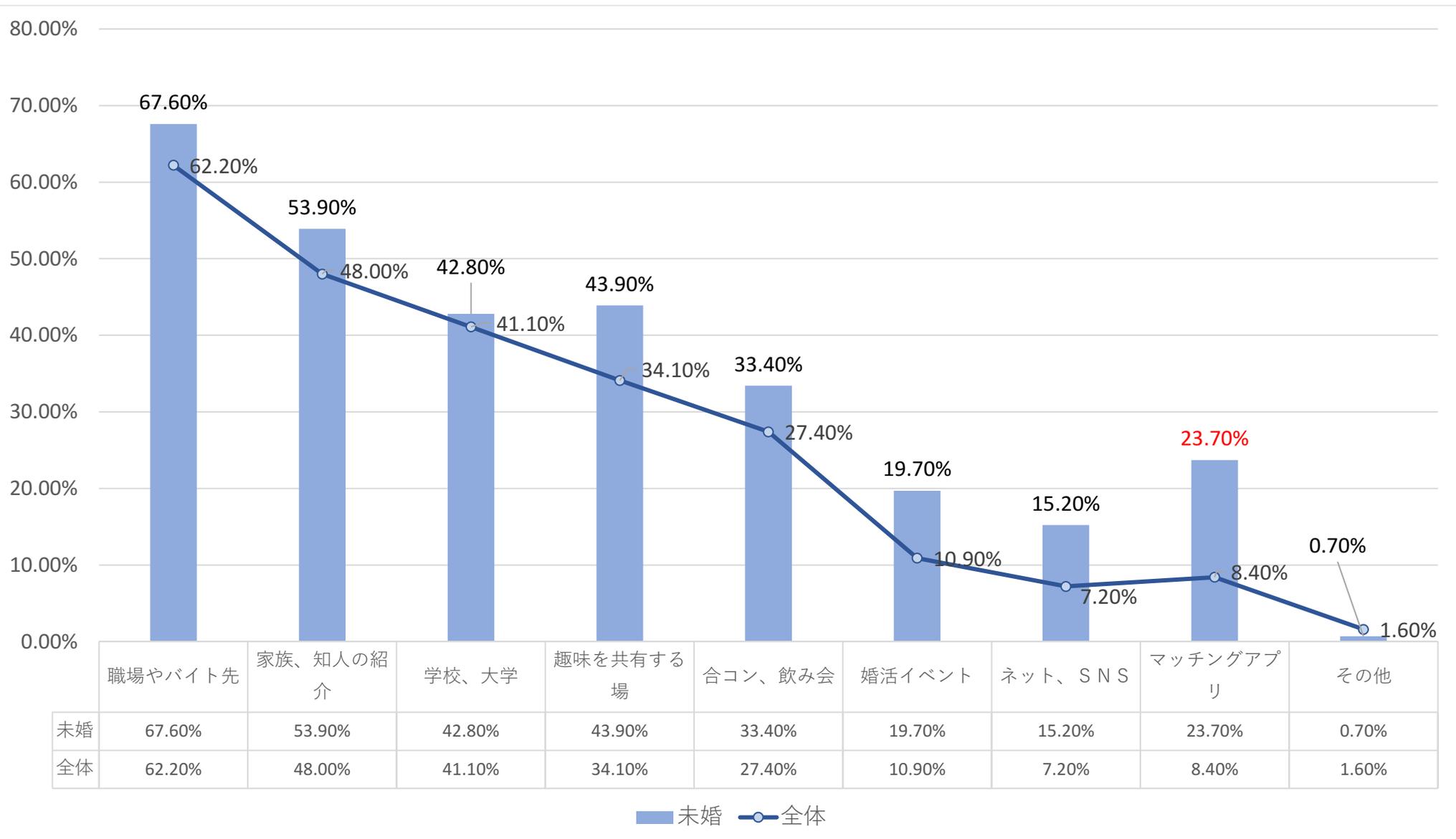


Q34こどもの人数×Q21結婚のきっかけ「貯蓄ができたとき」 (※表は一部抜粋)

$\chi^2=245.1$ 自由度=3 $p<0.001$

表8 未婚×結婚に繋がる出会いのシーン

未婚者は、結婚に繋がると思う出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「マッチングアプリ」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

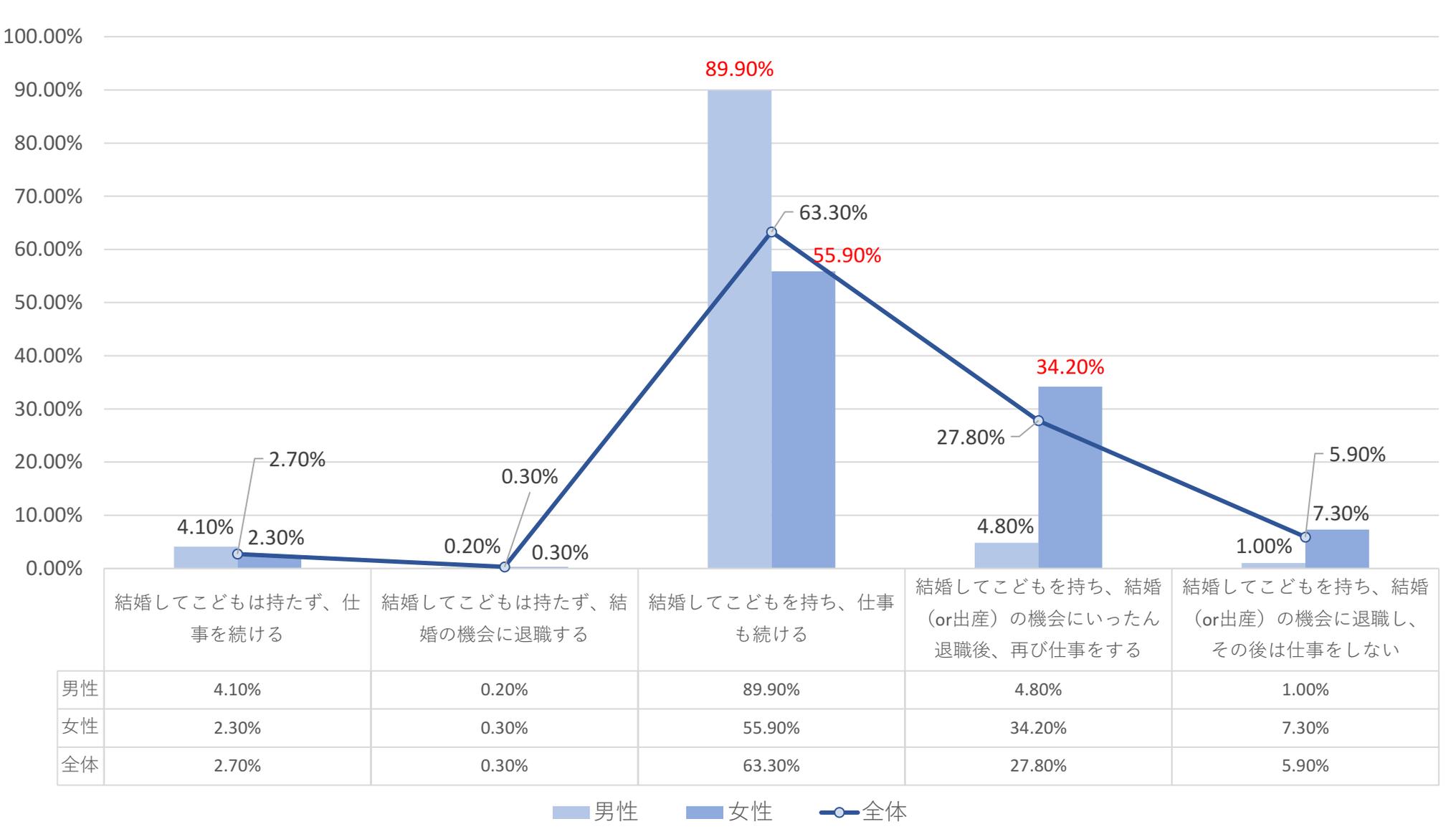


Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「マッチングアプリ」 (※表は一部抜粋)

$\chi^2=234.7$ 自由度=1 $p<0.001$

表9 男性or女性×希望するライフスタイル

男女ともに、希望するライフスタイルとして「結婚して子どもを持ち、仕事も続ける」を最も多く回答し、男性は全体の回答と比較しても多い傾向。また、女性は「結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別×Q23希望するライフスタイル（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=842.8$ 自由度=8 p<0.001

表10 雇用形態×希望するライフスタイル

正規雇用の方は、希望するライフスタイルとして「結婚して子どもを持ち、仕事も続ける」を最も多く回答し、男性は全体の回答と比較しても多い傾向。その他の雇用形態の方は、正規雇用の方と比べ「結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

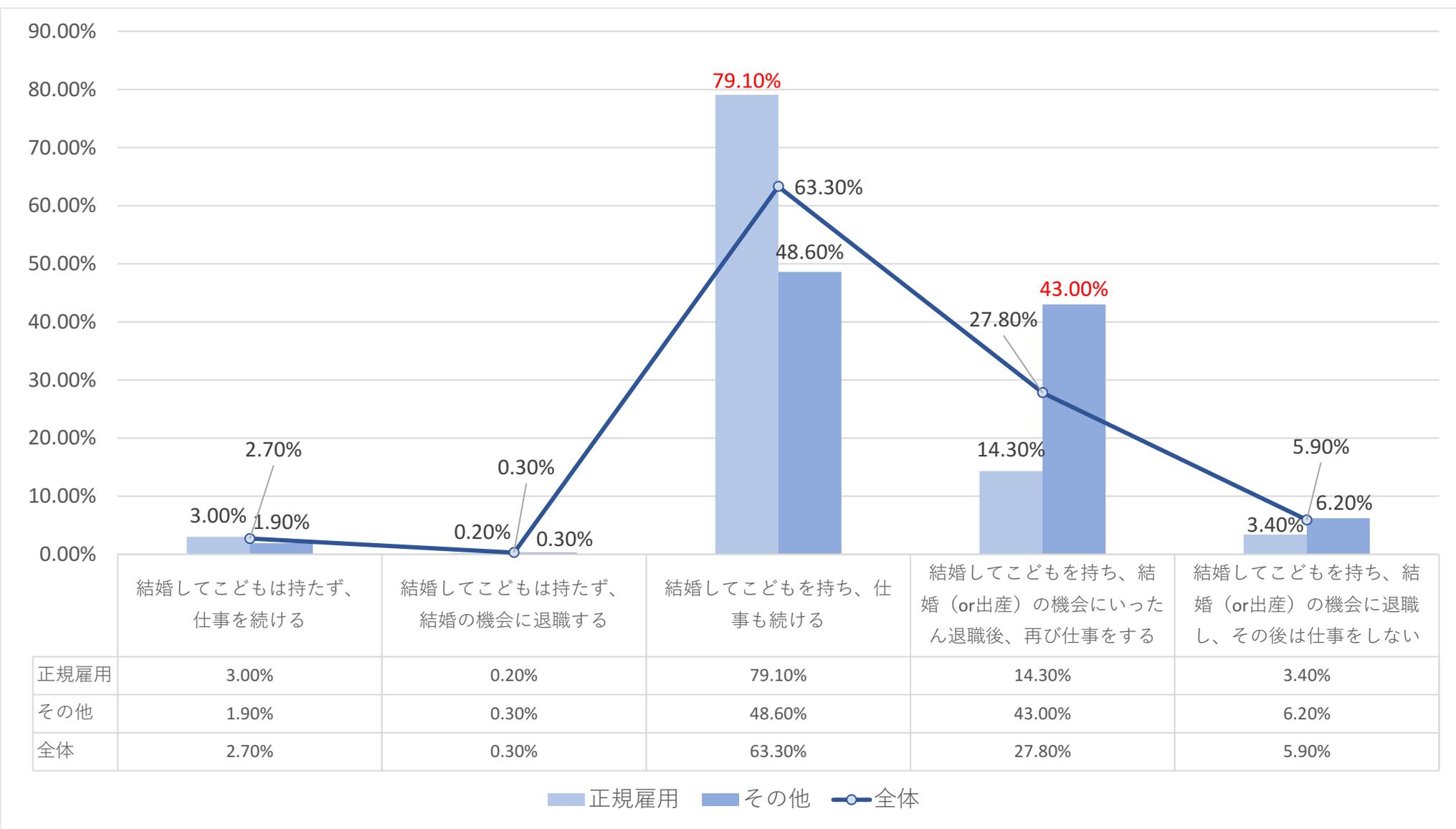
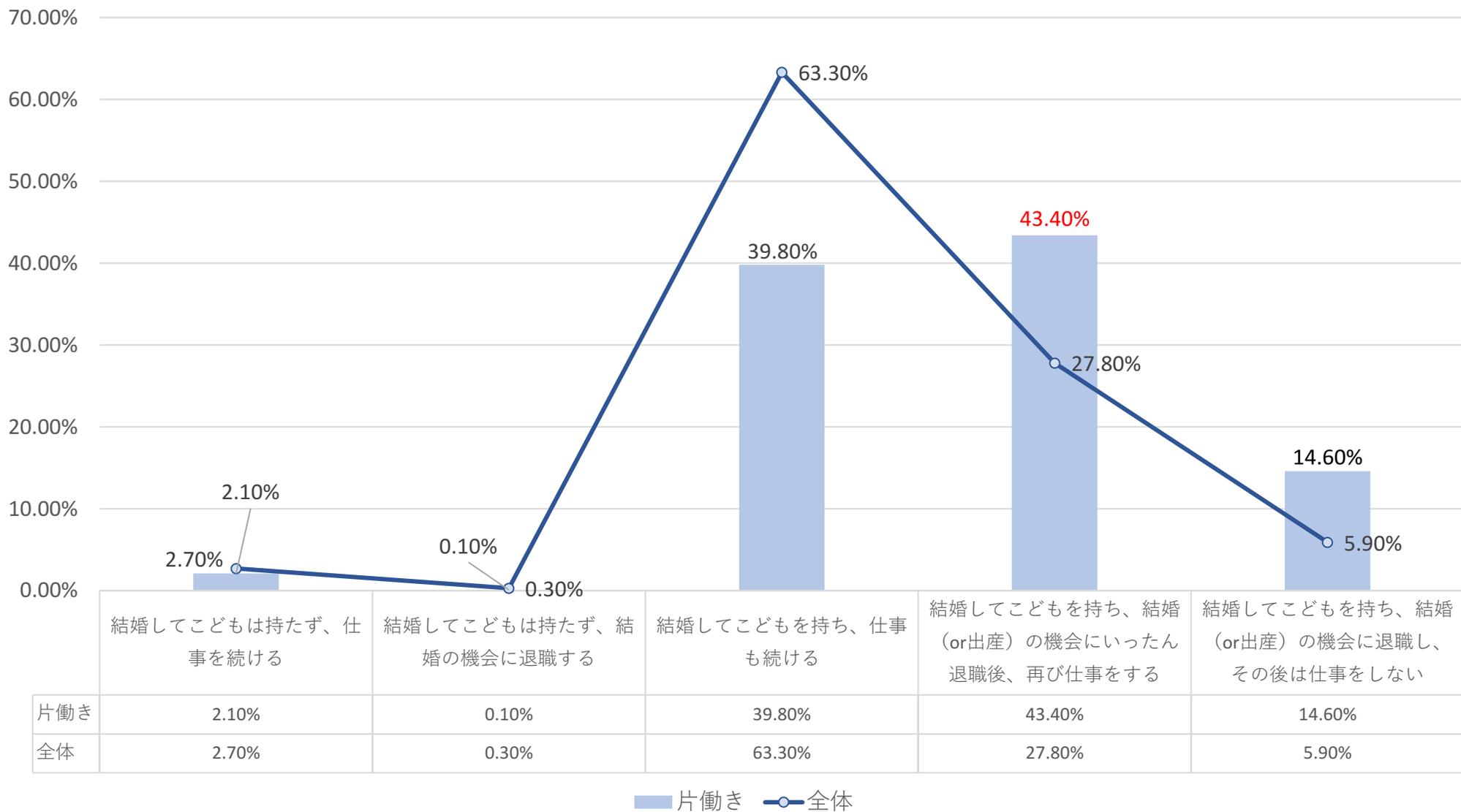


表11 片働き×希望するライフスタイル

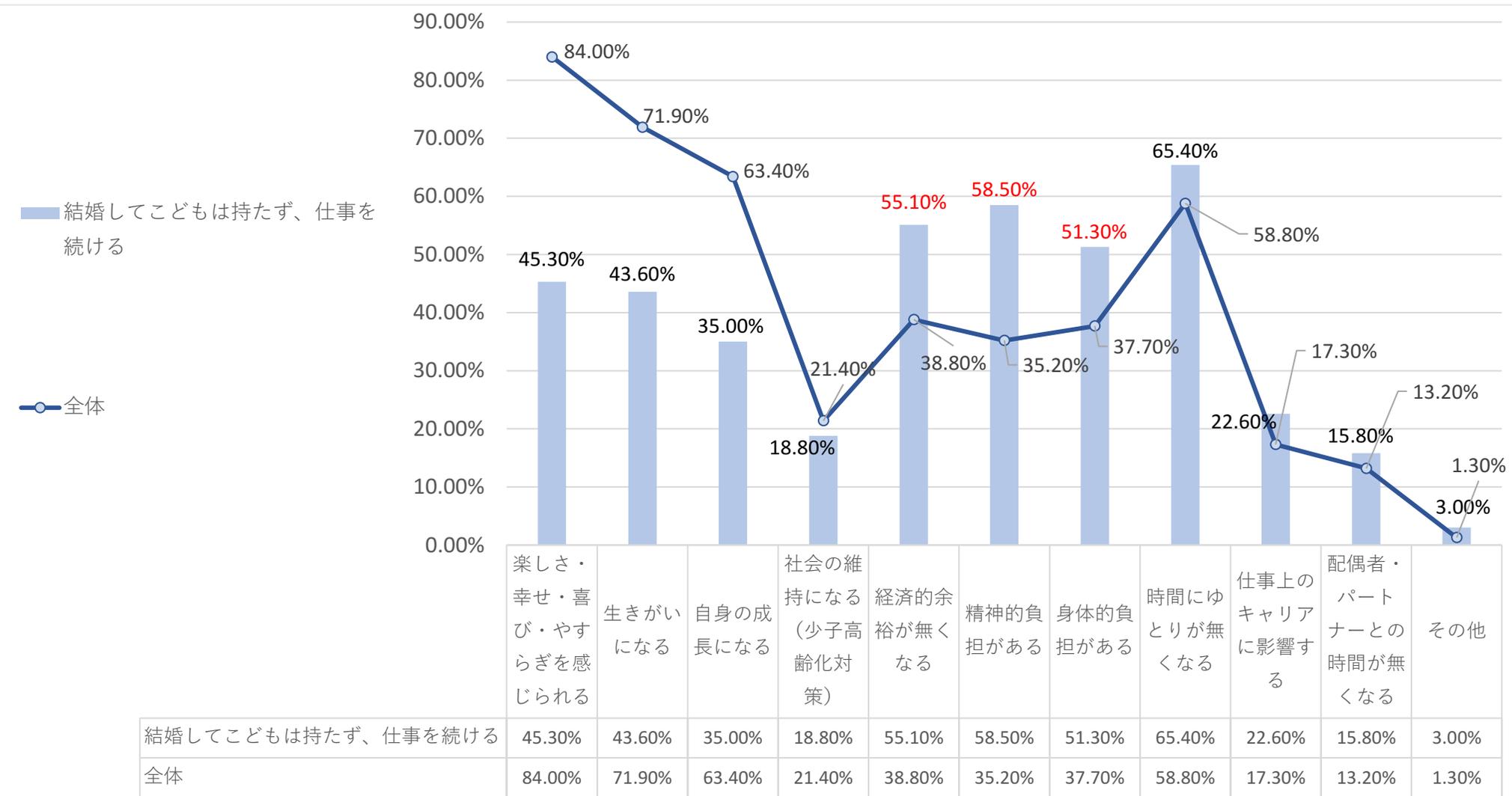
夫婦のうち片方が働いている家庭が希望するライフスタイルとして「結婚・出産後に一度退職して再び仕事をする」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q13働き方×Q23希望するライフスタイル (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=378.7$ 自由度=8 $p<0.001$

表12 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける×子育てに対するイメージ

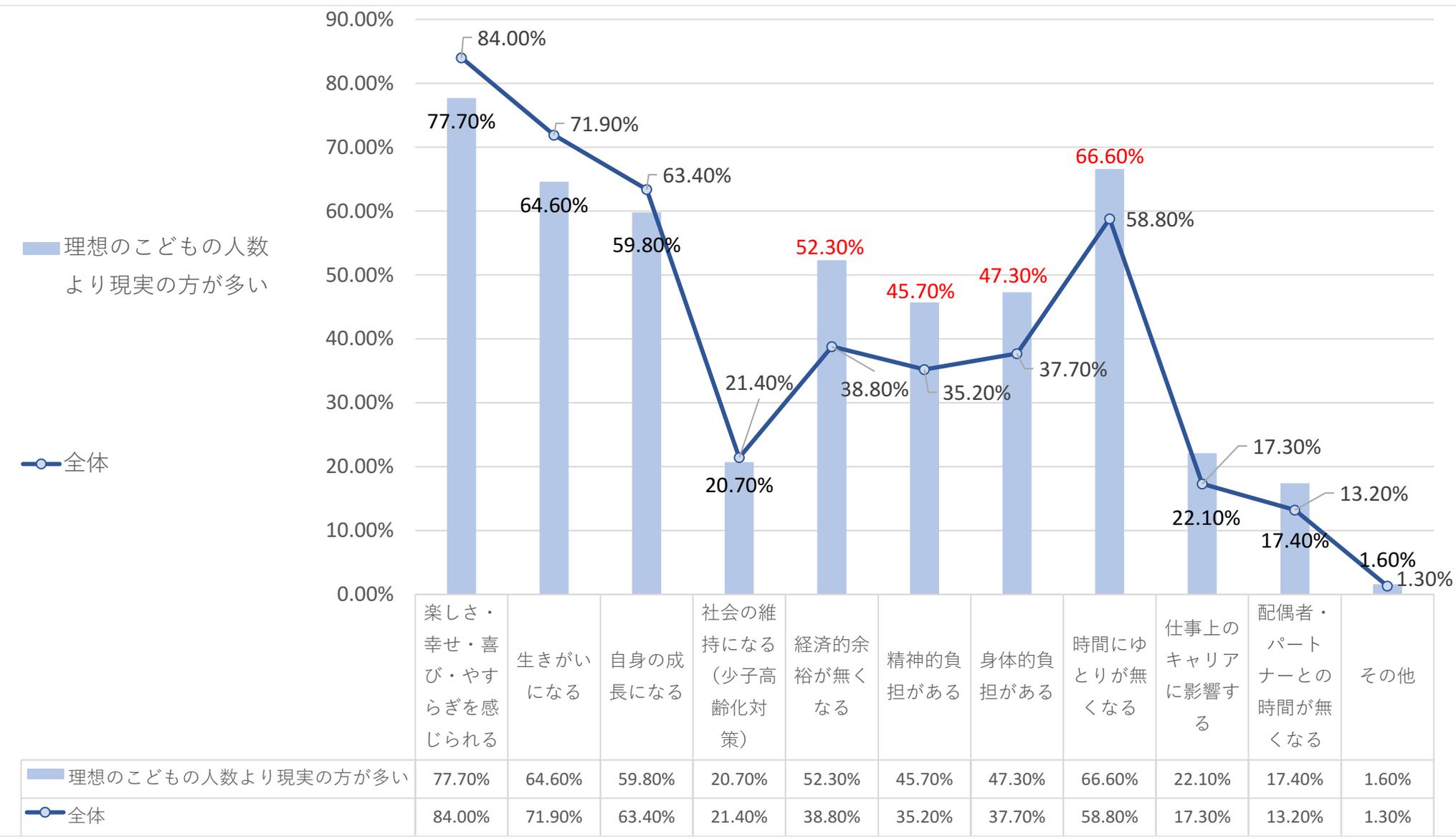
結婚してこどもは持たず、仕事を続けることを希望する人は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=68.5$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「精神的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=94.8$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「身体的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=39.4$ 自由度=4 $p<0.001$

表13 理想のこどもの人数より現実の方が多し×子育てに対するイメージ

理想のこどもの人数より現実の方が多し人は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q35, 36理想と現実のギャップ×Q25子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=69.7$ 自由度=1 $p<0.001$

Q35, 36理想と現実のギャップ×Q25子育てに対するイメージ「精神的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=52.1$ 自由度=1 $p<0.001$

表14 結婚希望なし×子育てに対するイメージ

結婚を希望していない人は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「身体的負担がある」「精神的負担がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



表15 結婚して子どもを持ち結婚（or出産）の機会に退職しその後は仕事をしない×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会に退職し、その後は仕事をしないことを希望する人は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「子どもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境」を最も多く回答。また、「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

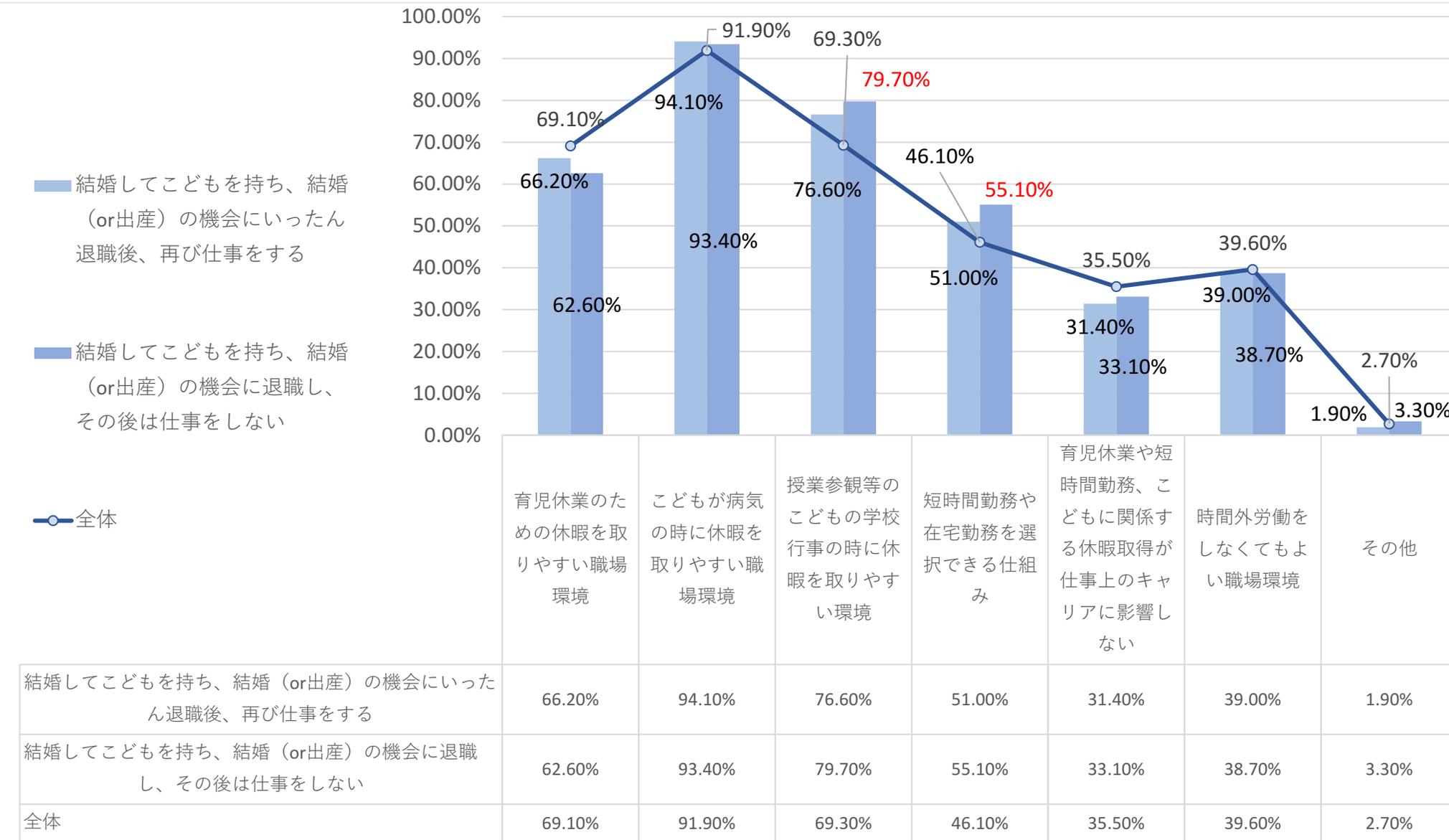


表16 こどもの人数0人×働きながら子育てができる環境充実のために必要な支援

こどもを持っていない人は、働きながら子育てができる環境充実のために必要な支援として「こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境」を最も多く回答。「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

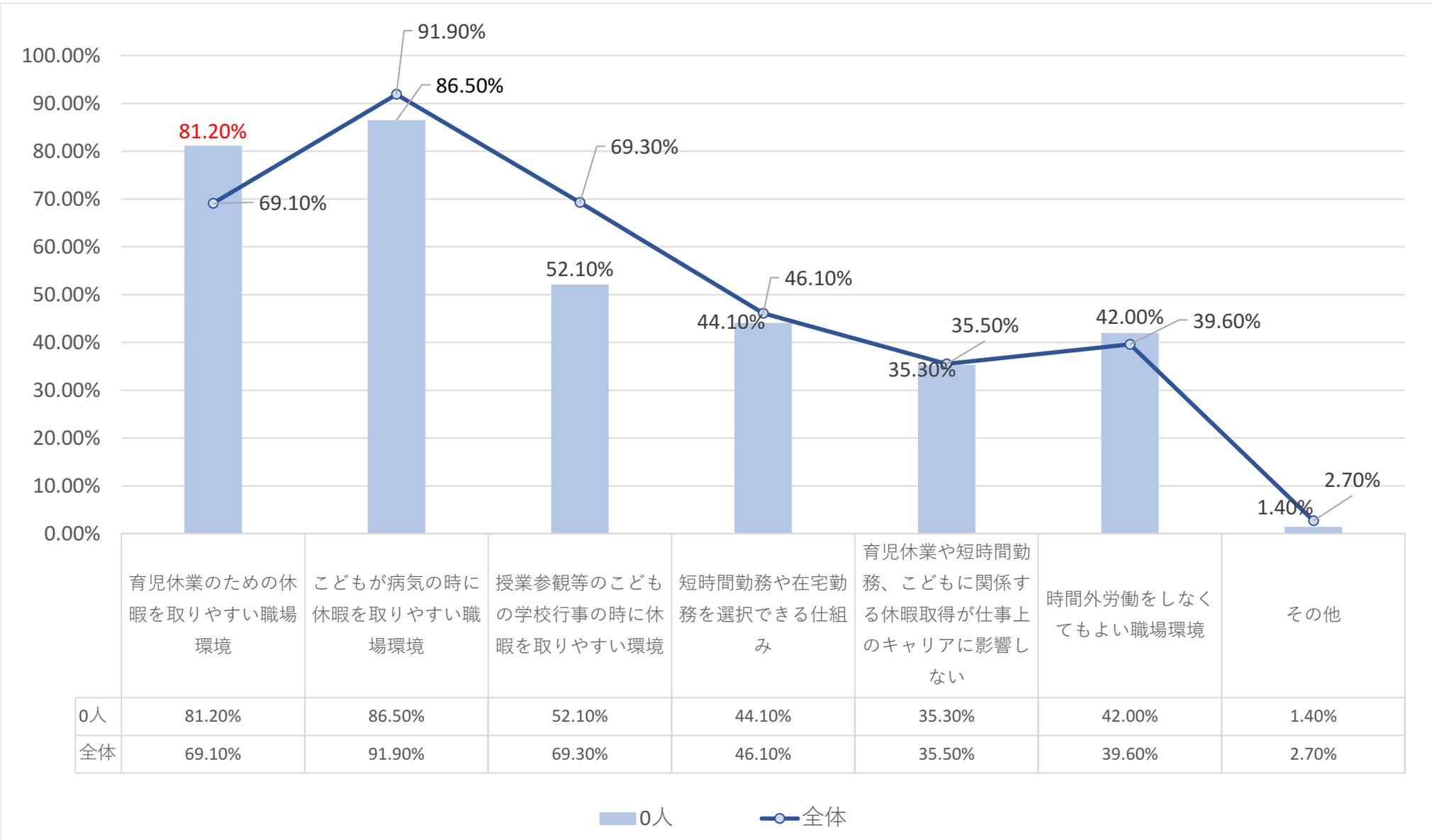


表17 片働き×働きながら子育てができる環境充実のために必要な支援

夫婦のうち片方が働いている人は、働きながら子育てができる環境充実のために必要な支援として「子どもが病気の際に休暇を取りやすい職場環境」を最も多く回答。また、「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

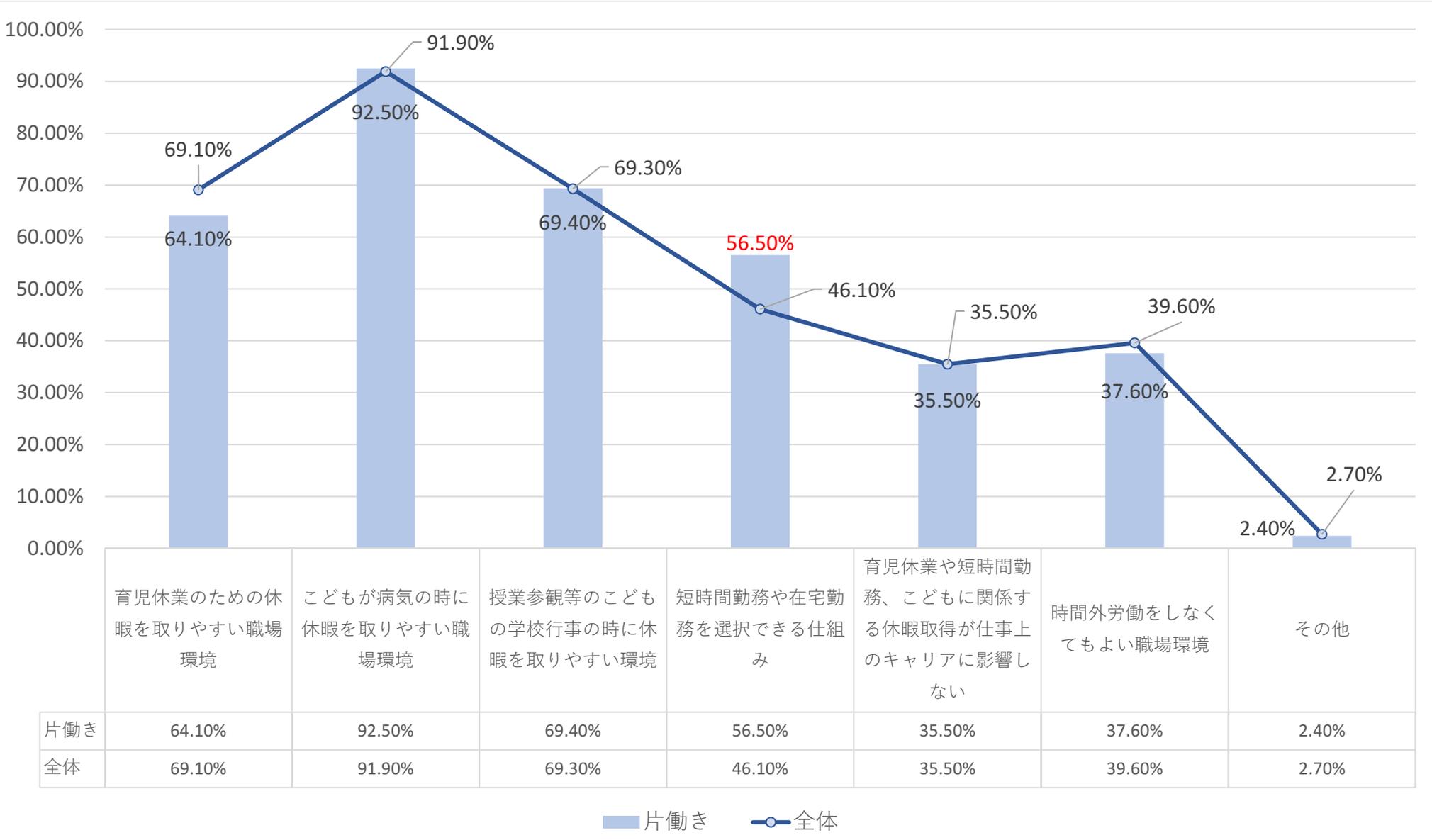
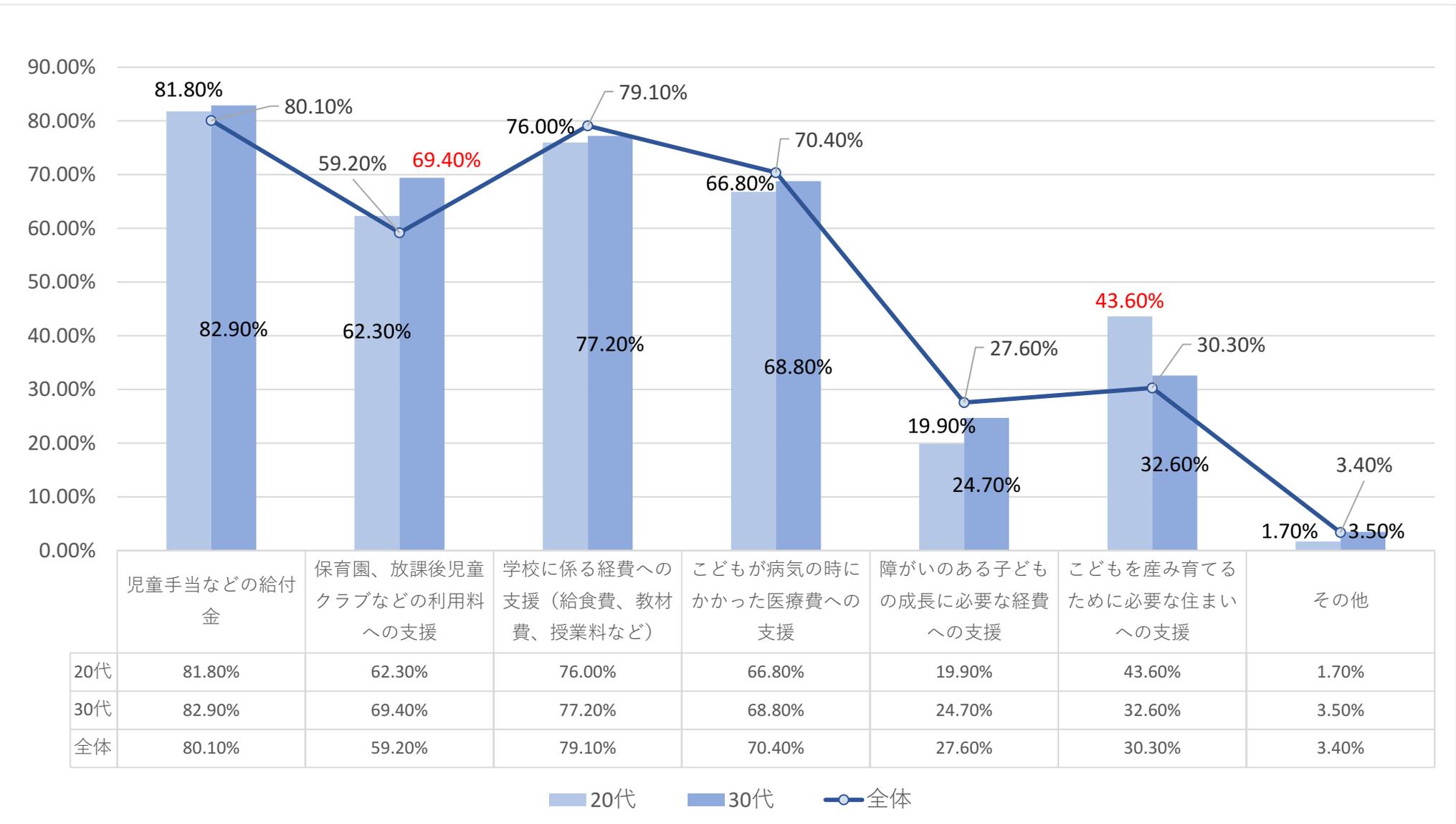


表18 20代or30代×子どもを産み育てていくために必要な資金

子どもを産み育てていくために必要な資金として20代も30代も「児童手当などの給付金」を最も多く回答。また、20代では「住まいへの支援」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。30代は「保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q2年齢×Q28必要な資金「保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援」（※表は一部抜粋） $\chi^2=199.7$ 自由度=4 $p<0.001$

Q2年齢×Q28必要な資金「子どもを産み育てるために必要な住まいへの支援」（※表は一部抜粋） $\chi^2=98.7$ 自由度=4 $p<0.001$

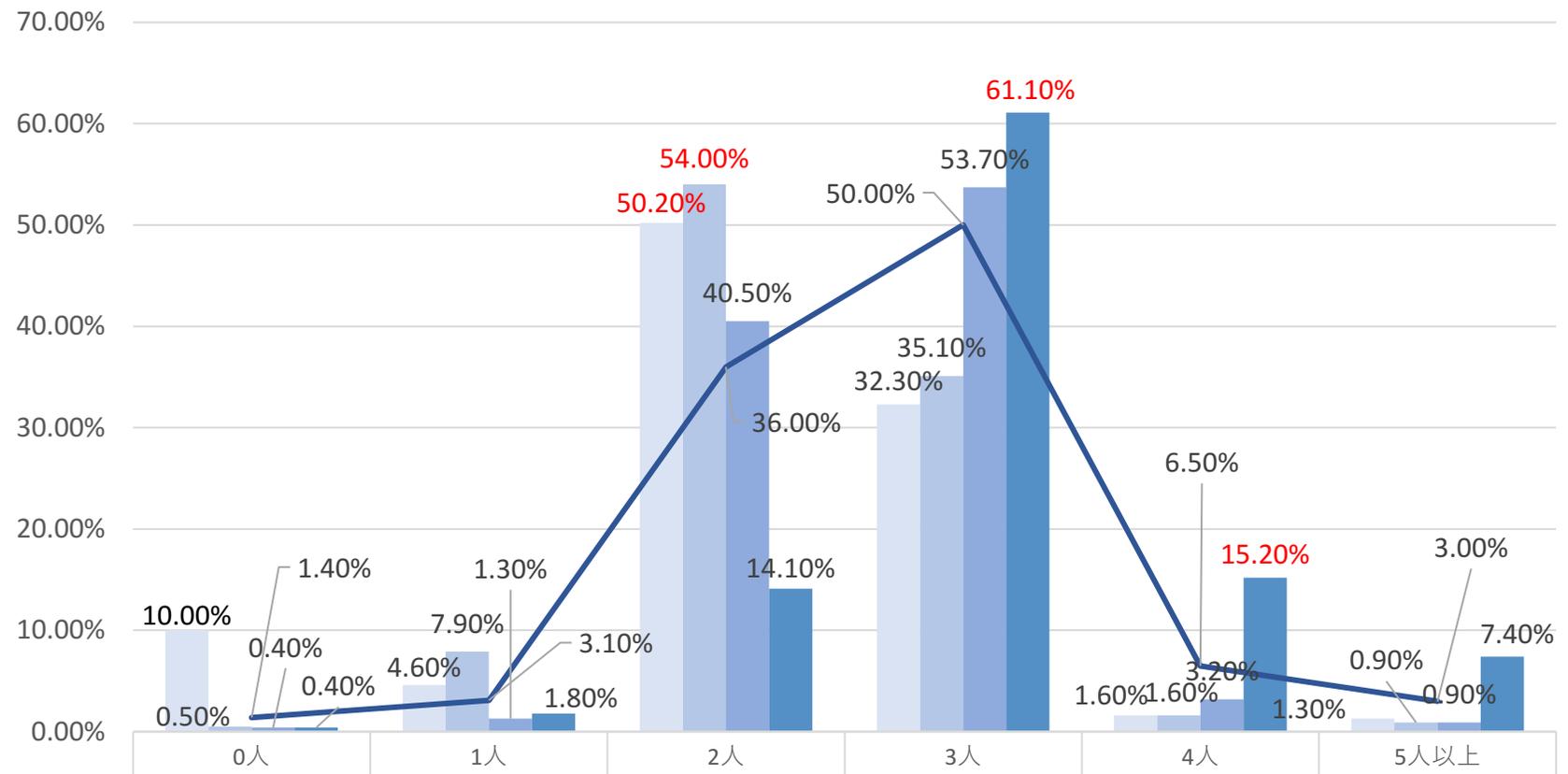
表19 結婚していない人×理想のこどもの人数

結婚していない人の理想のこどもの人数は「2人」を最も多く回答し、全体の回答と比較しても多い傾向。



表20 現在持つこどもの人数×理想のこどもの人数

こどもを持つ人数が多い人ほど、理想のこどもの人数も多い傾向。

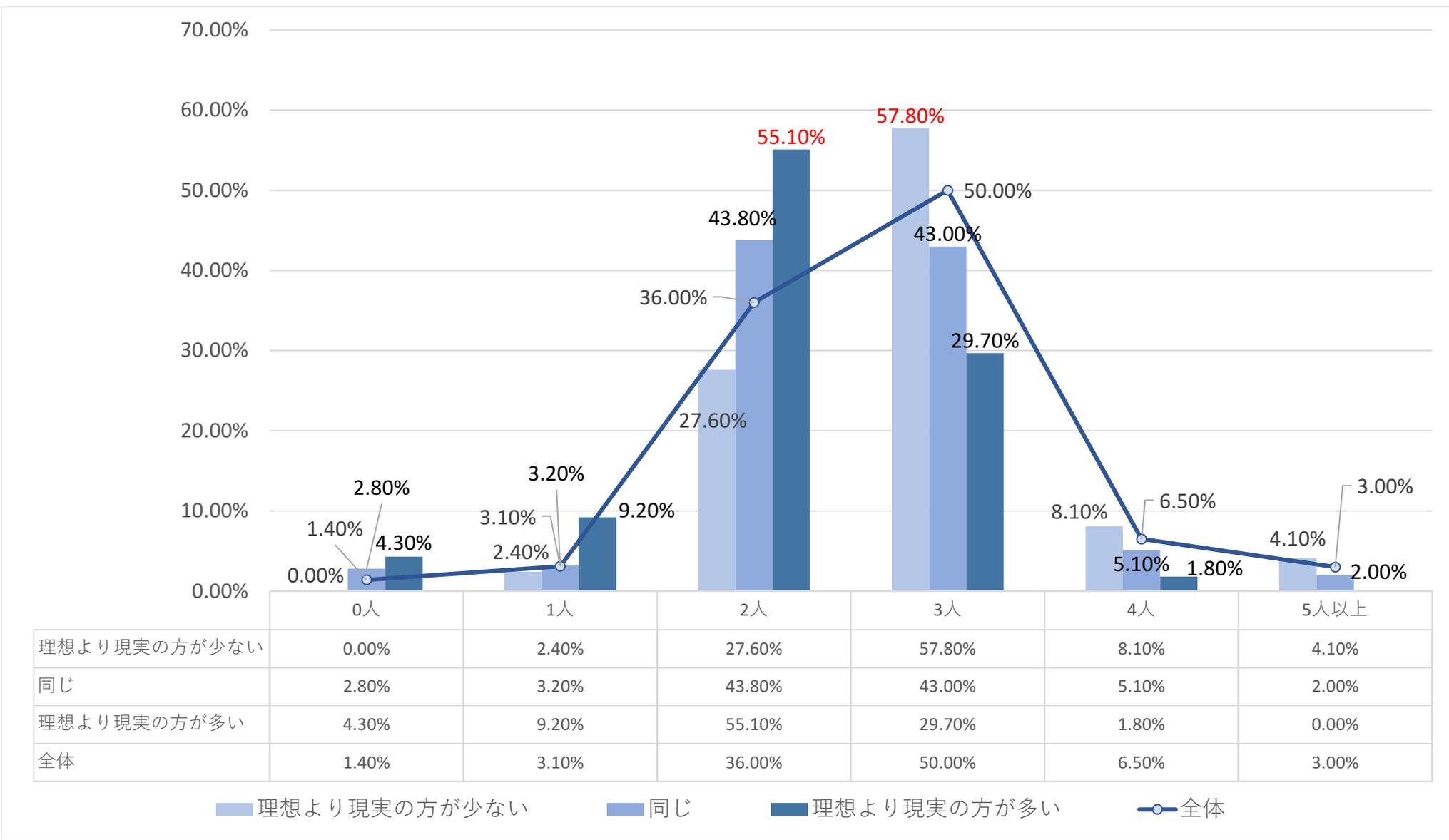


理想のこどもの人数	現在持つこどもの人数：0人	現在持つこどもの人数：1人	現在持つこどもの人数：2人	現在持つこどもの人数：3人以上	全体
0人	10.00%	0.50%	0.40%	0.40%	1.40%
1人	4.60%	7.90%	1.30%	1.80%	3.10%
2人	50.20%	40.50%	14.10%	3.10%	36.00%
3人	32.30%	35.10%	61.10%	15.20%	50.00%
4人	1.60%	1.60%	3.20%	1.30%	6.50%
5人以上	1.30%	0.90%	0.90%	7.40%	3.00%

■ 現在持つこどもの人数：0人 ■ 現在持つこどもの人数：1人 ■ 現在持つこどもの人数：2人 ■ 現在持つこどもの人数：3人以上 — 全体

表21 理想のこどもの人数と現実のこどもの人数のギャップ×理想のこどもの人数

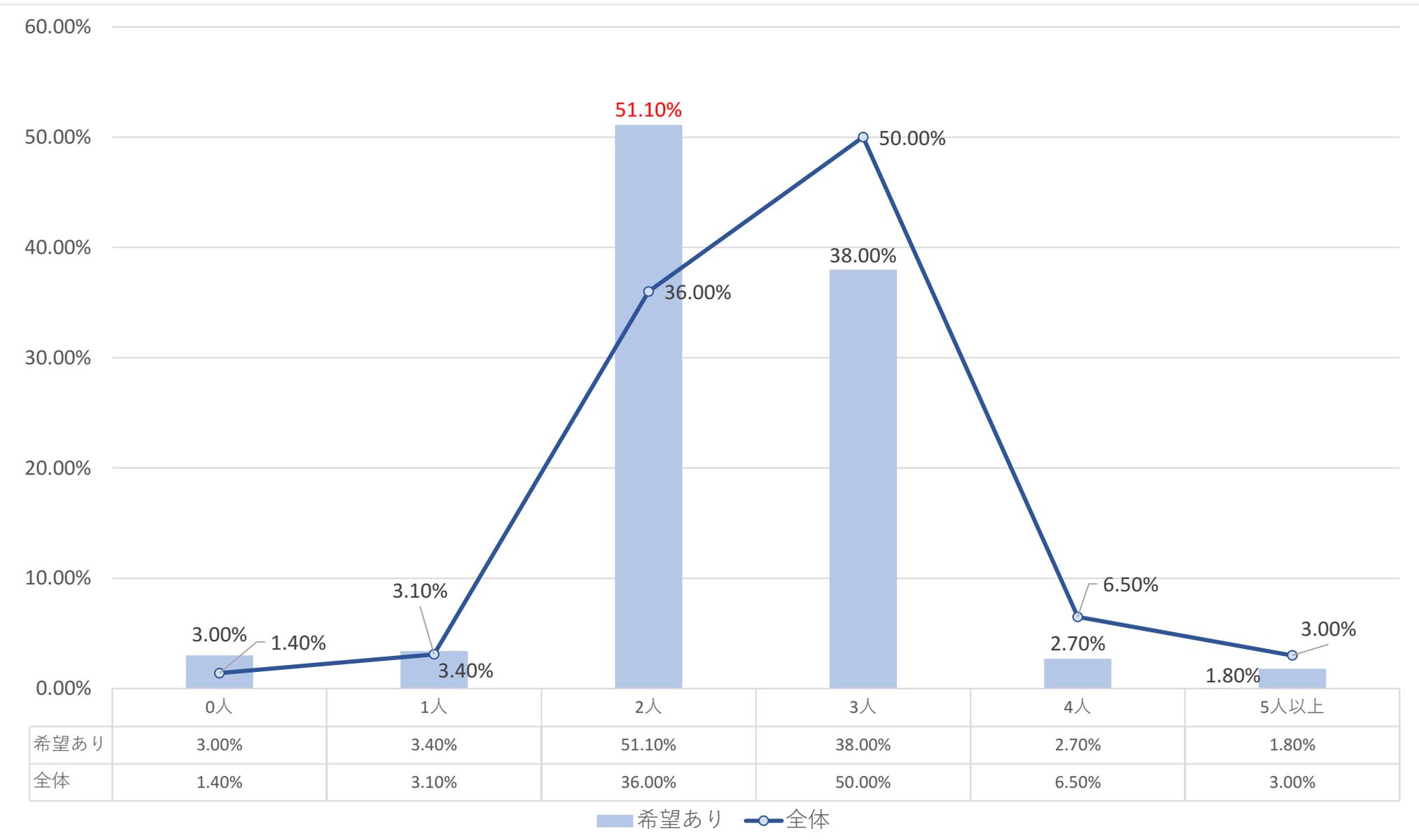
理想のこどもの人数より現実的に持つこどもの人数が少ない人の、理想のこどもの人数の最多は「3人」。理想のこどもの人数より現実持つこどもの人数が多い人の、理想のこどもの人数の最多は「2人」という傾向。



Q35, 36理想と現実のギャップ×Q35理想のこどもの人数 (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=629.7$ 自由度=10 $p<0.001$

表22 結婚希望あり×理想のこどもの人数

結婚を希望している人の理想のこどもの人数は「2人」を最も多く回答し、全体の回答と比較しても多い傾向。



Q14結婚希望×Q35理想のこどもの人数 (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=58.8$ 自由度=5 $p<0.001$

表23 年代×現実的なこどもの人数

20代、30代が現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数は、20代と30代で「2人」が最も多い傾向。「3人」以上は年代間で大きな差はみられない傾向。

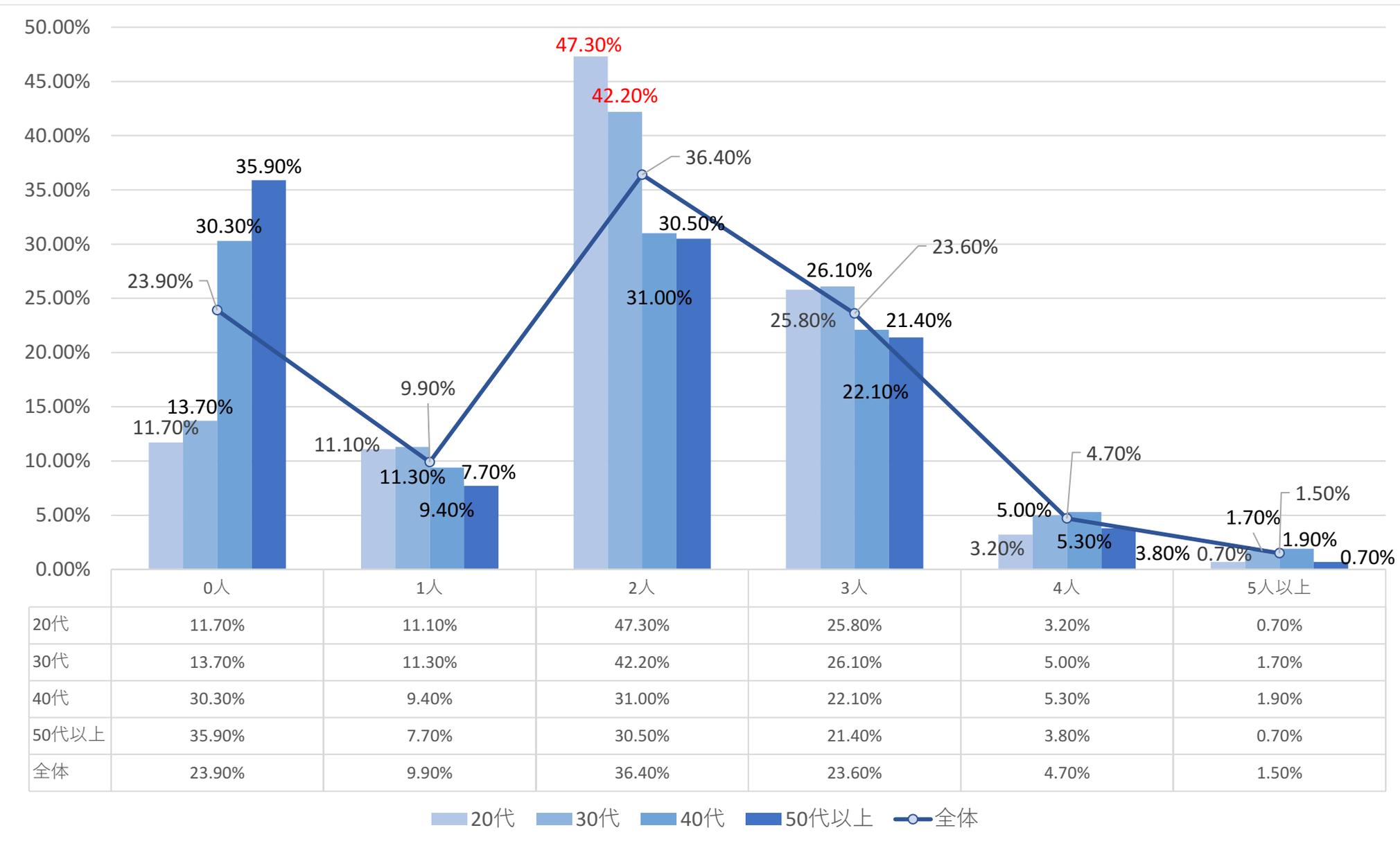


表24 結婚していない人×現実的なこどもの人数

結婚していない人の4割強は、現実的に子どもを持つ予定がなく、全体的と比べて現実的に持つ（または持つ予定）こどもの人数が少ない傾向。

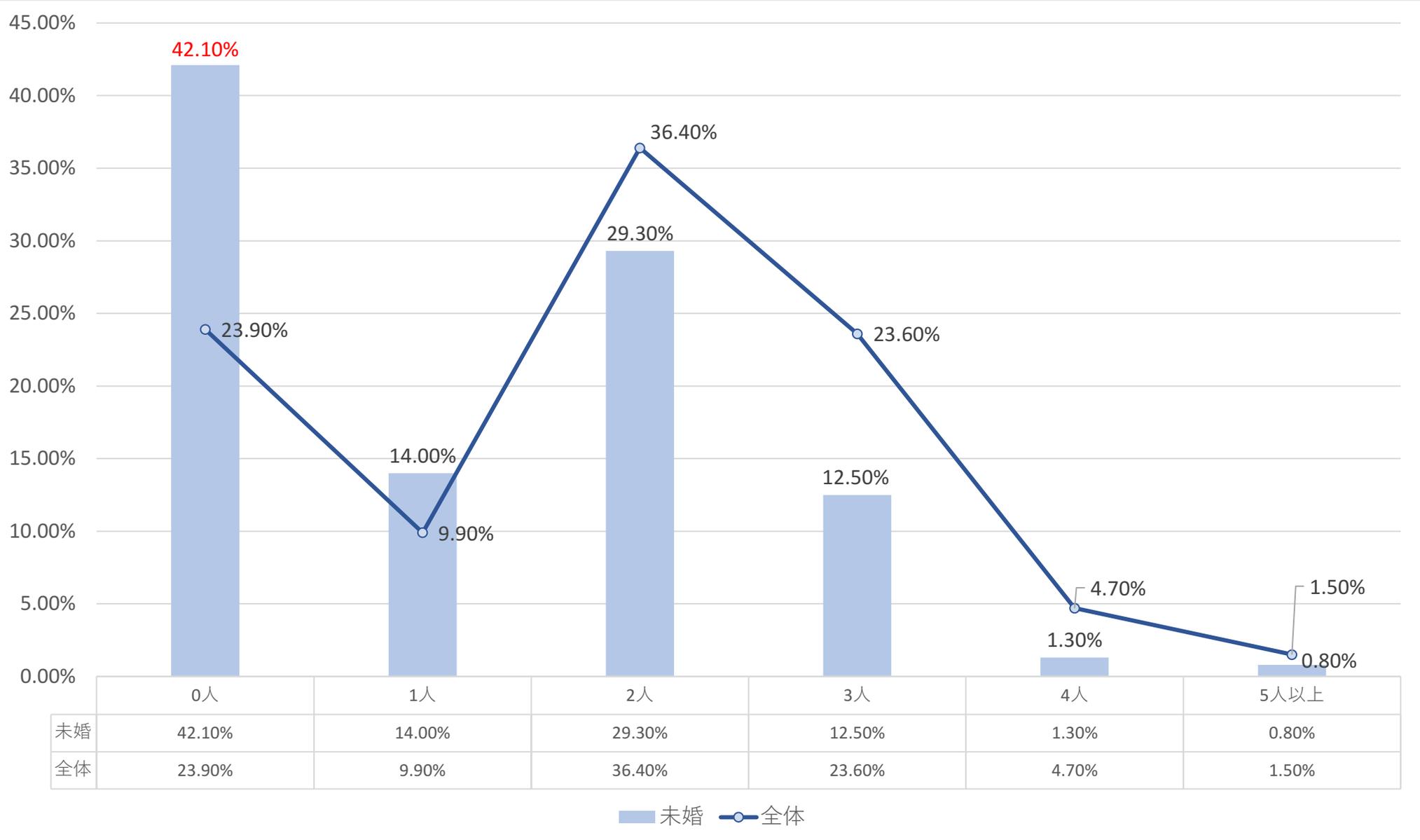
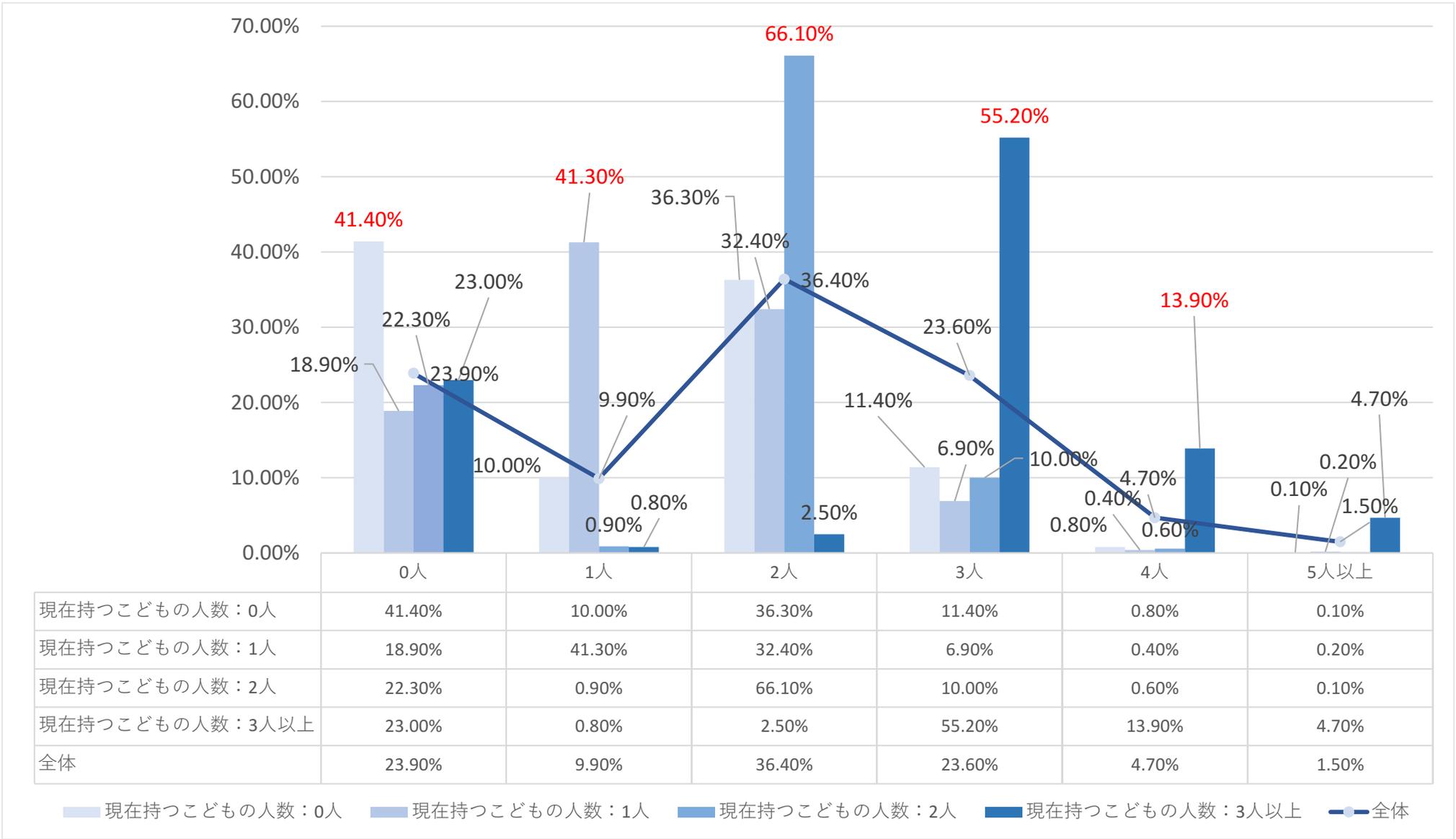


表25 現在持つ子どもの人数×現実的な子どもの人数

現在持つ子どもの人数が多いほど、現実的に持つ（または持つ予定）の子ども的人数も多い傾向。

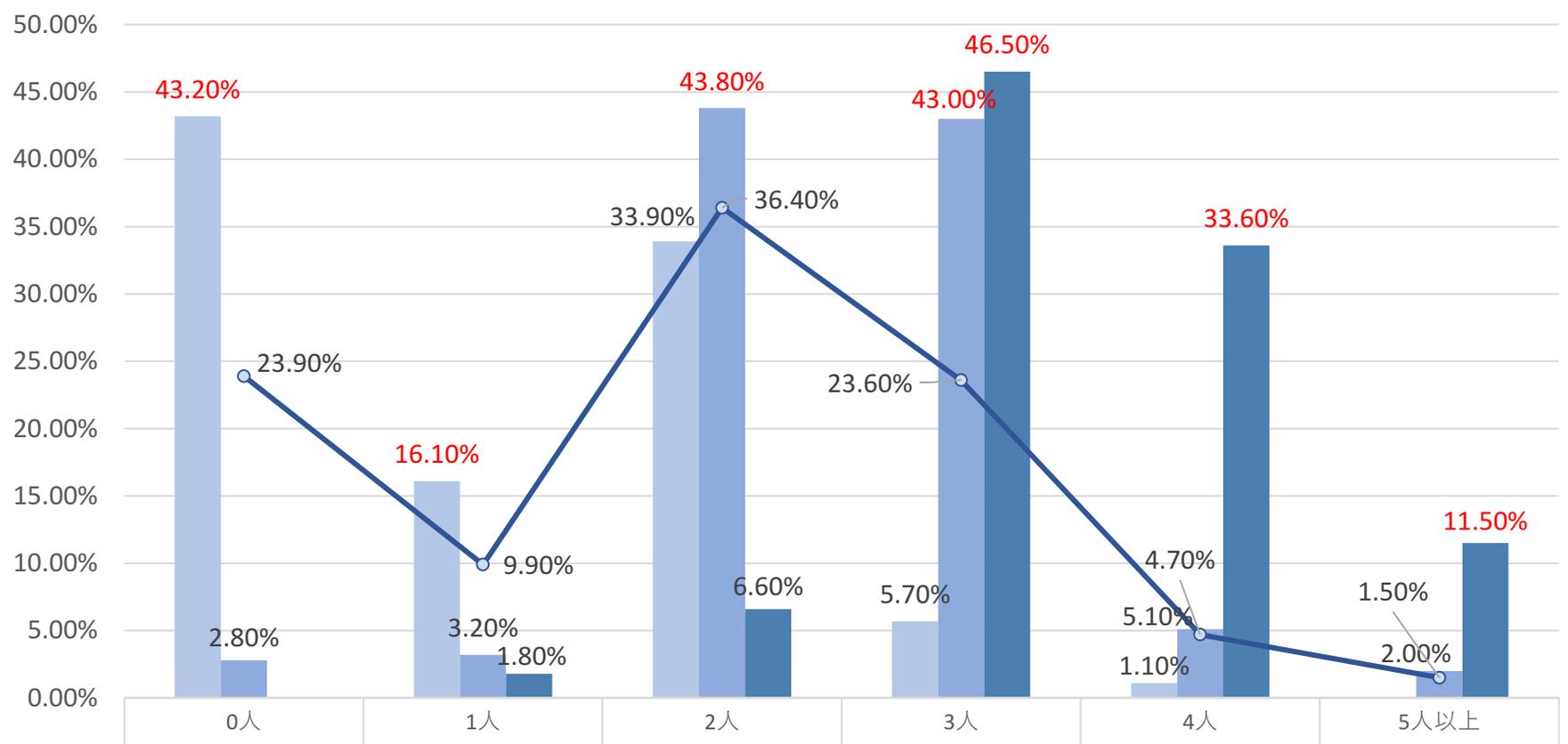


Q13子どもの人数×Q36現実的な子どもの人数（※表は一部抜粋）

$\chi^2=6548.4$ 自由度=15 $p<0.001$

表26 こどもの人数における理想と現実のギャップ×現実的なこどもの人数

理想のこどもの人数より現実の方が少ない人の現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数の最多は「0人」。理想のこどもの人数より現実の方が多い人の、理想のこどもの人数の最多は「3人」。「3人」以上になると、理想のこどもの人数より現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数の方が多いと考える傾向。



	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
理想より現実の方が少ない	43.20%	16.10%	33.90%	5.70%	1.10%	0.00%
同じ	2.80%	3.20%	43.80%	43.00%	5.10%	2.00%
理想より現実の方が多い	0.00%	1.80%	6.60%	46.50%	33.60%	11.50%
全体	23.90%	9.90%	36.40%	23.60%	4.70%	1.50%

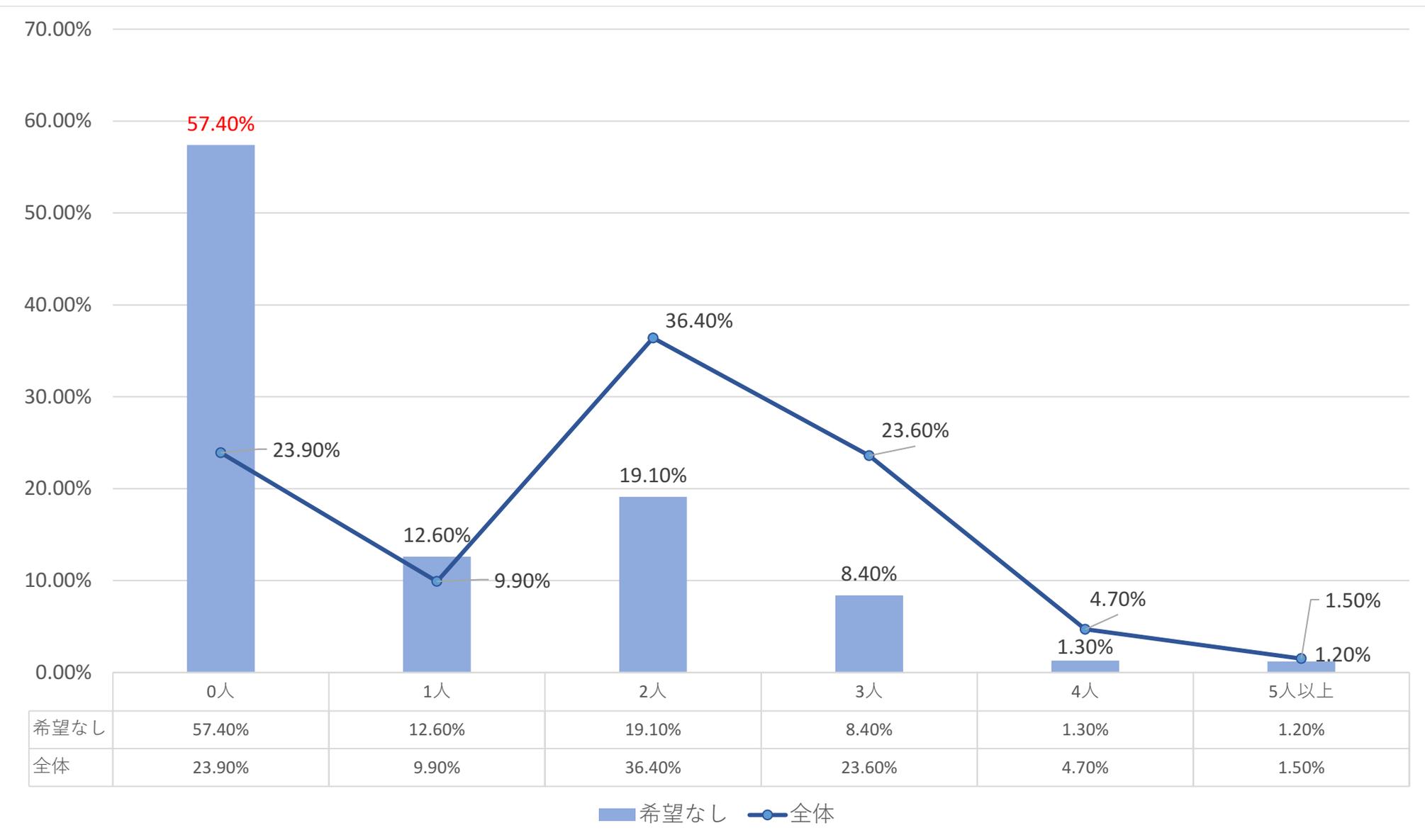
■ 理想より現実の方が少ない ■ 同じ ■ 理想より現実の方が多い ●-全体

Q35, 36理想と現実のギャップ×Q36現実的なこどもの人数（※表は一部抜粋）

$\chi^2=4773.5$ 自由度=10 $p<0.001$

表27 結婚希望なし×現実的なこどもの人数

結婚を希望していない人は、現実的なこどもの人数として「0人」を最も多く回答し、全体の回答と比較しても多い傾向。

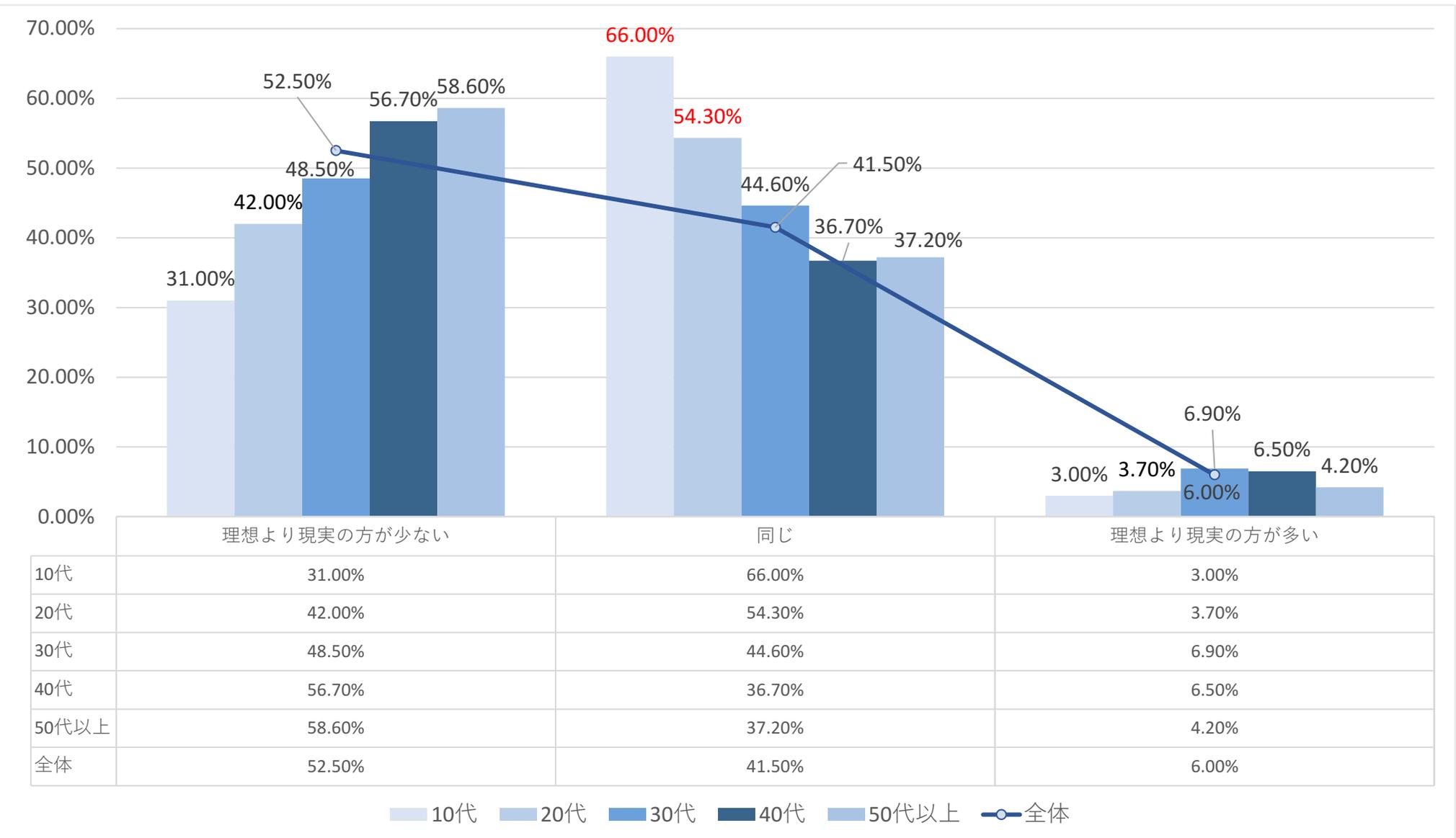


Q14結婚希望×Q36現実的なこどもの人数（※表は一部抜粋）

$\chi^2=141.7$ 自由度=5 $p<0.001$

表28 年代×こどもの人数における理想と現実のギャップ

年代が上がるにつれて理想より現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数が少ない傾向。各世代と比べ10代と20代が理想と現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数が「同じ」と回答する傾向。

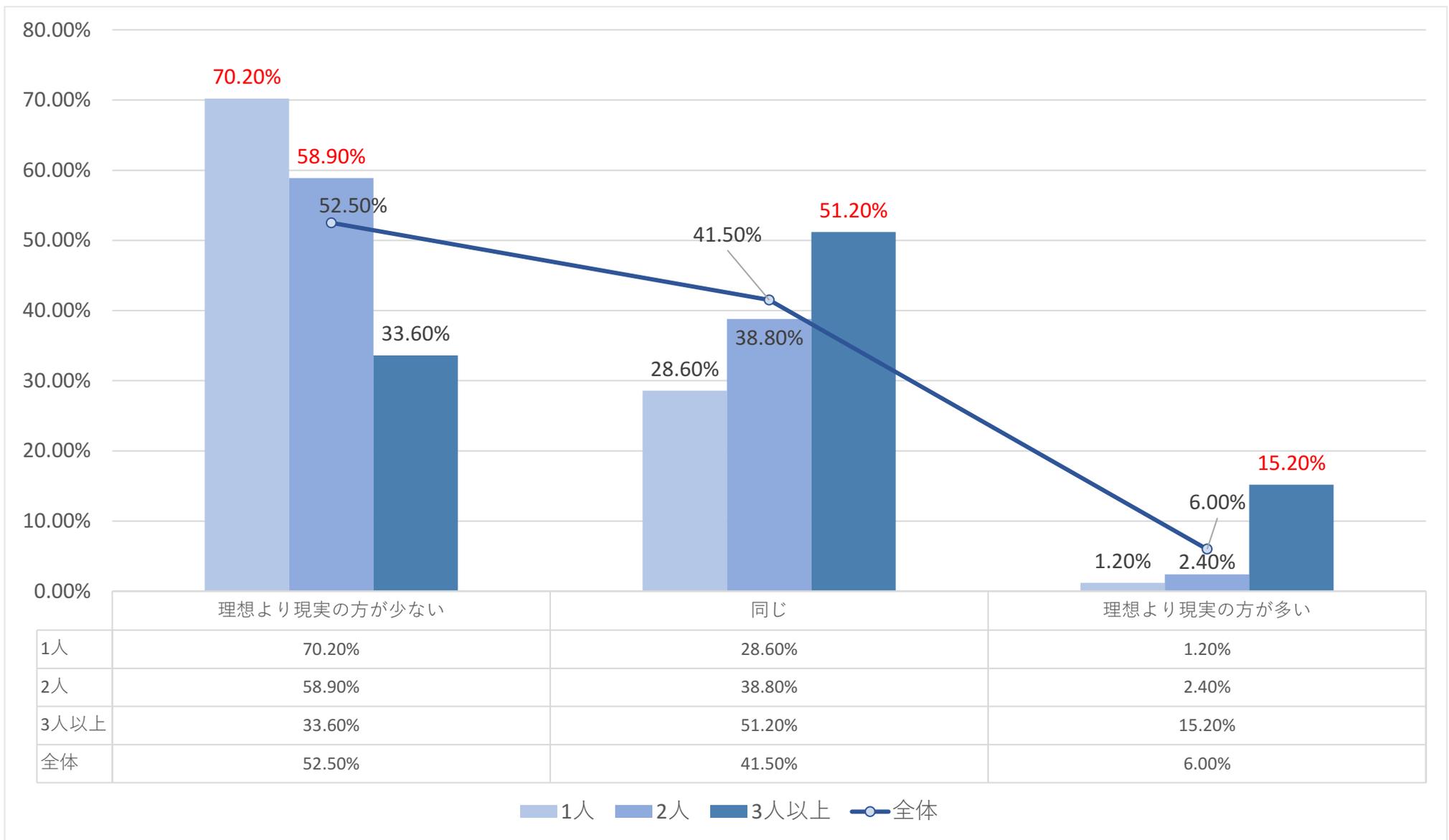


Q2年齢×Q35, 36理想と現実のギャップ（※表は一部抜粋）

$\chi^2=155.7$ 自由度=8 $p<0.001$

表29 現在持つこどもの人数×こどもの人数における理想と現実のギャップ

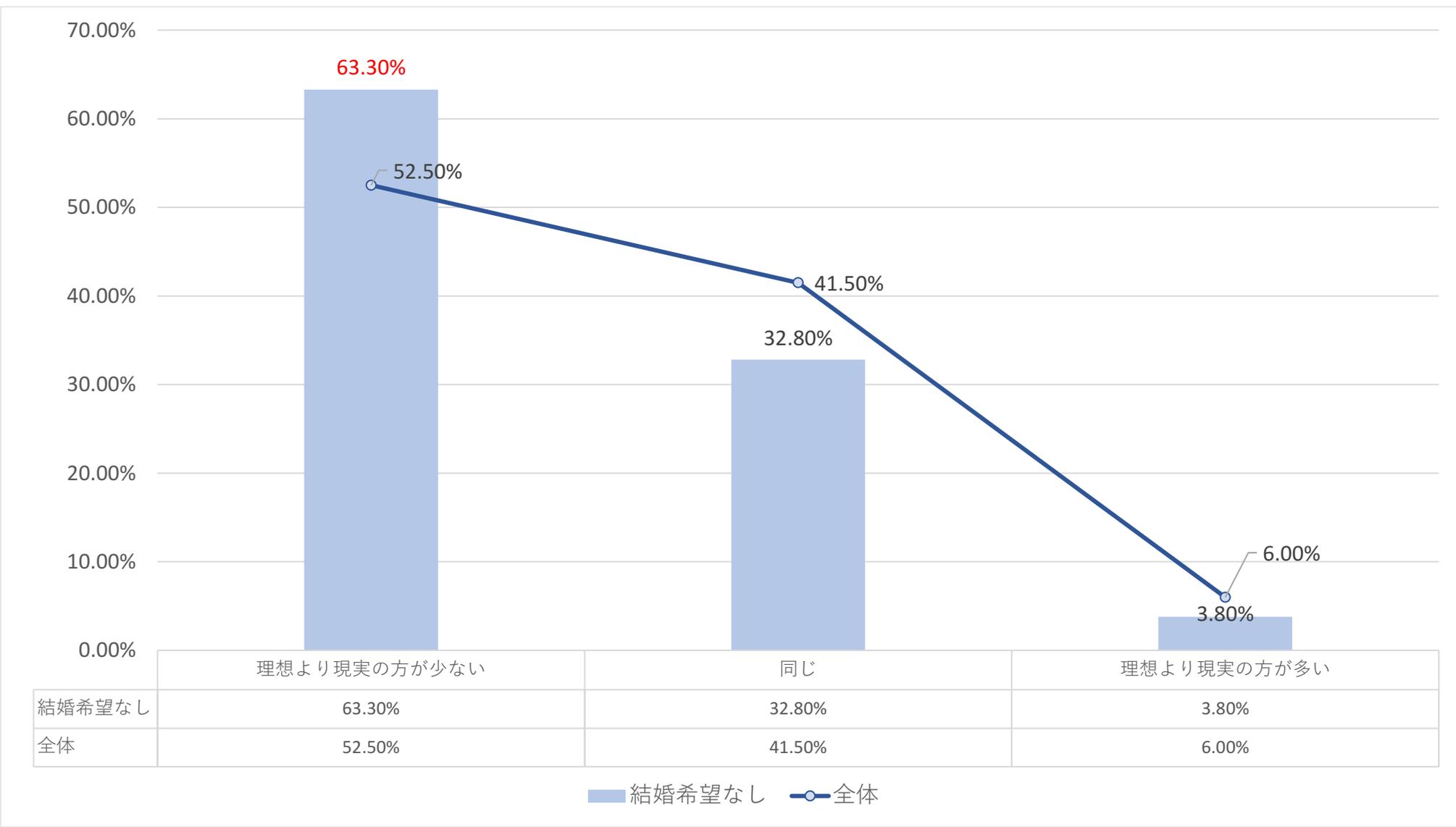
現在持つこどもの人数が多い人ほど、理想のこどもの人数と現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数が「同じ」または「現実の方が多し」と考える傾向。



Q13こどもの人数×Q35,36理想と現実のギャップ（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=1008.9$ 自由度=6 $p<0.001$

表30 結婚希望なし×こどもの人数における理想と現実のギャップ

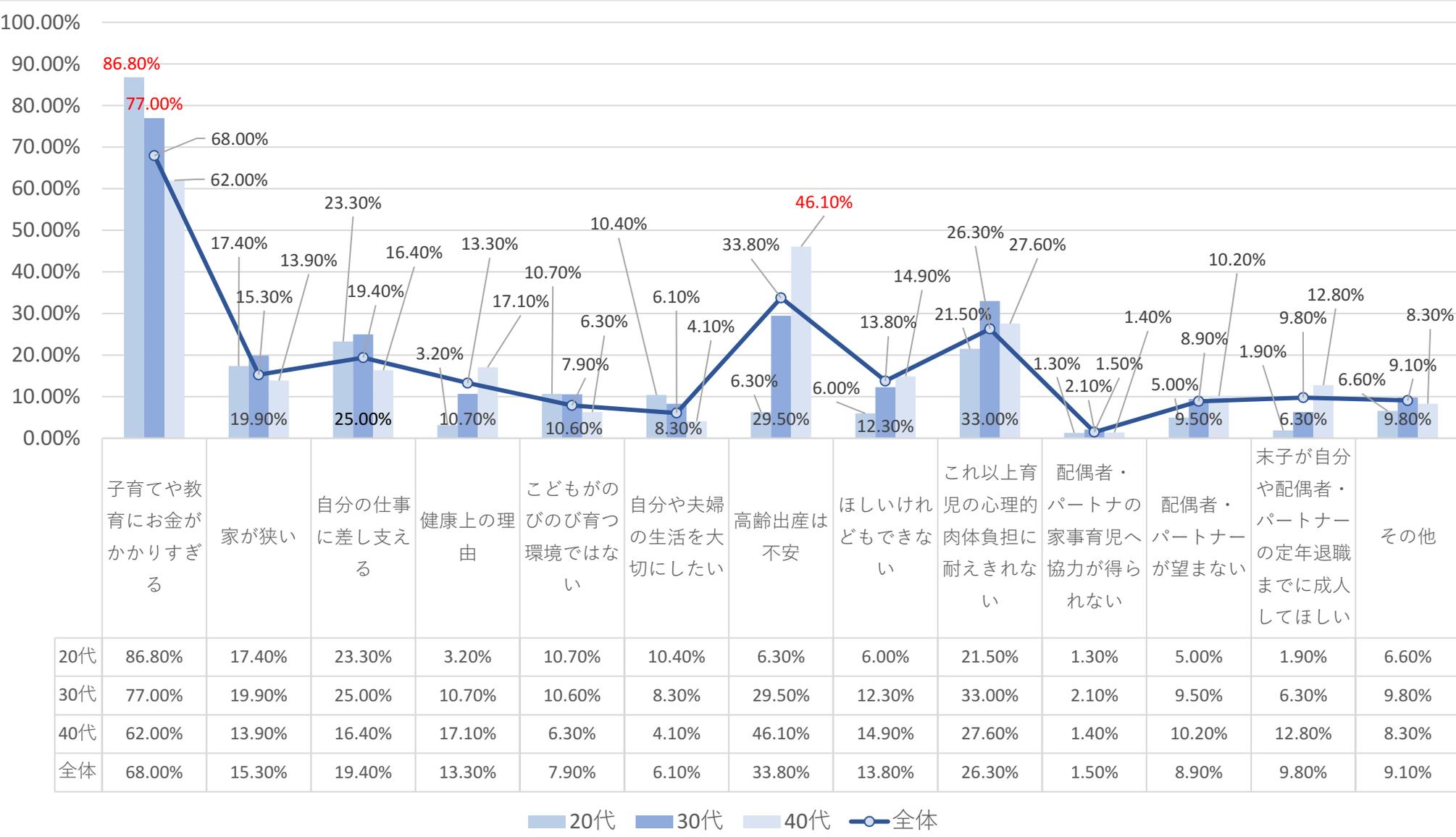
結婚を希望していない人は、理想のこどもの人数と現実に持つこどもの人数として、現実に持つこどもの人数が少ないと回答した人の割合が、全体の回答と比較して多い傾向。



Q14結婚希望×Q35,36理想と現実のギャップ (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=28.1$ 自由度=2 $p<0.001$

表31 20代or30代or40代×理想より現実を持つことどもの人数が少ない理由

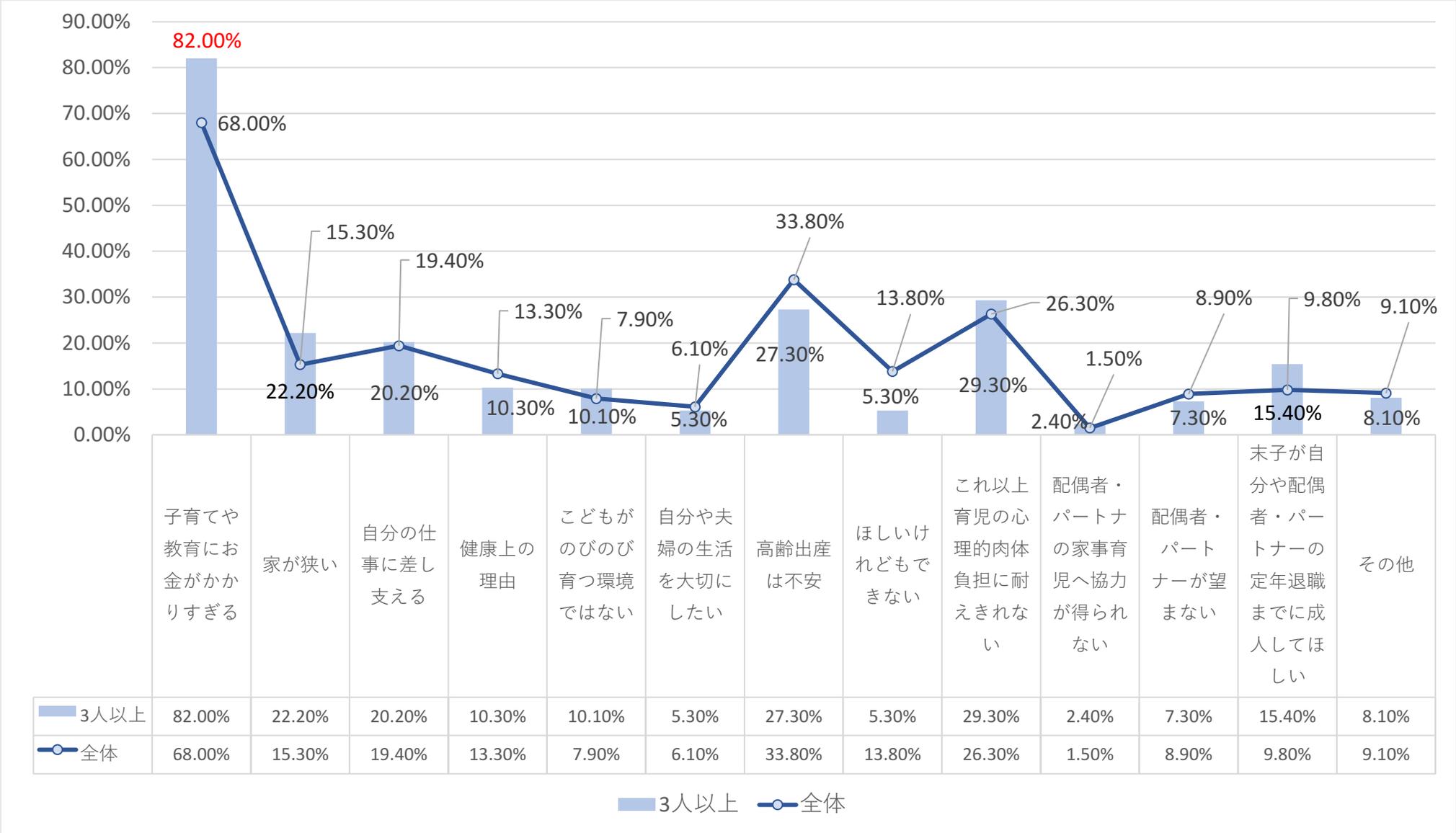
理想のこどもの人数より現実を持つこどもの人数が少ない理由として、20、30代は「子育てや教育にお金がかかりすぎる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。40代は「高齢出産は不安」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q2年齢×Q38理想より少ない理由「子育てや教育にお金がかかりすぎる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=172.4$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q2年齢×Q38理想より少ない理由「高齢出産は不安」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=234.7$ 自由度=4 $p<0.001$

表32 こども3人以上×理想より現実持つこどもの人数が少ない理由

こどもを3人以上持つ人は、理想のこどもの人数より現実の方が少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

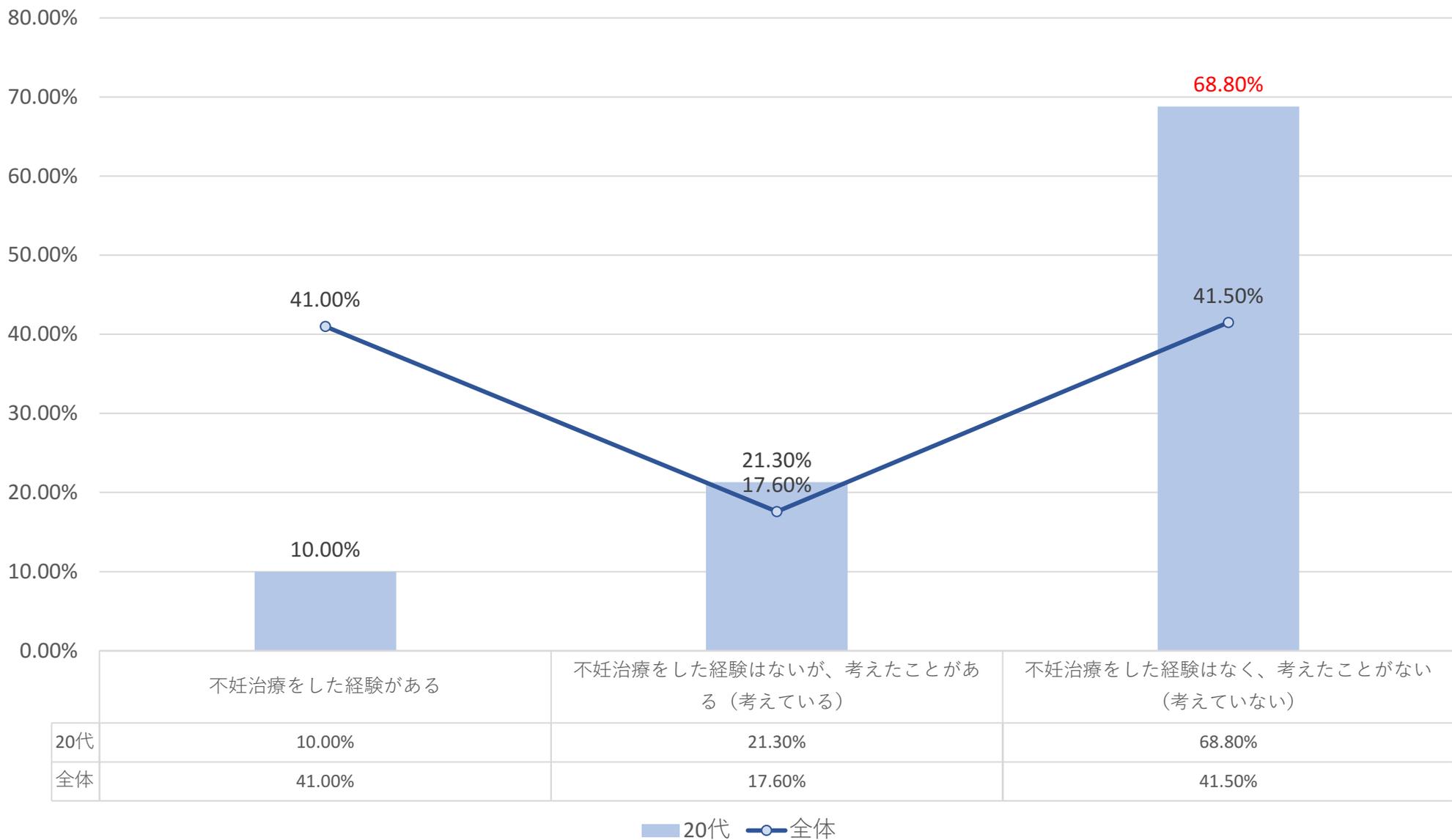


Q13こどもの人数×Q38理想より少ない理由「子育てや教育にお金がかかりすぎる」 (※表は一部抜粋)

$\chi^2=106.5$ 自由度=3 $p<0.001$

表33 20代×不妊治療経験

20代は、不妊治療経験として「不妊治療をした経験はなく、考えたことがない（考えていない）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

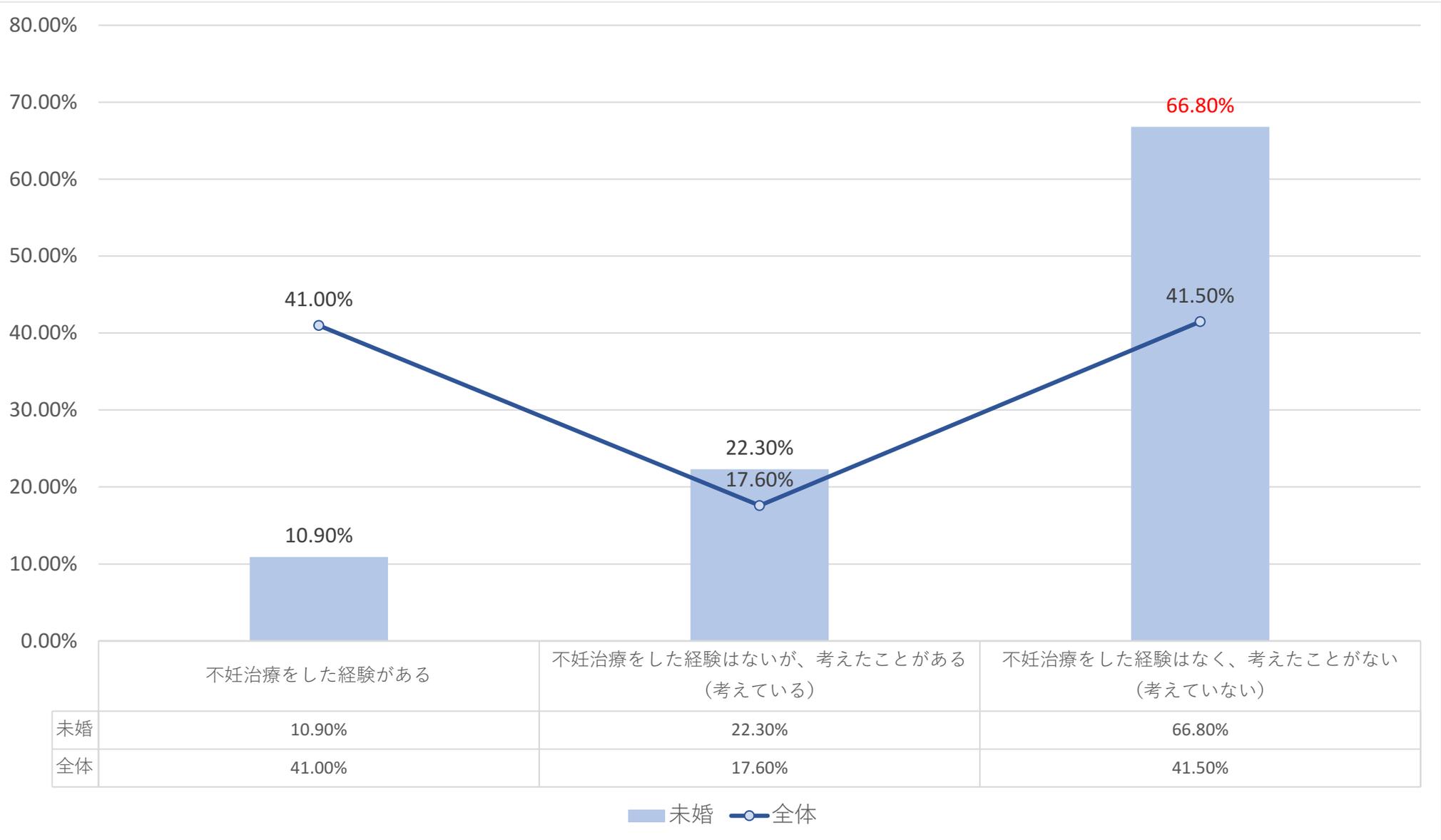


Q2年齢×Q39不妊治療経験（※表は一部抜粋）

$\chi^2=101.1$ 自由度=8 p<0.001

表34 結婚していない人×不妊治療経験

未婚者は、不妊治療経験として「不妊治療をした経験はなく、考えたことがない（考えていない）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

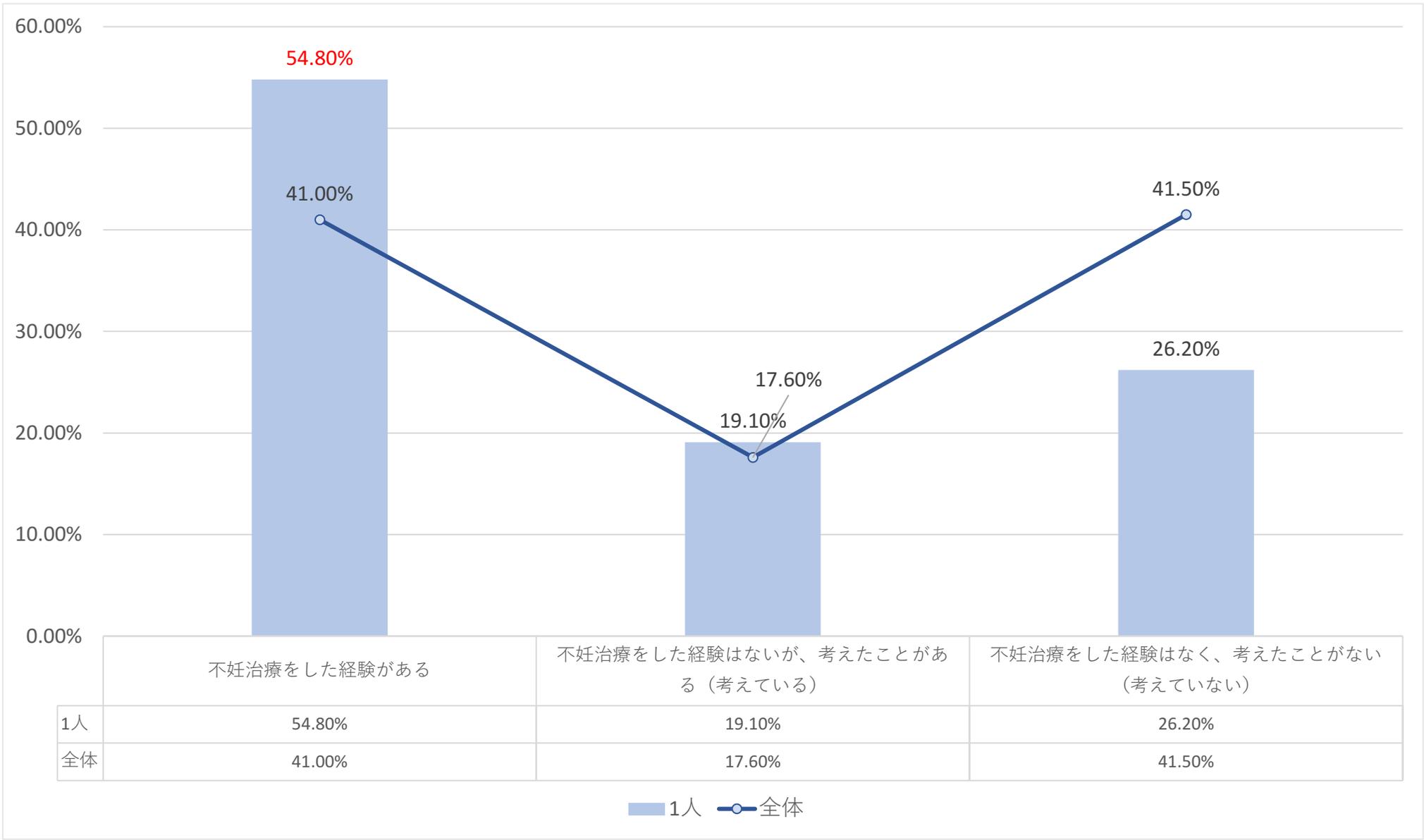


Q12婚姻状況×Q39不妊治療経験（※表は一部抜粋）

$\chi^2=107.0$ 自由度=2 $p<0.001$

表35 こどもの人数×不妊治療経験

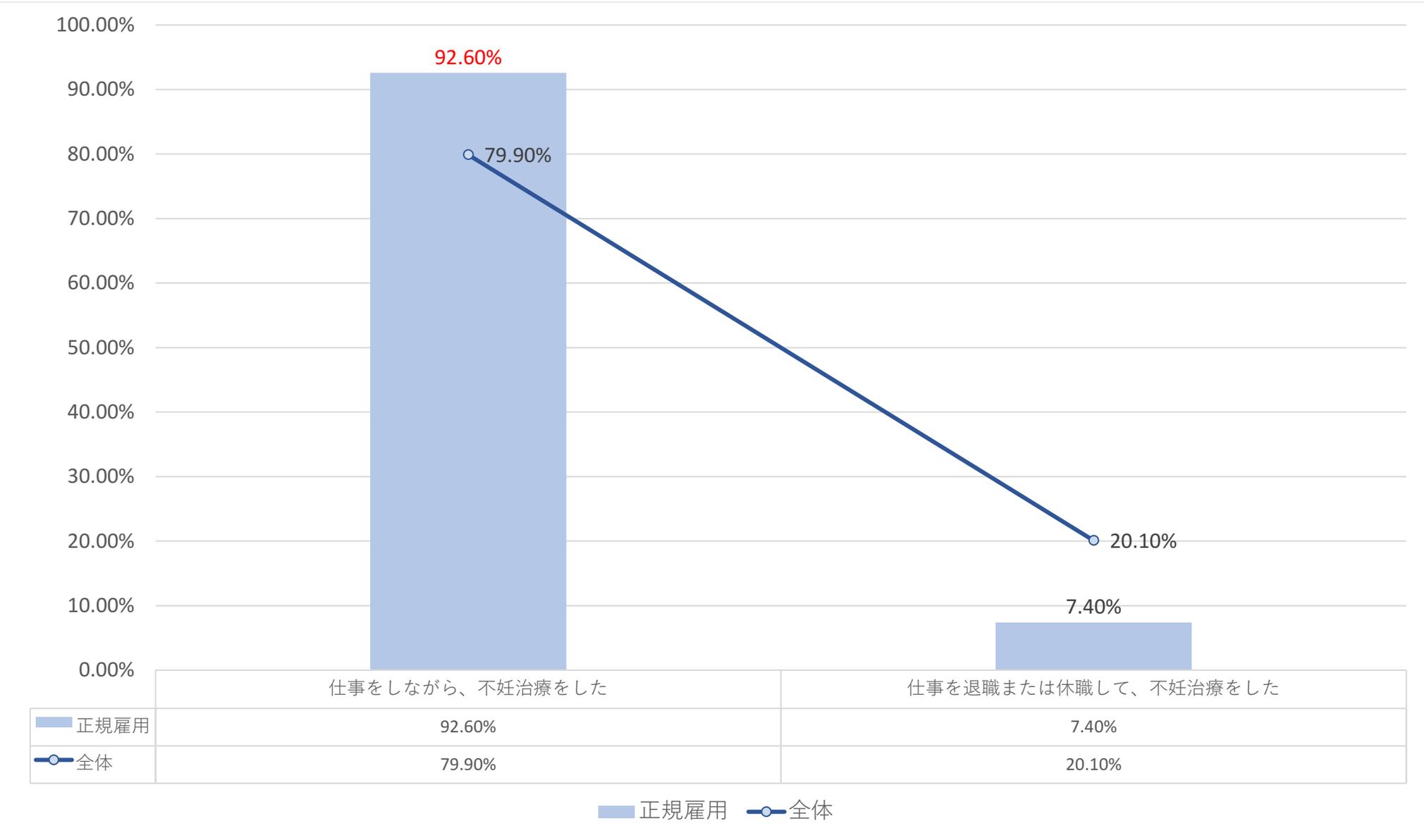
こどもを1人持つ人は、不妊治療経験として「不妊治療をした経験がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q13こどもの人数×Q39不妊治療経験 (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=196.9$ 自由度=6 $p<0.001$

表36 正規雇用×不妊治療期間の働き方

正規雇用の方は、不妊治療期間の働き方として「仕事をしながら、不妊治療をした」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

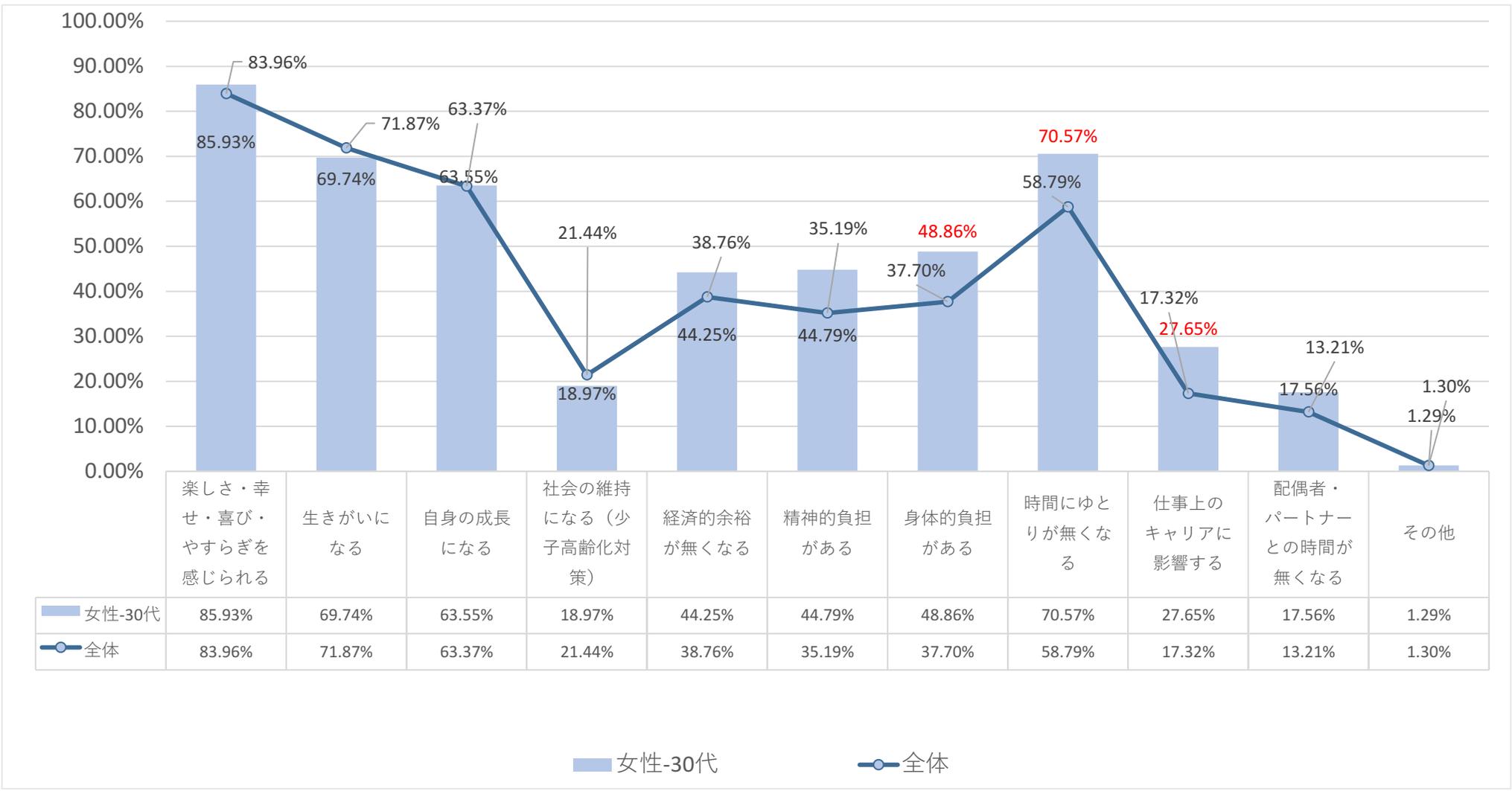


Q8雇用形態×Q40不妊治療期間の働き方（※表は一部抜粋）

$\chi^2=40.7$ 自由度=1 p<0.001

表37 女性×30代×子育てに対するイメージ

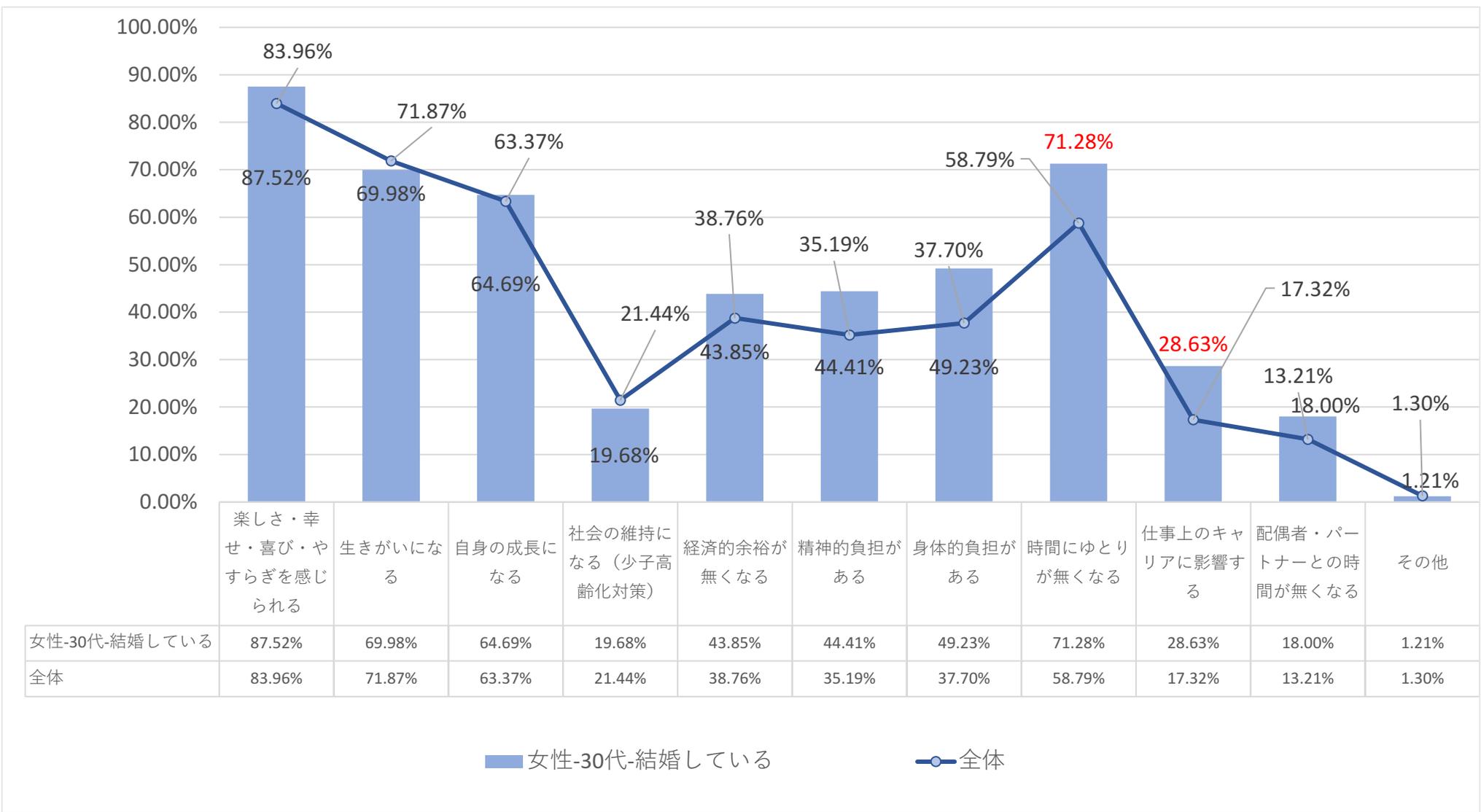
30代の女性は、子育てに対するイメージとして「楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる」が最も多く回答。また、「身体的負担がある」「時間にゆとりがなくなる」「仕事上のキャリアに影響する」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q2年齢×Q25子育てに対するイメージ「身体的負担がある」(※表は一部抜粋) $\chi^2=121.3$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q2年齢×Q25子育てに対するイメージ「時間にゆとりがなくなる」(※表は一部抜粋) $\chi^2=162.1$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q2年齢×Q25子育てに対するイメージ「仕事上のキャリアに影響する」(※表は一部抜粋) $\chi^2=152.4$ 自由度=4 $p<0.001$

表38 女性×30代×既婚×子育てに対するイメージ

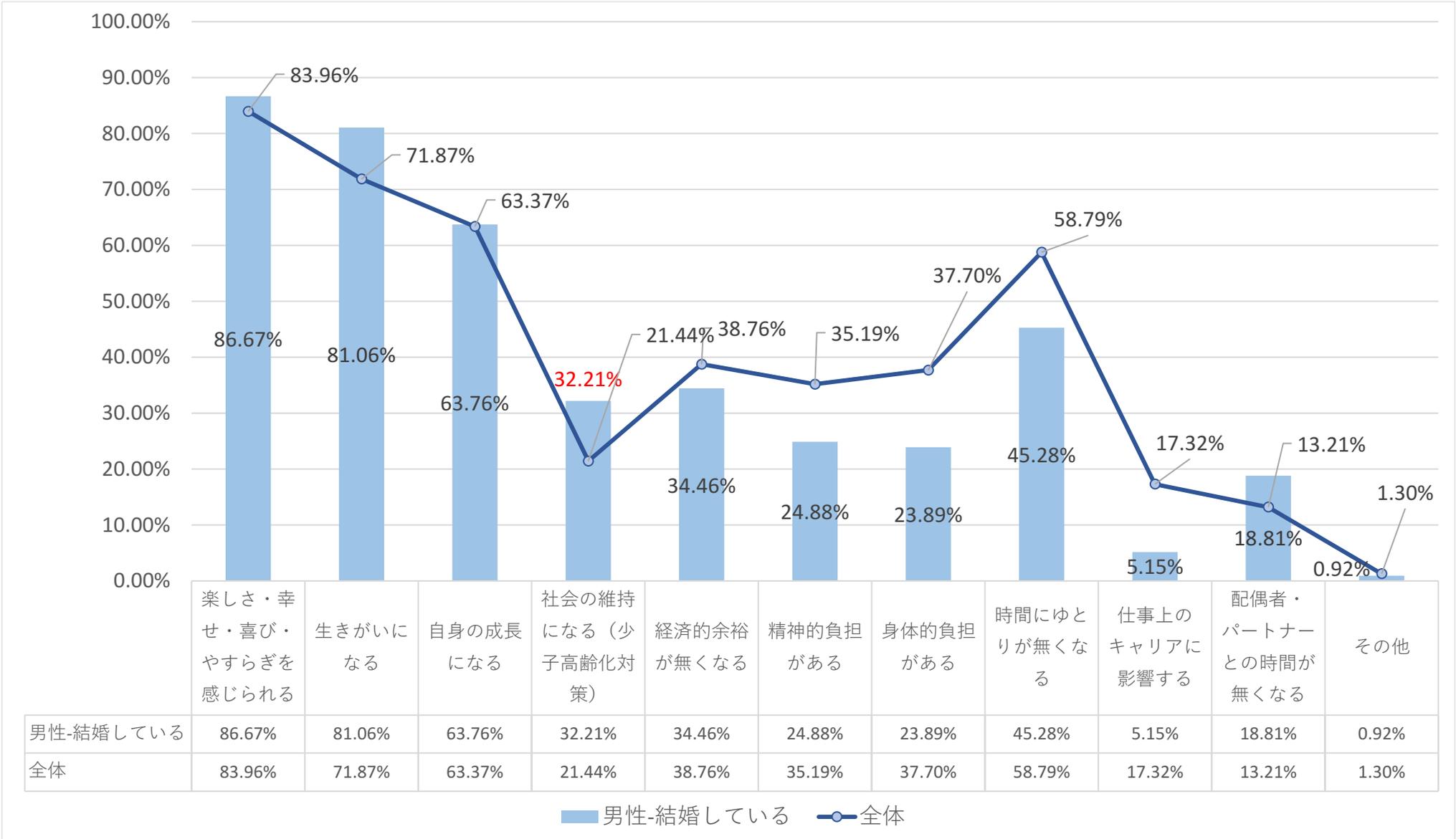
30代の既婚女性は、子育てに対するイメージとして「時間にゆとりが無くなる」「仕事上のキャリアに影響する」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（女性）・Q2年齢（30代）・Q12婚姻状況×Q25子育てに対するイメージ「時間にゆとりが無くなる」（※表は一部抜粋） $\chi^2=4.9$ 自由度=1 $p<0.05$
 Q1性別（女性）・Q2年齢（30代）・Q12婚姻状況×Q25子育てに対するイメージ「仕事上のキャリアに影響する」（※表は一部抜粋） $\chi^2=9.9$ 自由度=1 $p<0.01$

表39 男性×既婚×子育てに対するイメージ

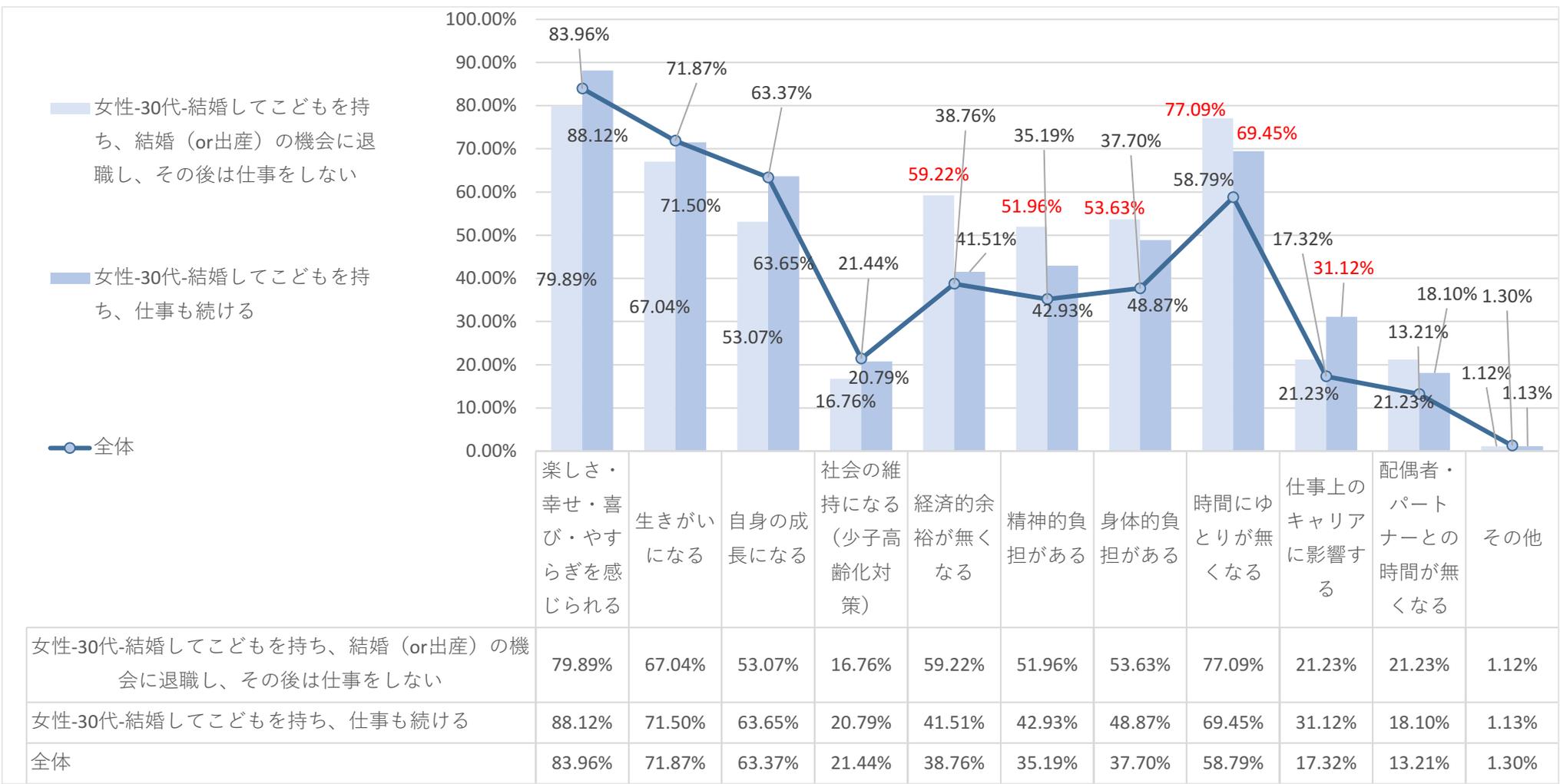
既婚男性は、子育てに対するイメージとして「楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる」を最も多く回答。また、「社会の維持になる（少子高齢化対策）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（男性）・Q12婚姻状況×Q25子育てに対するイメージ「社会の維持になる（少子高齢化対策）」（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=5.3$ 自由度=1 $p<0.05$

表40 女性×30代×希望するライフスタイル×子育てに対するイメージ

結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）を機会に退職し、その後仕事をしないことを希望する30代の女性は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。また、結婚してこどもを持ち仕事も続けることを希望する30代の女性は、子育てに対するイメージとして「時間にゆとりが無くなる」「仕事上のキャリアに影響する」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

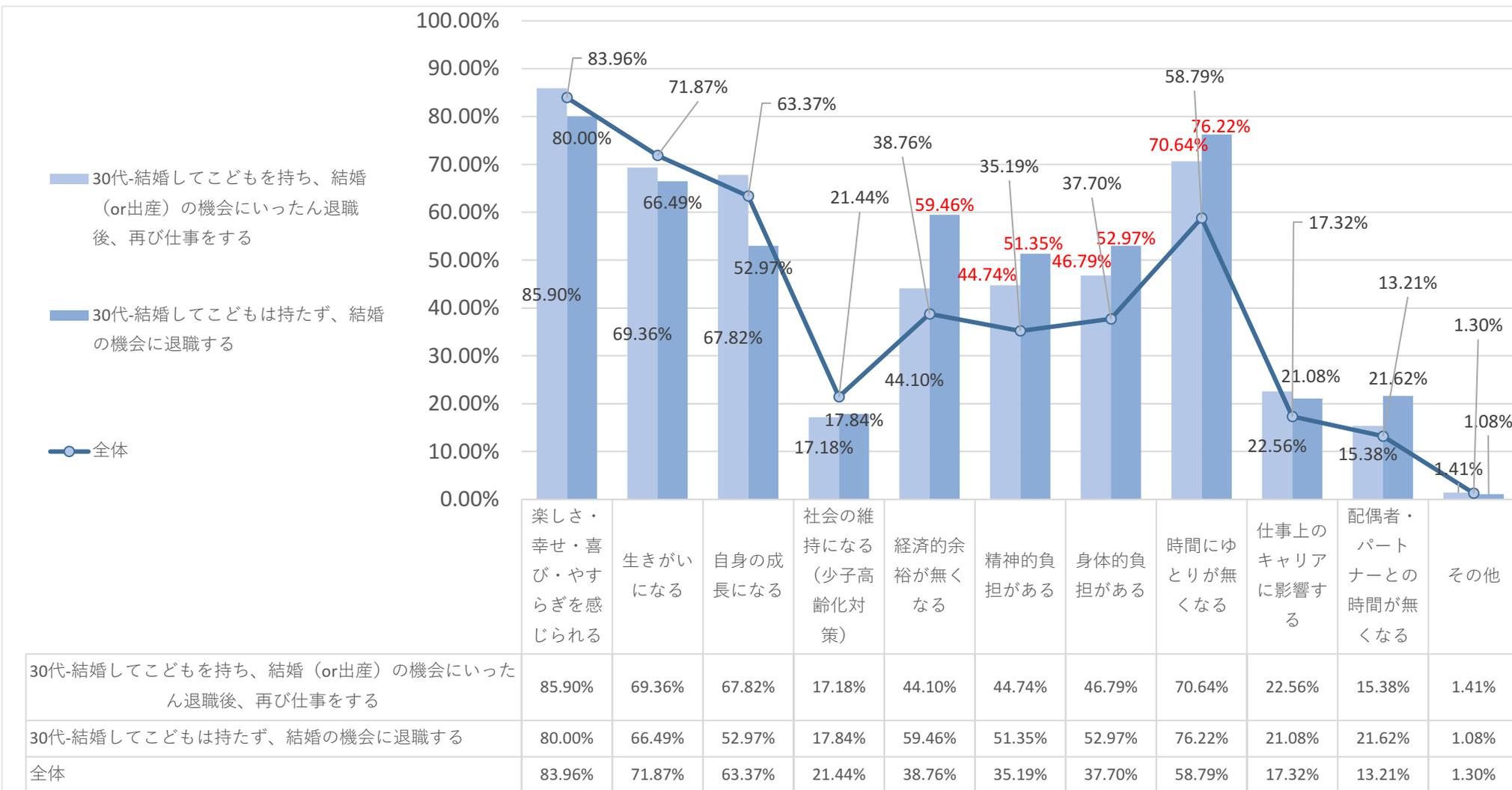


Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」 (※表は一部抜粋)
 Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「精神的負担がある」 (※表は一部抜粋)
 Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「仕事上のキャリアに影響する」 (※表は一部抜粋)

$\chi^2=30.5$ 自由度=4 $p<0.001$
 $\chi^2=16.2$ 自由度=4 $p<0.01$
 $\chi^2=24$ 自由度=4 $p<0.001$

表41 30代×希望するライフスタイル×子育てに対するイメージ

結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をするを希望する30代は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向（結婚して子どもを持たず、結婚の機会に退職することを希望する30代も同様の傾向）。



Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」（※表は一部抜粋） $\chi^2=47.1$ 自由度=4 $p<0.001$

Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q25子育てに対するイメージ「時間にゆとりが無くなる」（※表は一部抜粋） $\chi^2=43.2$ 自由度=4 $p<0.001$

表42 女性×20代×既婚×必要な子育て支援

20代の既婚女性は、必要な子育て支援として「旅行・外食など、こどもと一緒に楽しめる娯楽の充実」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

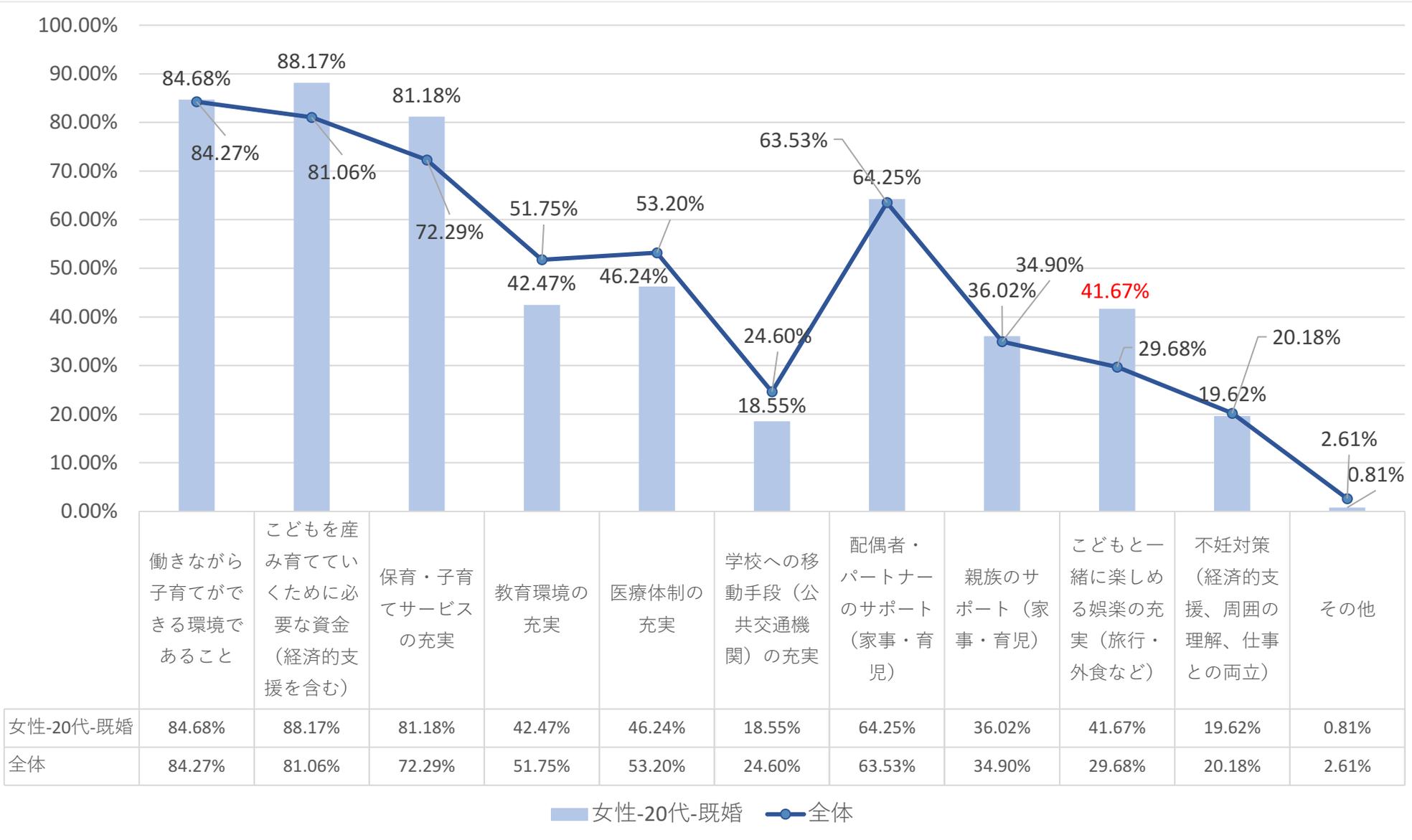
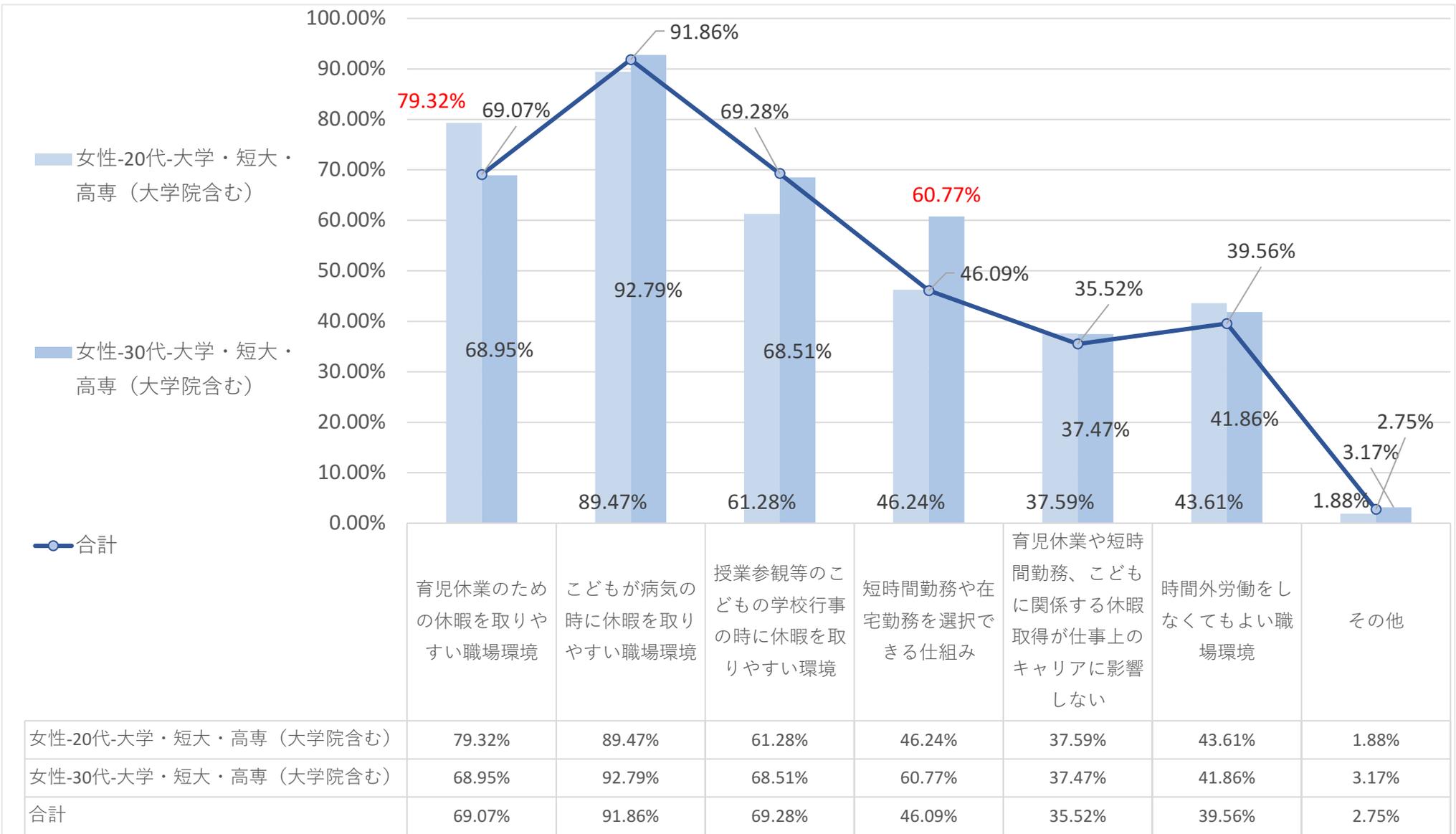


表43 女性×20代or30代×大卒・短大・高専（大学院含む）卒×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

20代の大学・短大・高専（大学院含む）卒の女性は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。30代の同女性は「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

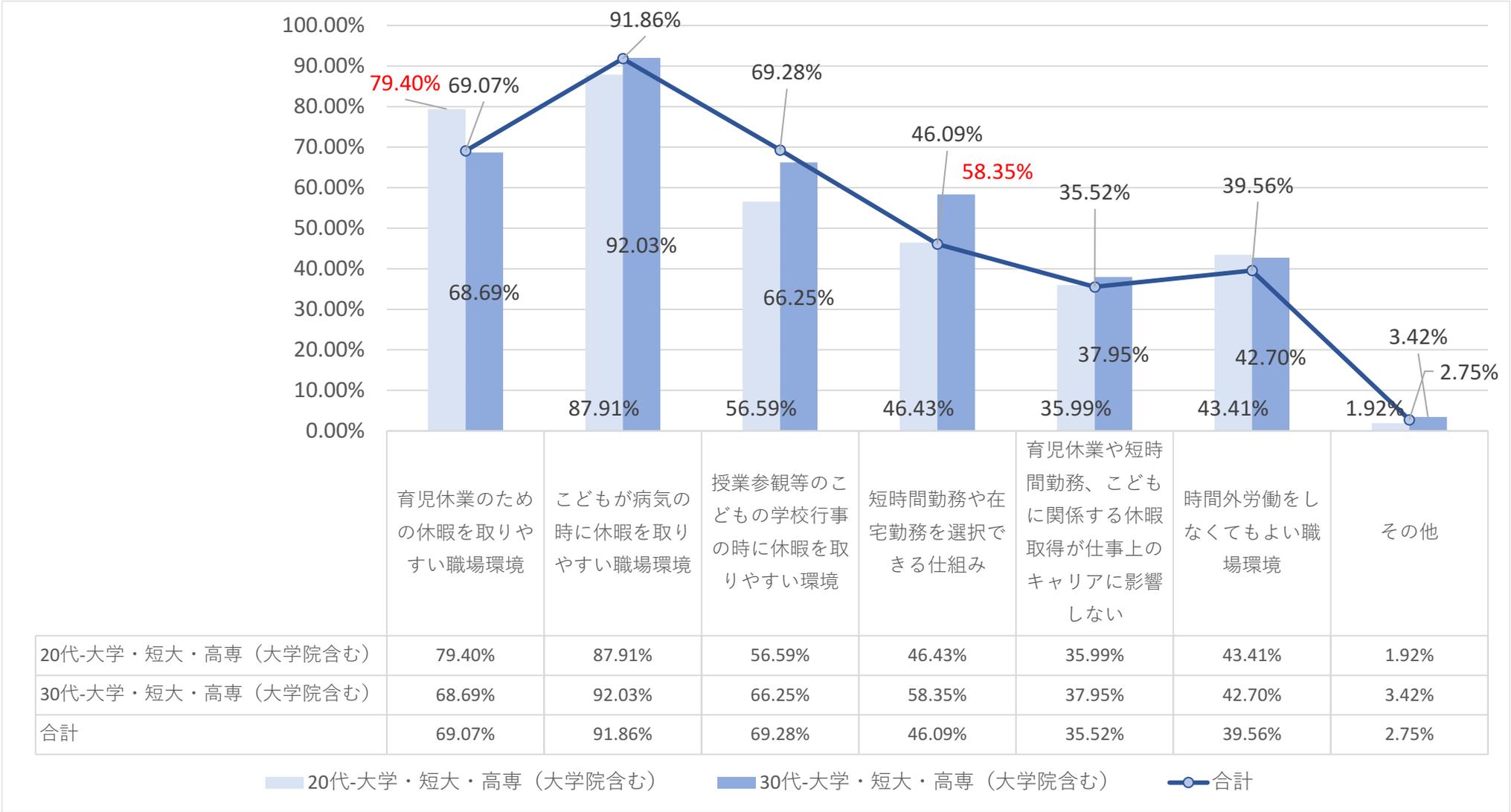


Q1性別(女性)・Q2年齢(20代)・Q3学歴×Q27環境充実のために必要な支援「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」(※表は一部抜粋) $\chi^2=13.8$ 自由度=4 $p<0.01$

Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q3学歴×Q27環境充実のために必要な支援「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」(※表は一部抜粋) $\chi^2=35.6$ 自由度=4 $p<0.001$

表44 20代or30代×大学・短大・高専（大学院含む）卒×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

20代の大学・短大・高専（大学院含む）卒は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」を、30代の大学・短大・高専（大学院含む）卒は、「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

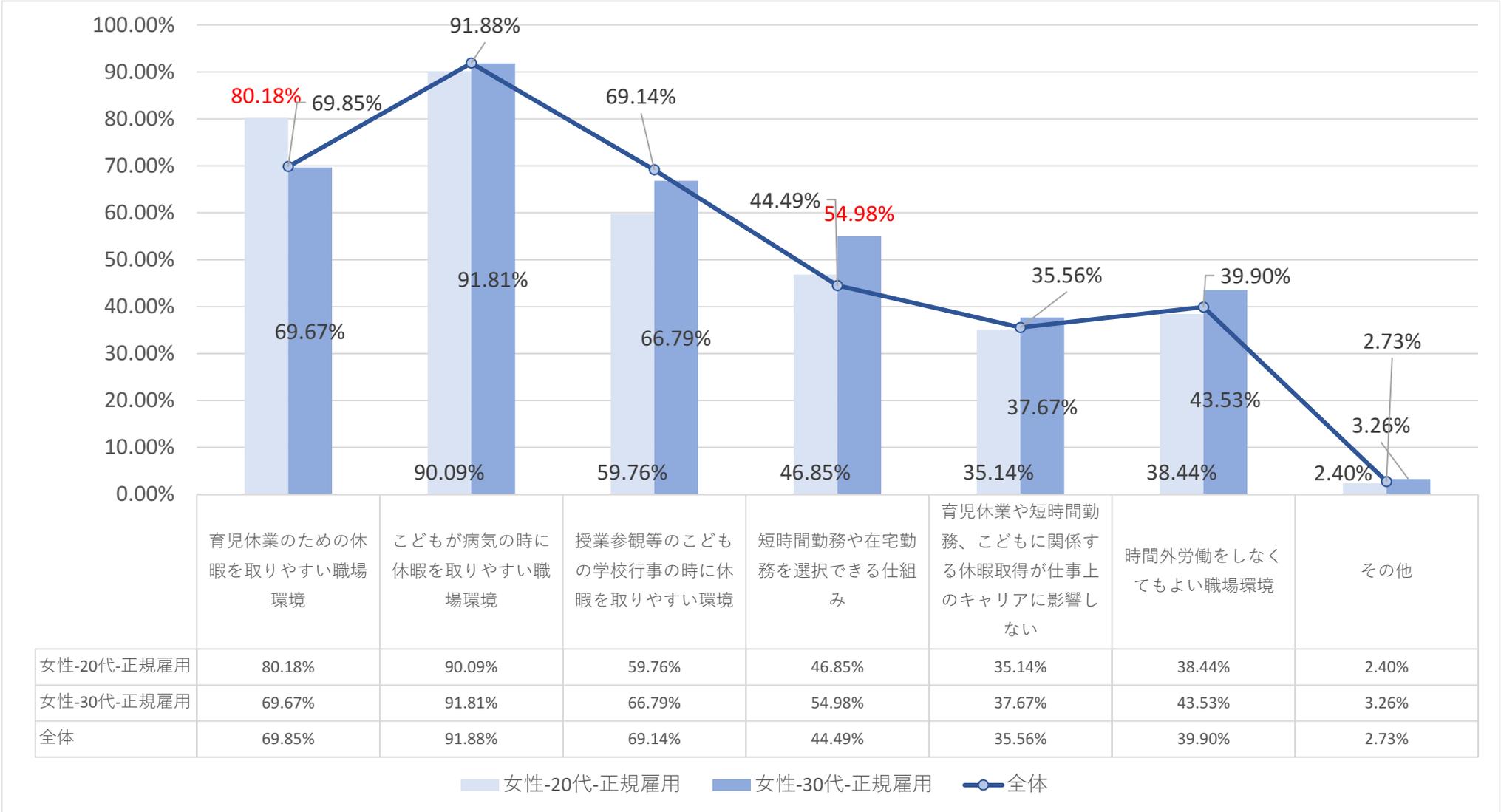


Q2年齢（20代）・Q3学歴×Q27環境充実のために必要な支援「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」（※表は一部抜粋）
 Q2年齢（30代）・Q3学歴×Q27環境充実のために必要な支援「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」（※表は一部抜粋）

$\chi^2=15.2$ 自由度=4 $p<0.01$
 $\chi^2=40.4$ 自由度=4 $p<0.001$

表45 女性×20代or30代×正規雇用×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

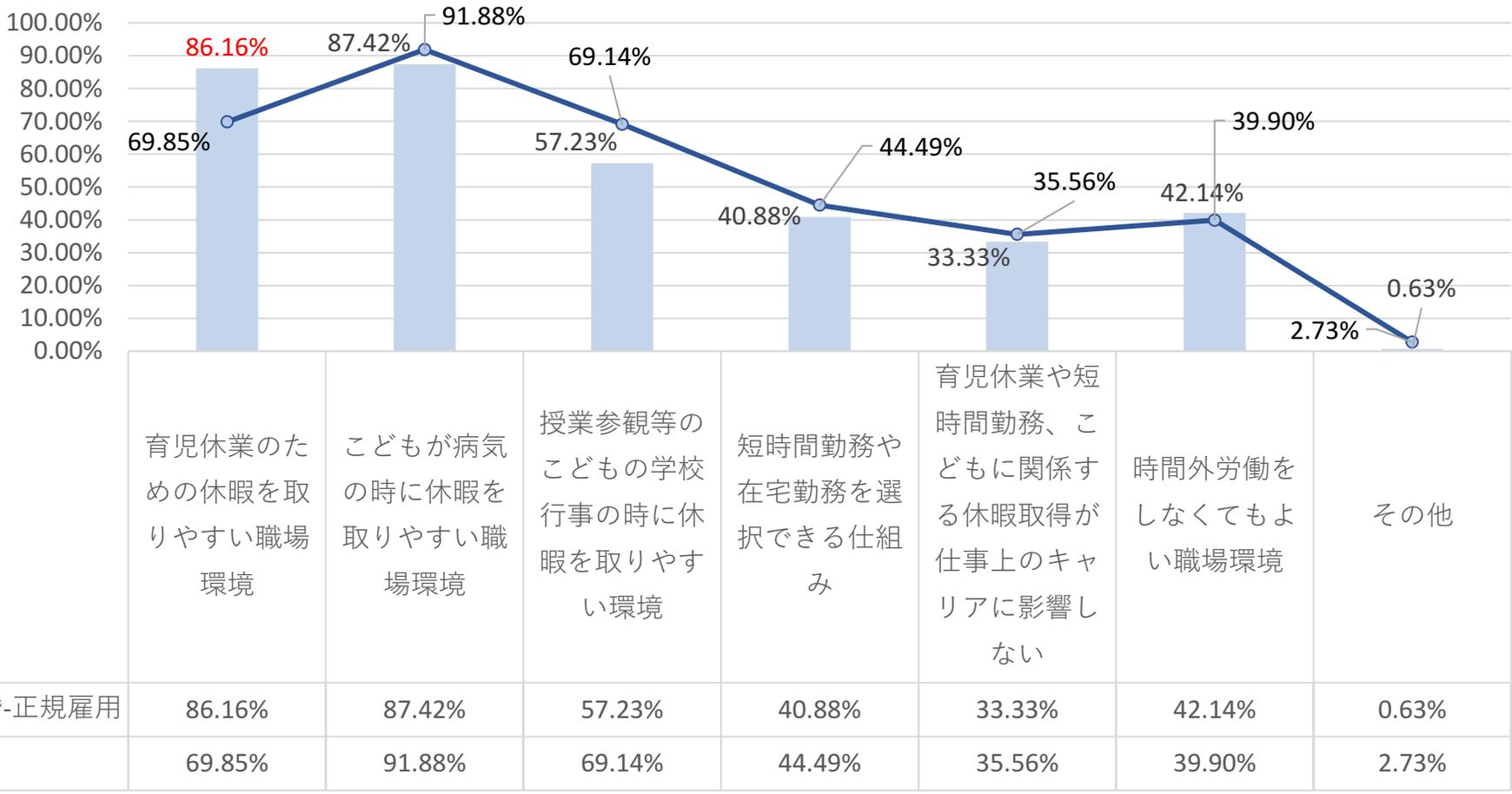
20代の女性の正規雇用者は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。また、30代の女性の正規雇用者は「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q2年齢(20代)・Q8雇用形態×Q27環境充実のために必要な支援「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」(※表は一部抜粋) $\chi^2=2.7$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q2年齢(40代)・Q8雇用形態×Q27環境充実のために必要な支援「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」(※表は一部抜粋) $\chi^2=8.3$ 自由度=1 $p<0.01$
 Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q8雇用形態×Q27環境充実のために必要な支援「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」(※表は一部抜粋) $\chi^2=4.2$ 自由度=1 $p<0.05$

表46 女性×20代×未婚×正規雇用×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

正規雇用の20代の未婚女性は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



女性-20代-未婚-正規雇用	86.16%	87.42%	57.23%	40.88%	33.33%	42.14%	0.63%
全体	69.85%	91.88%	69.14%	44.49%	35.56%	39.90%	2.73%

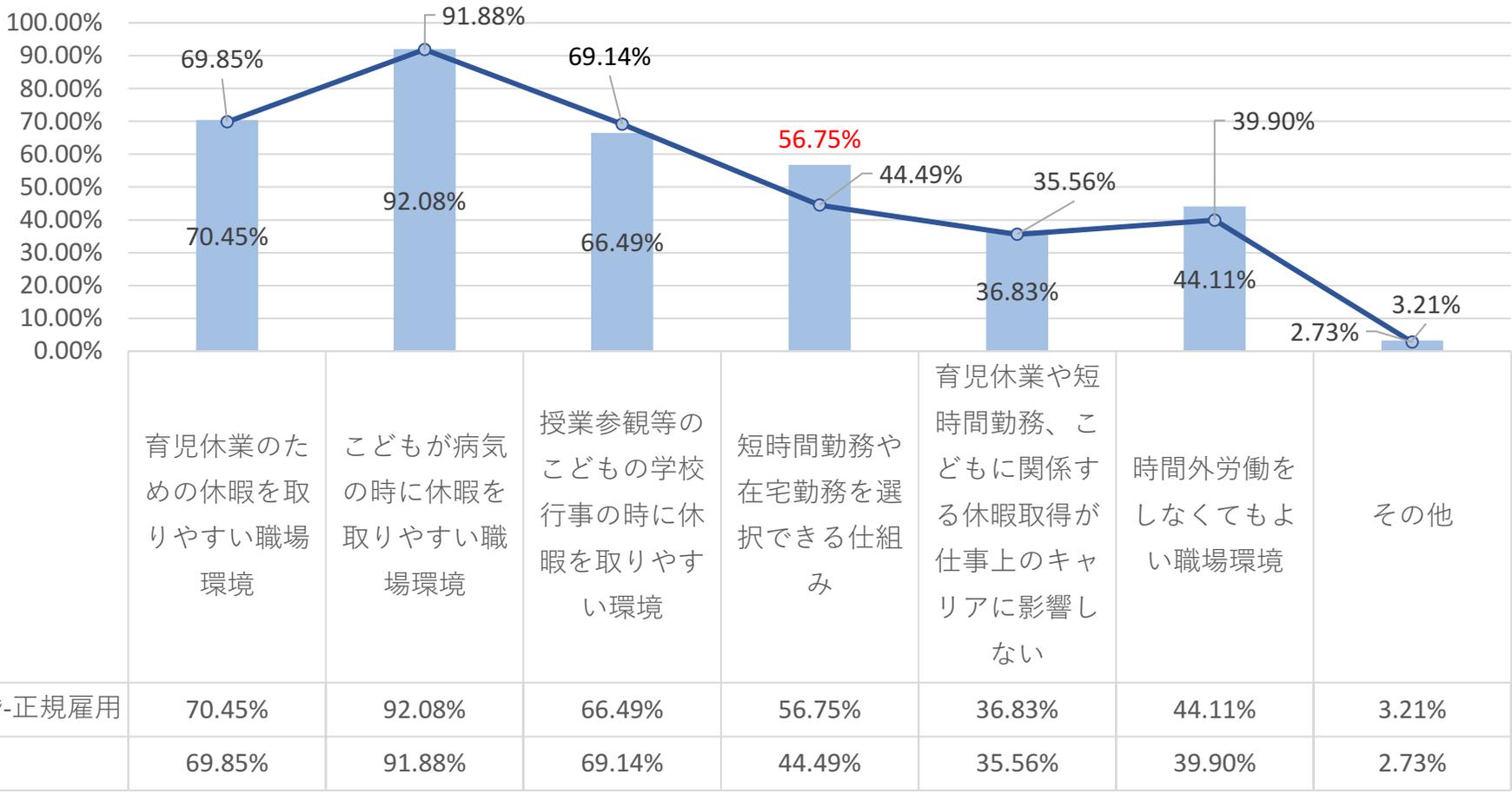
■ 女性-20代-未婚-正規雇用 ● 全体

q1性別(女性)・q2年齢(20代)・q12婚姻状況(未婚)・q8雇用形態×q27環境充実のために必要な支援「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」(※表は一部抜粋)

χ²=8.6 自由度=1 p<0.01

表47 女性×30代×既婚×正規雇用×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

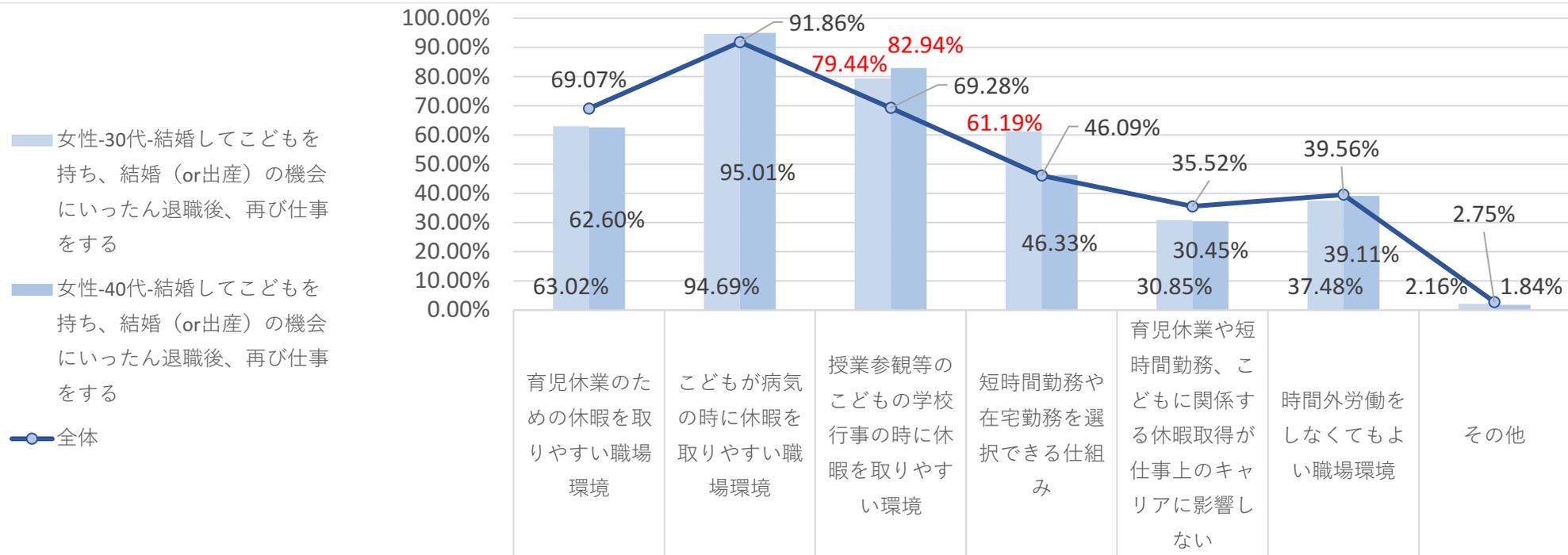
正規雇用の30代の既婚女性は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



■ 女性-30代-既婚-正規雇用 ● 全体

表48 女性×30代or40代×結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

30代と40代の女性で結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事することを希望する人は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。また、同様の希望を持つ30代女性は「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



女性-30代-結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする	63.02%	94.69%	79.44%	61.19%	30.85%	37.48%	2.16%
女性-40代-結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする	62.60%	95.01%	82.94%	46.33%	30.45%	39.11%	1.84%
全体	69.07%	91.86%	69.28%	46.09%	35.52%	39.56%	2.75%

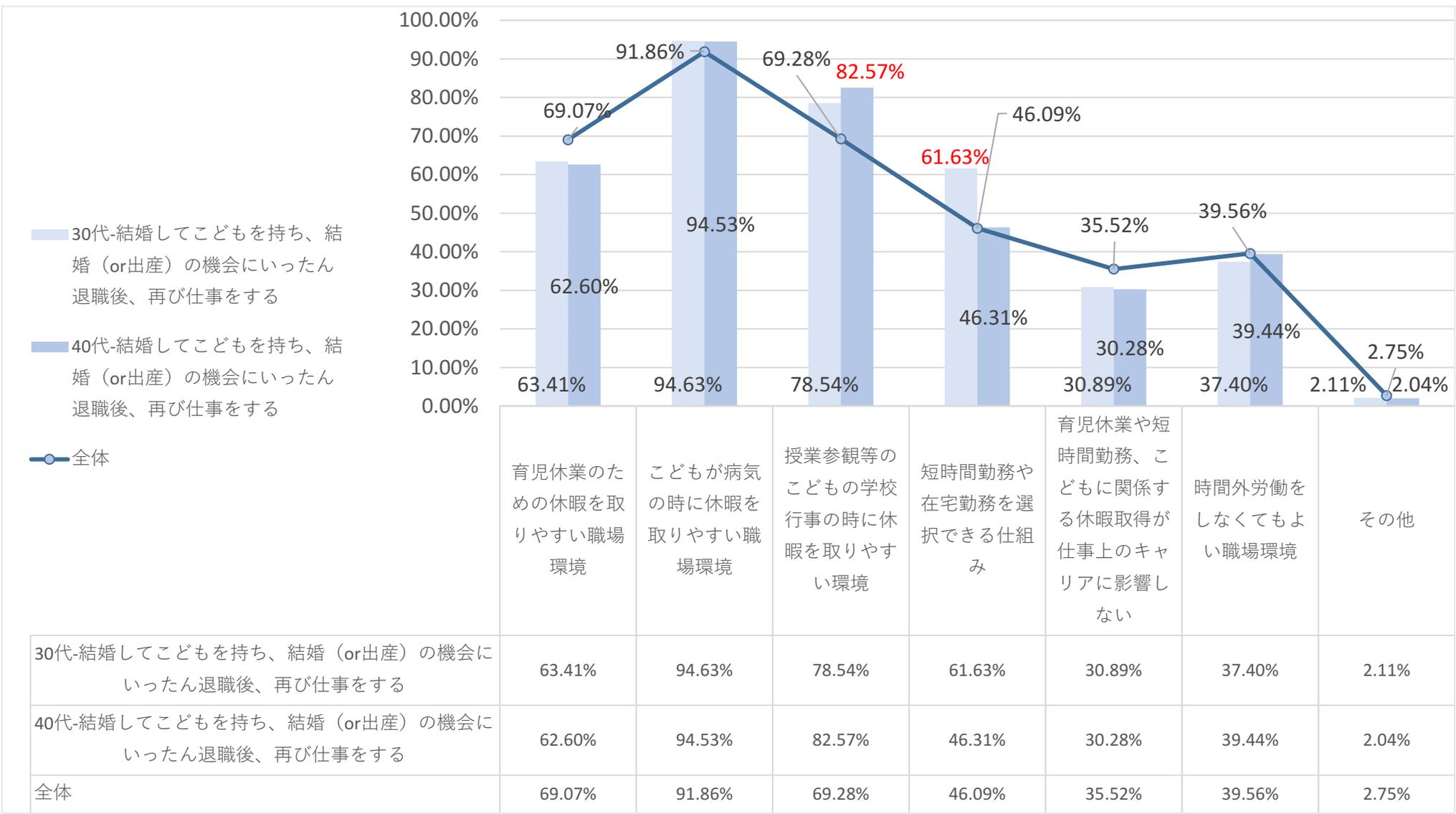
Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q27環境充実のために必要な支援「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」(※表は一部抜粋)
 $\chi^2=31.7$ 自由度=4 $p<0.001$

Q1性別(女性)・Q2年齢(40代)・Q23希望するライフスタイル×Q27環境充実のために必要な支援「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」(※表は一部抜粋)
 $\chi^2=40.1$ 自由度=4 $p<0.001$

Q1性別(女性)・Q2年齢(30代)・Q23希望するライフスタイル×Q27環境充実のために必要な支援「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」(※表は一部抜粋)
 $\chi^2=18$ 自由度=4 $p<0.01$

表49 30代or40代×結婚してこどもを持ち結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする×働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援

結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をするを希望する30代の人は、働きながら子育てをする環境充実のために必要な支援として「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。同様の希望を持つ40代の人は「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

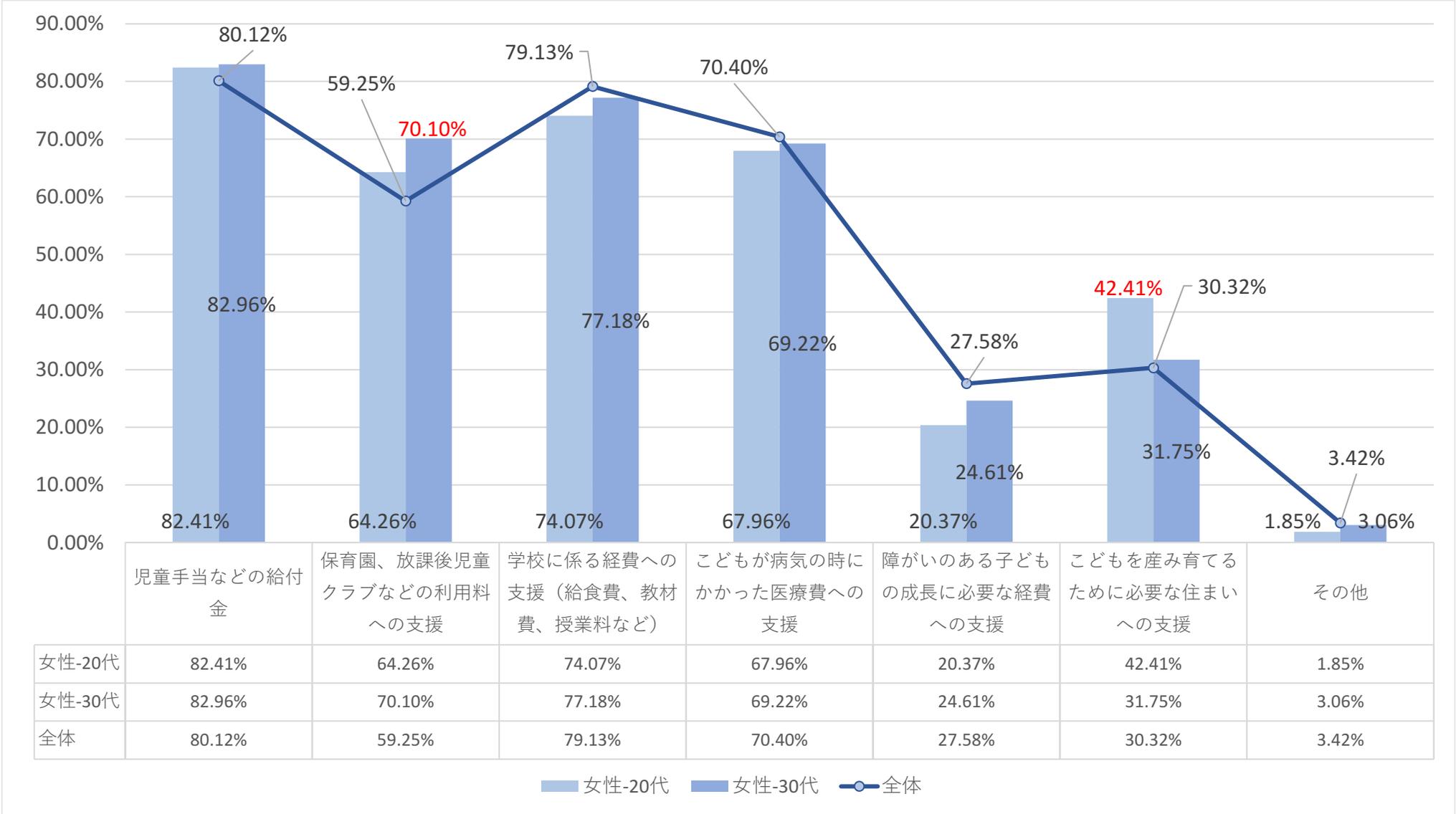


54 Q2年齢（30代）・Q23希望するライフスタイル×Q27環境充実のために必要な支援「短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み」（※表は一部抜粋） $\chi^2=29$ 自由度=4 $p<0.001$

Q2年齢（40代）・Q23希望するライフスタイル×Q27環境充実のために必要な支援「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」（※表は一部抜粋） $\chi^2=59.1$ 自由度=4 $p<0.001$

表50 女性×20代or30代×子どもを産み育てていくために必要な資金

20代30代の女性は、子どもを産み育てていくために必要な資金として「児童手当などの給付金」を最も多く回答。また、20代の女性は「子どもを産み育てるために必要な住まいへの支援」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。30代の女性は「保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q2年齢×Q28必要な資金「保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援」(※表は一部抜粋) $\chi^2=173.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q2年齢×Q28必要な資金「子どもを産み育てるために必要な住まいへの支援」(※表は一部抜粋) $\chi^2=79.6$ 自由度=4 $p<0.001$

表51 女性×30代×理想のこどもの人数と現実にギャップあり×子どもを産み育てていくために必要な資金

理想のこどもの人数と現実にギャップがある（少ない）30代の女性は、子どもを産み育てていくために必要な資金として「保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

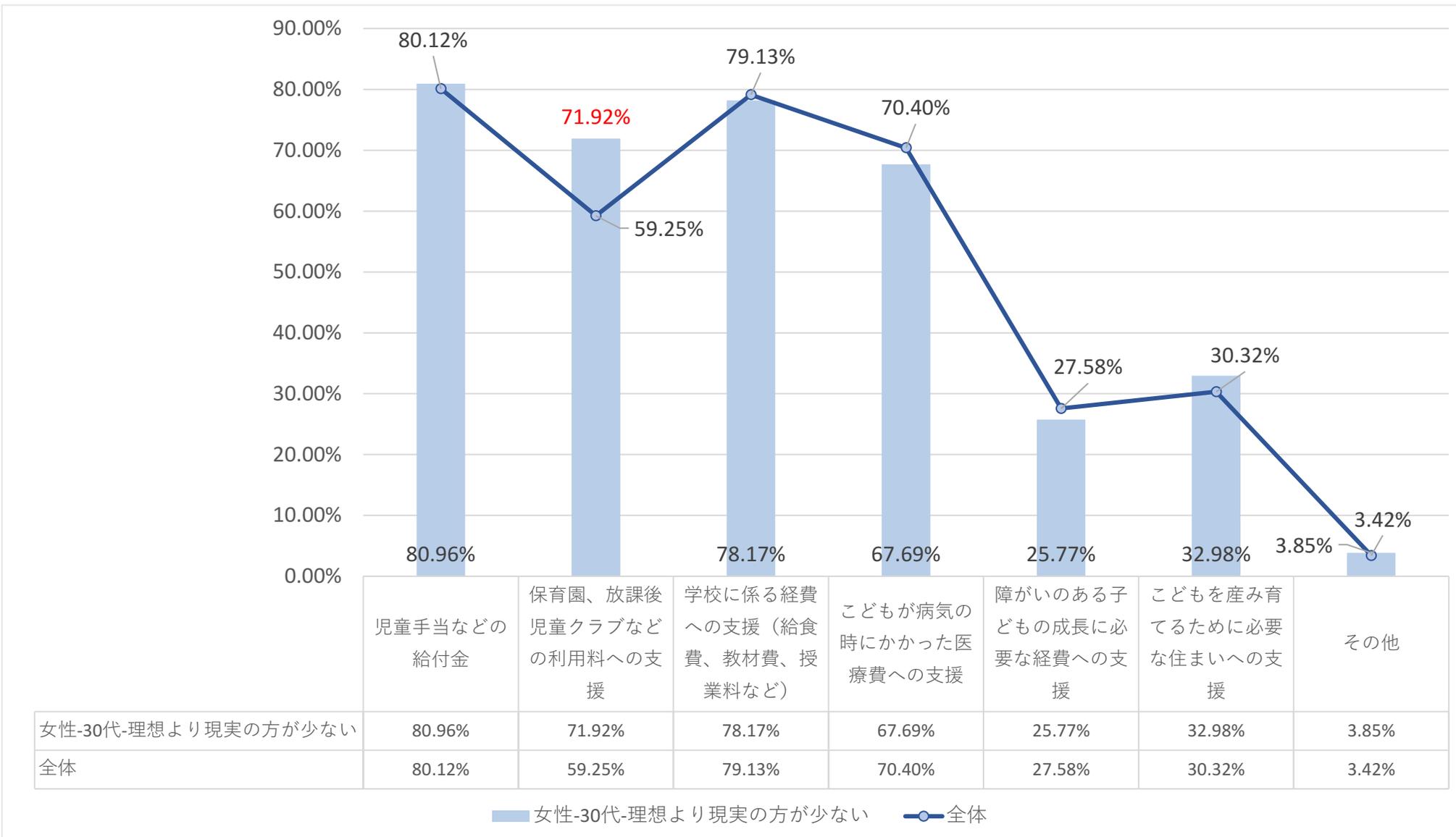


表52 女性×30代×熊本市在住×不便さを感じる交通機関

熊本市在住の30代の女性は、子育て中の人が不便さを感じることもある交通機関として「市電」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

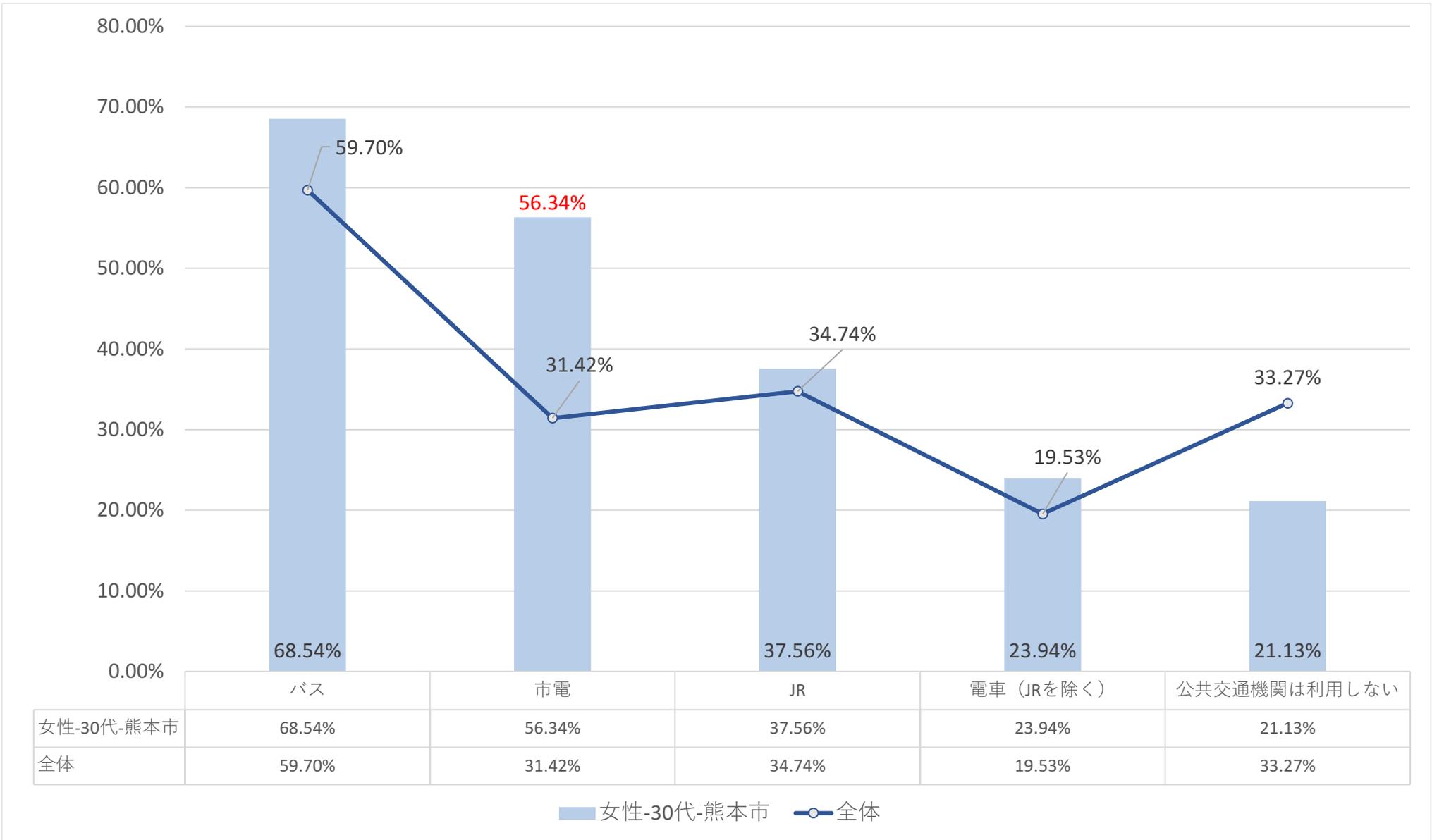


表53 男性×未婚×理想のこどもの人数

未婚の男性は、理想のこどもの人数として「0人」または「2人」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

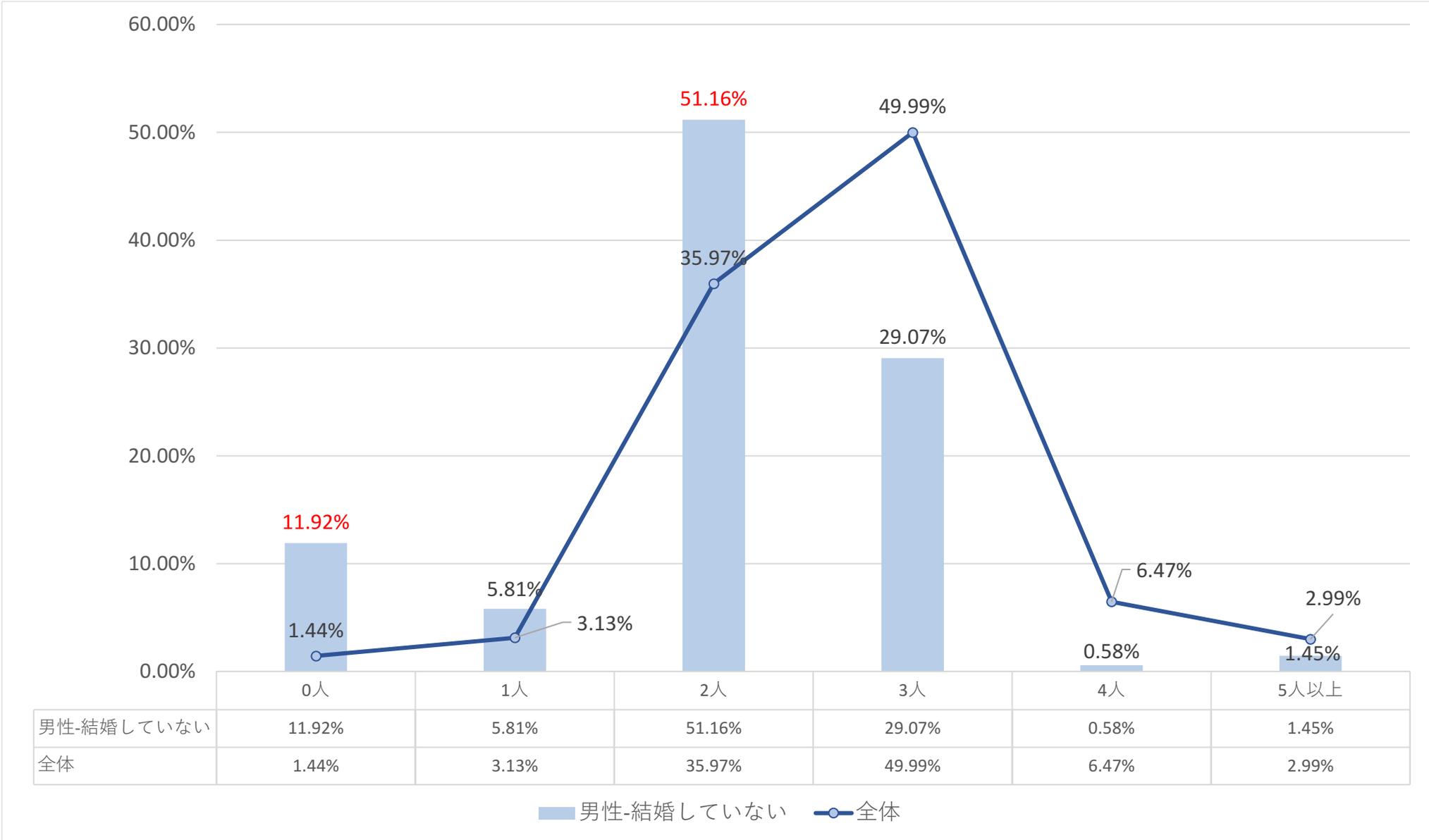


表54 女性×20代×未婚×理想のこどもの人数

20代の未婚の女性は、理想のこどもの人数として「2人」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

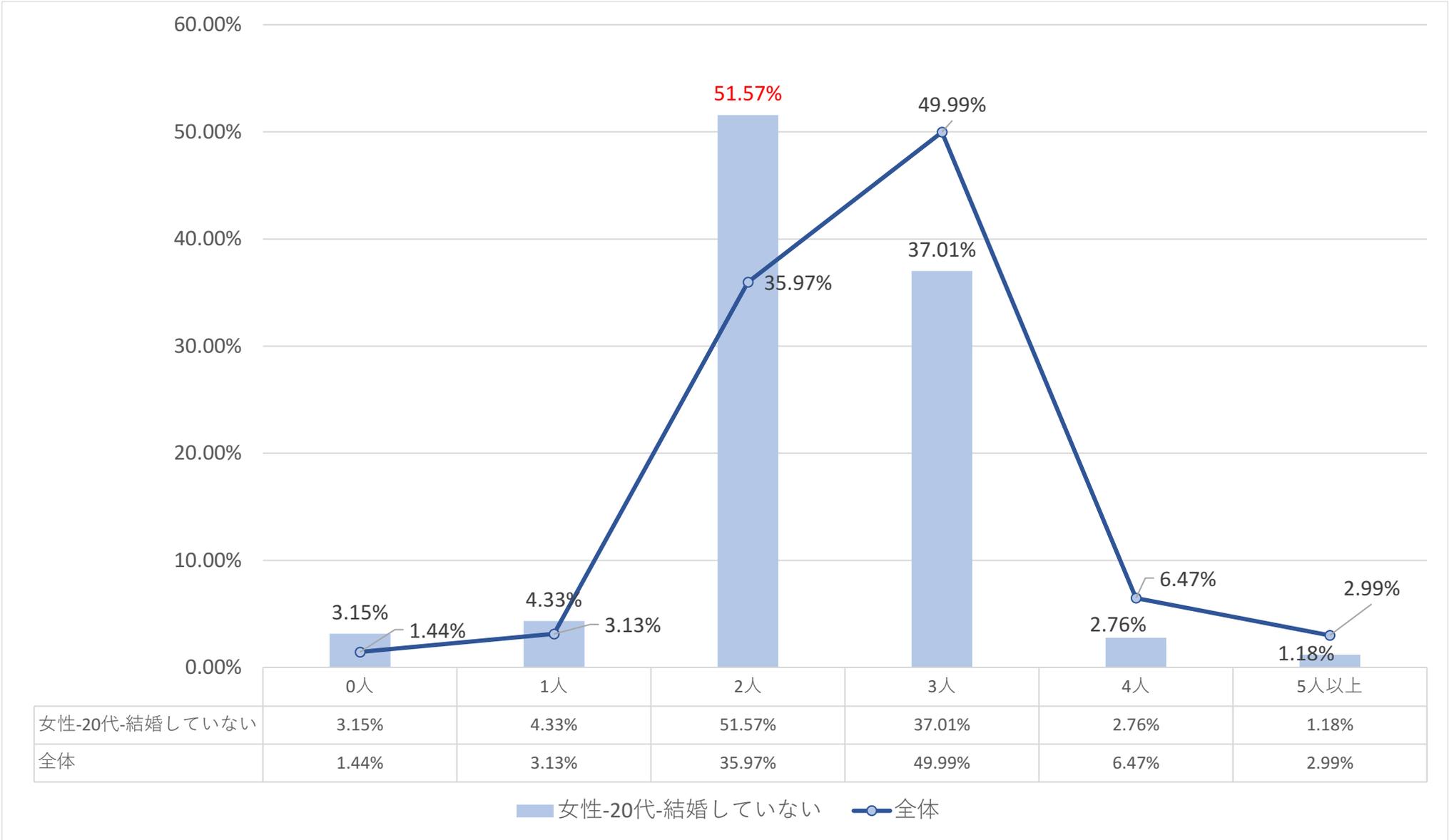
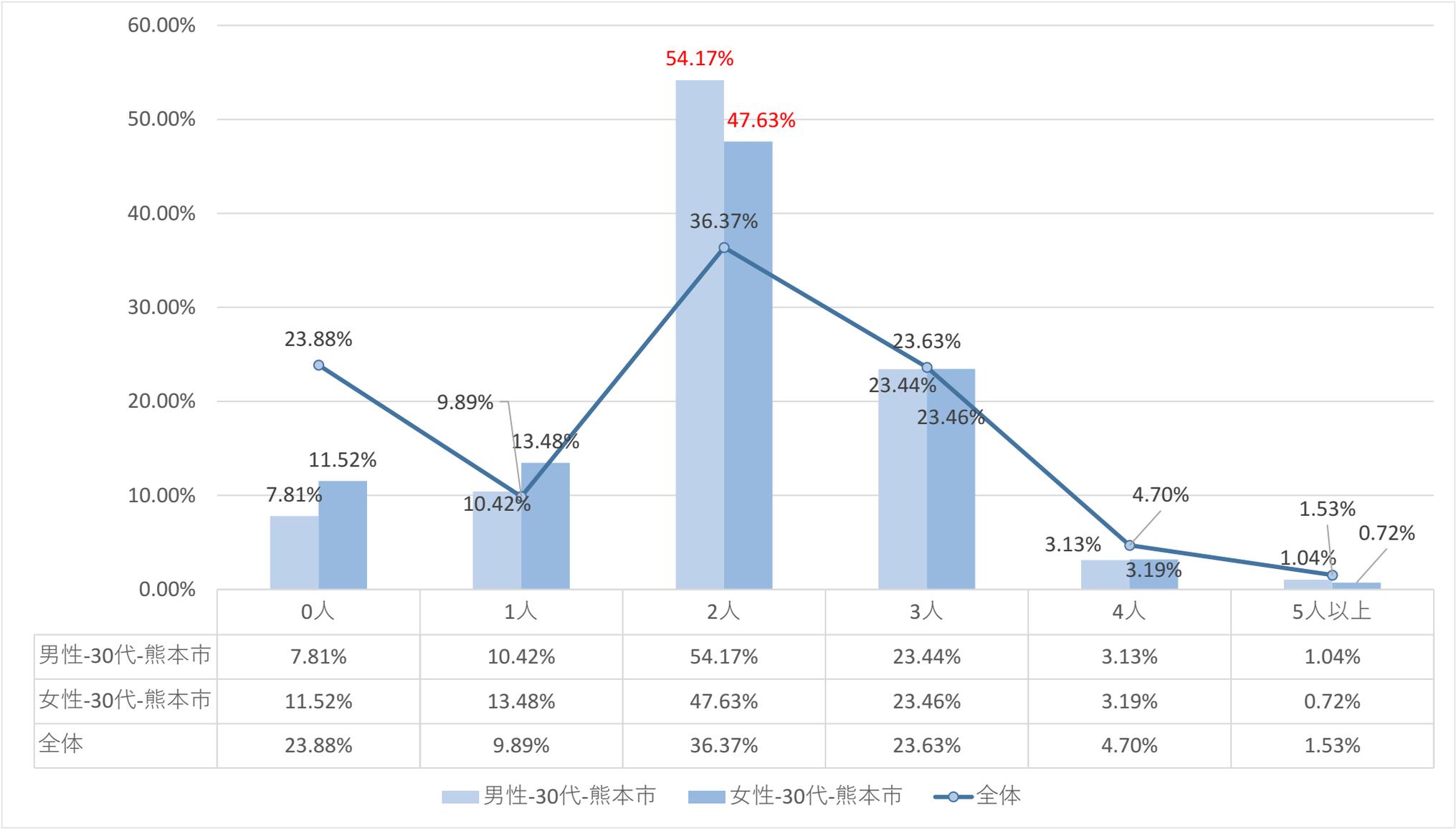


表55 女性or男性×30代×熊本市在住×現実的なこどもの人数

熊本市在住の30代は男女はともに、現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数として「2人」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（男性）・Q2年齢（30代）・Q4居住地域×Q36現実的なこどもの人数（※表は一部抜粋） $\chi^2=39.7$ 自由度=25 $p<0.05$
 Q1性別（女性）・Q2年齢（30代）・Q4居住地域×Q36現実的なこどもの人数（※表は一部抜粋） $\chi^2=113.7$ 自由度=25 $p<0.001$

表56 30代×熊本市在住×現実的なこどもの人数

熊本市在住の30代は、現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数として「2人」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

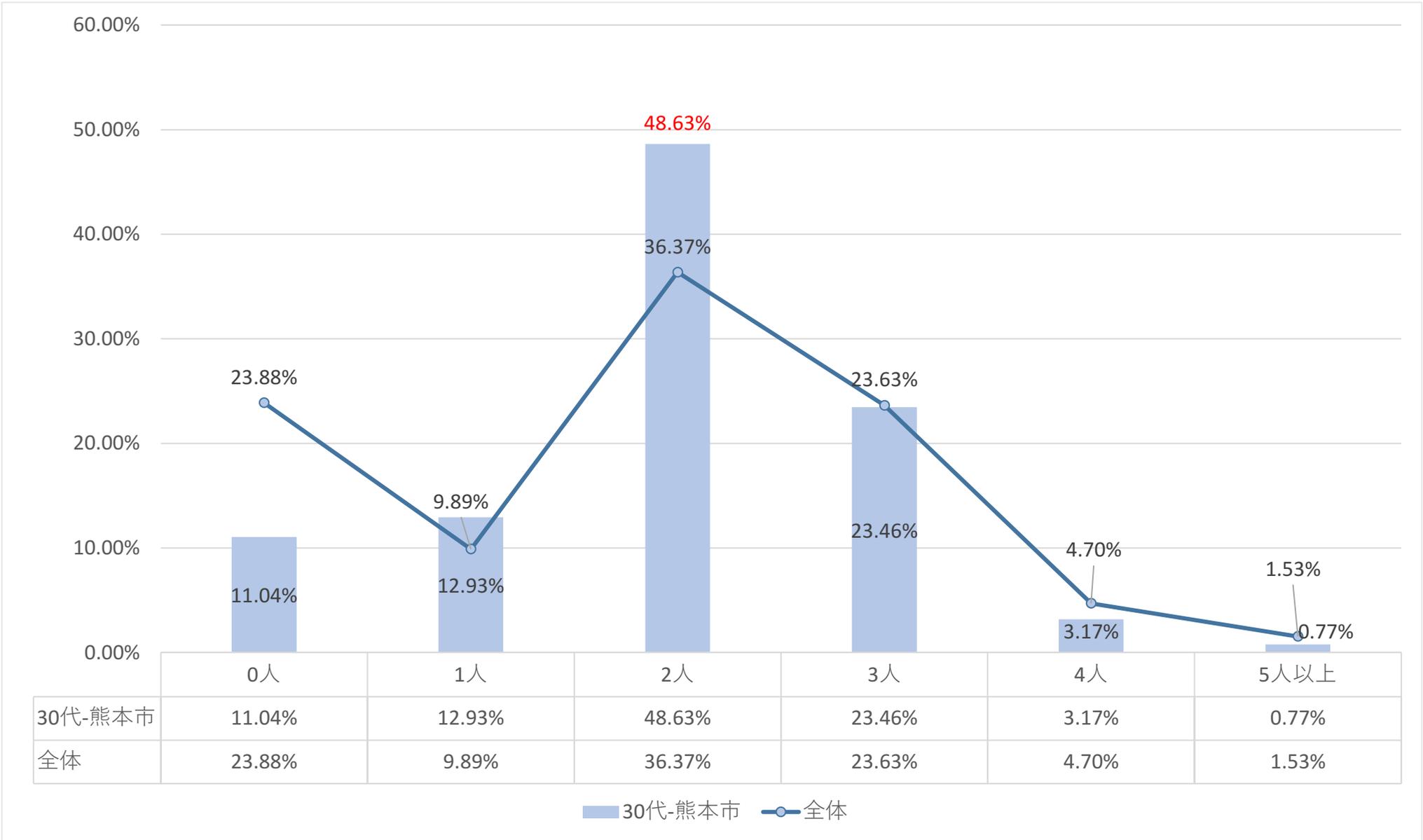


表57 女性×理想のこどもの人数より現実に持つこどもの人数が少ないor同じor多い×現実的なこどもの人数

理想のこどもの人数より現実に持つこどもの人数が多い女性は、現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数として「3人」または「4人」と答える傾向。

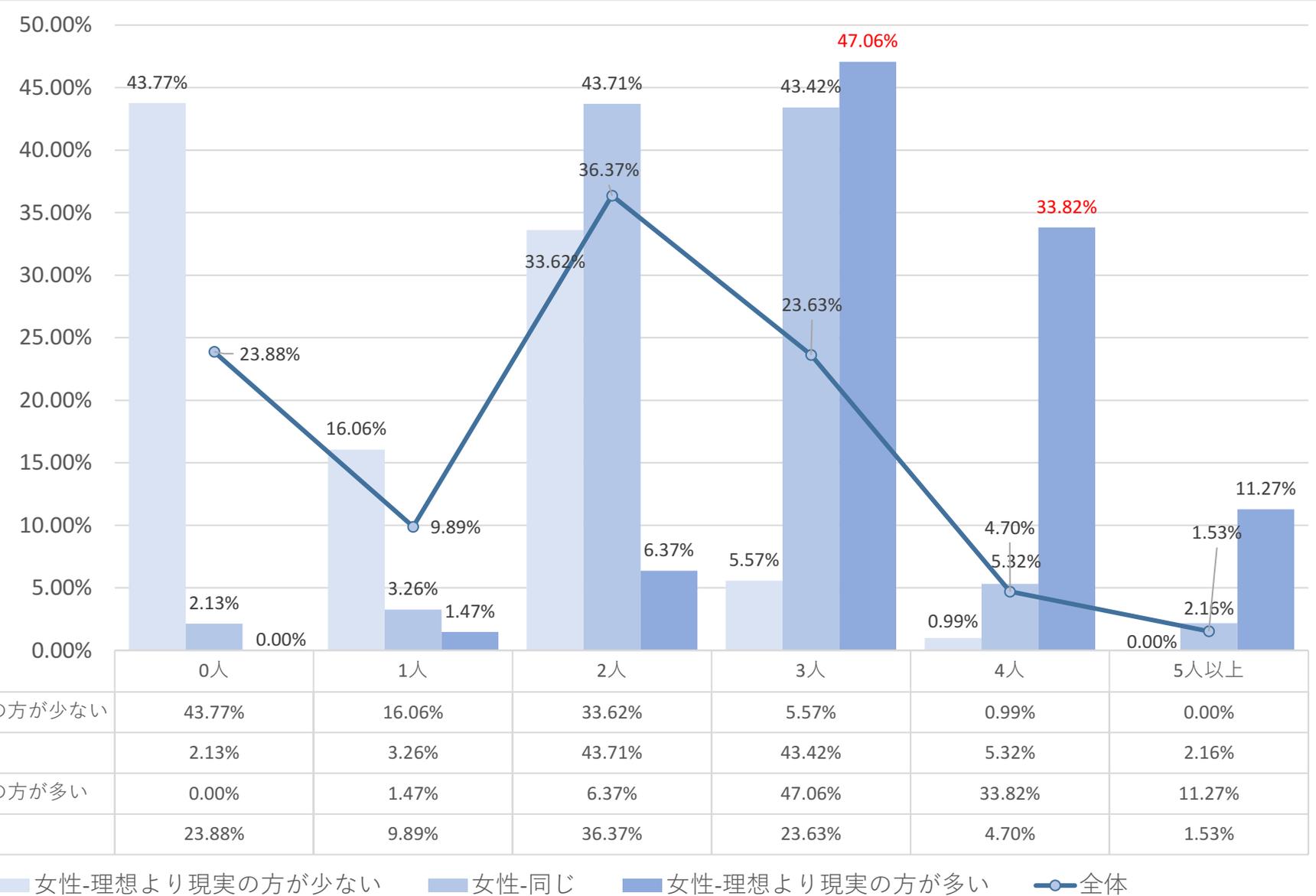


表58 女性×20代×結婚希望あり×現実的なこどもの人数

結婚を希望する20代の女性は、現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数として「2人」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

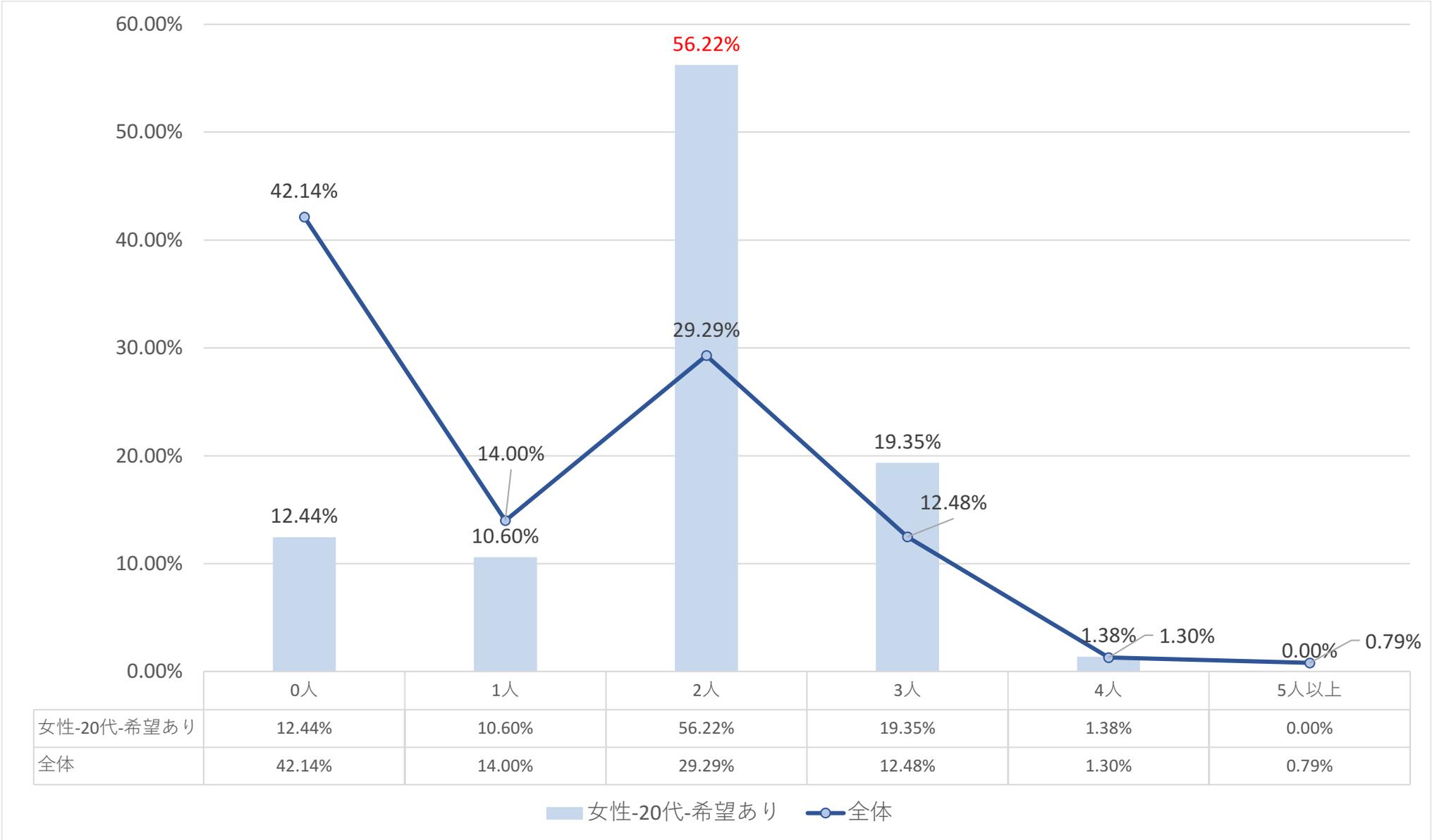


表59 女性×20代×現実的なこどもの人数

20代の女性は、現実的に持つ（または持つ予定）のこどもの人数として「2人」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

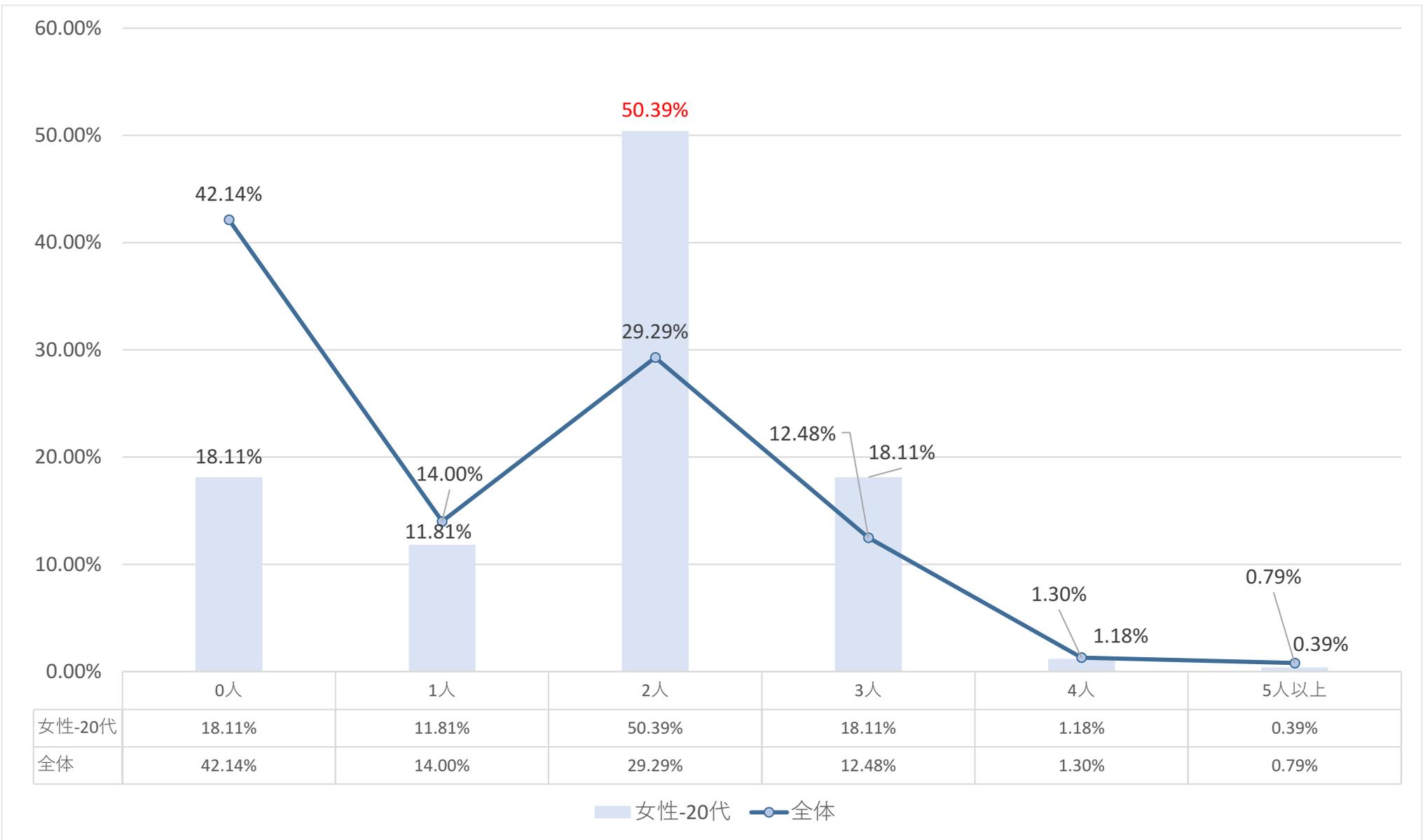
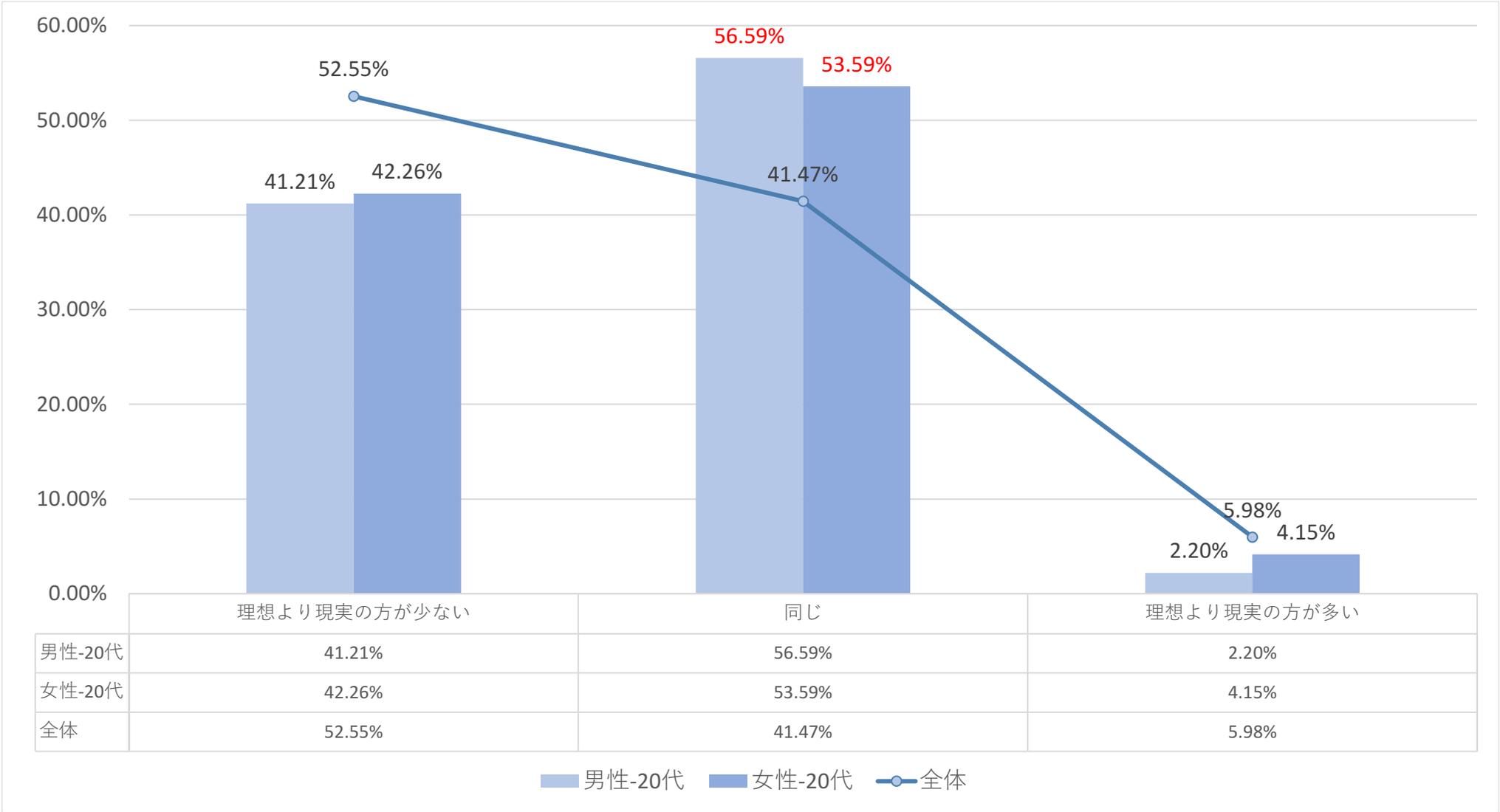


表60 男性or女性×20代×こどもの人数における理想と現実のギャップ

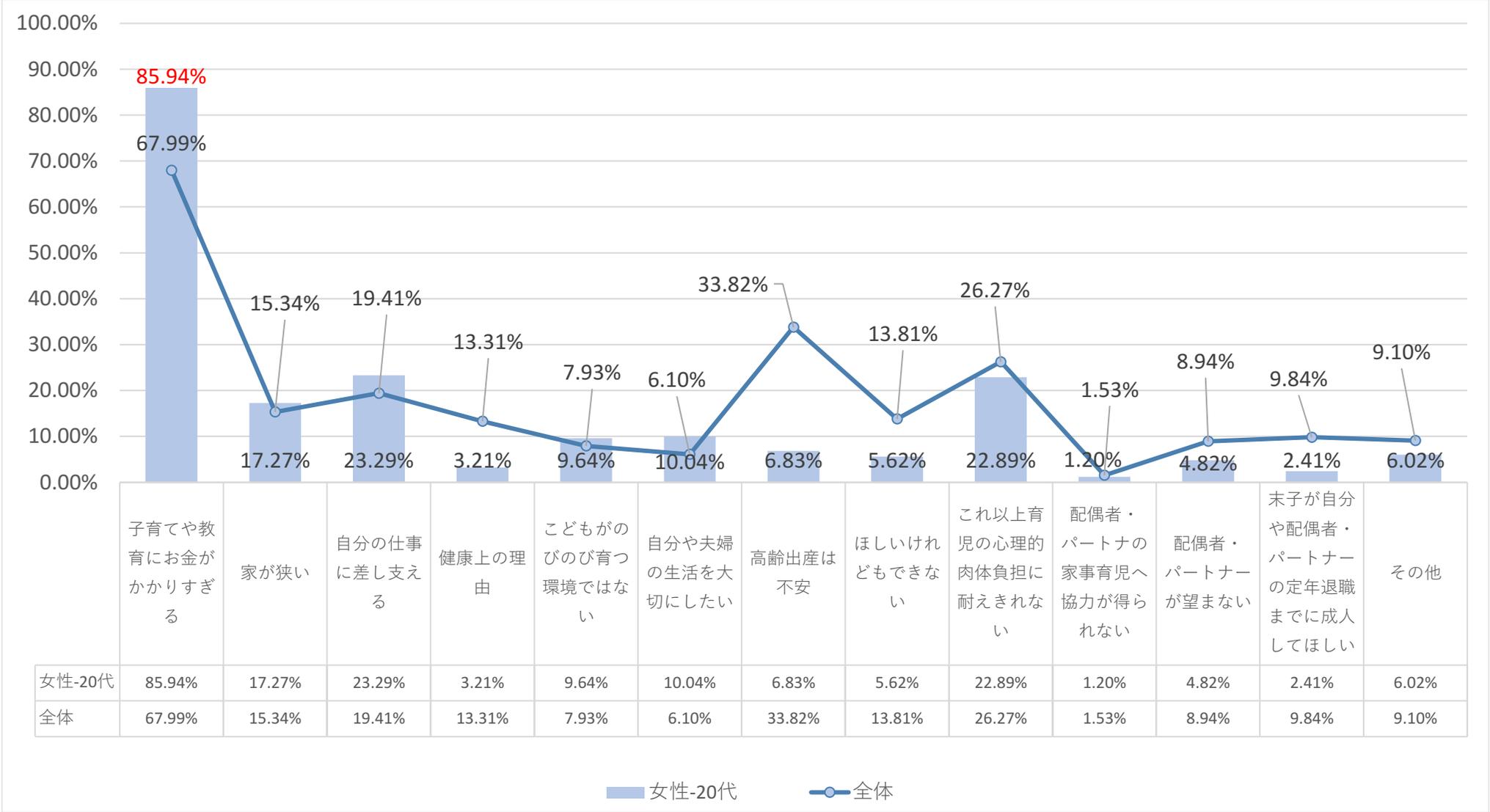
20代は男女を問わず、理想のこどもの人数と現実的に持つ予定のこどもの人数として「同じ」という人が全体と比較して多い傾向。



Q1性別（男性）・Q2年齢×Q35,36理想と現実のギャップ（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=81.6$ 自由度=8 $p<0.001$
 Q1性別（女性）・Q2年齢×Q35,36理想と現実のギャップ（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=87$ 自由度=8 $p<0.001$

表61 女性×20代×理想のこどもの人数より現実に持てるこどもの人数が少ない理由

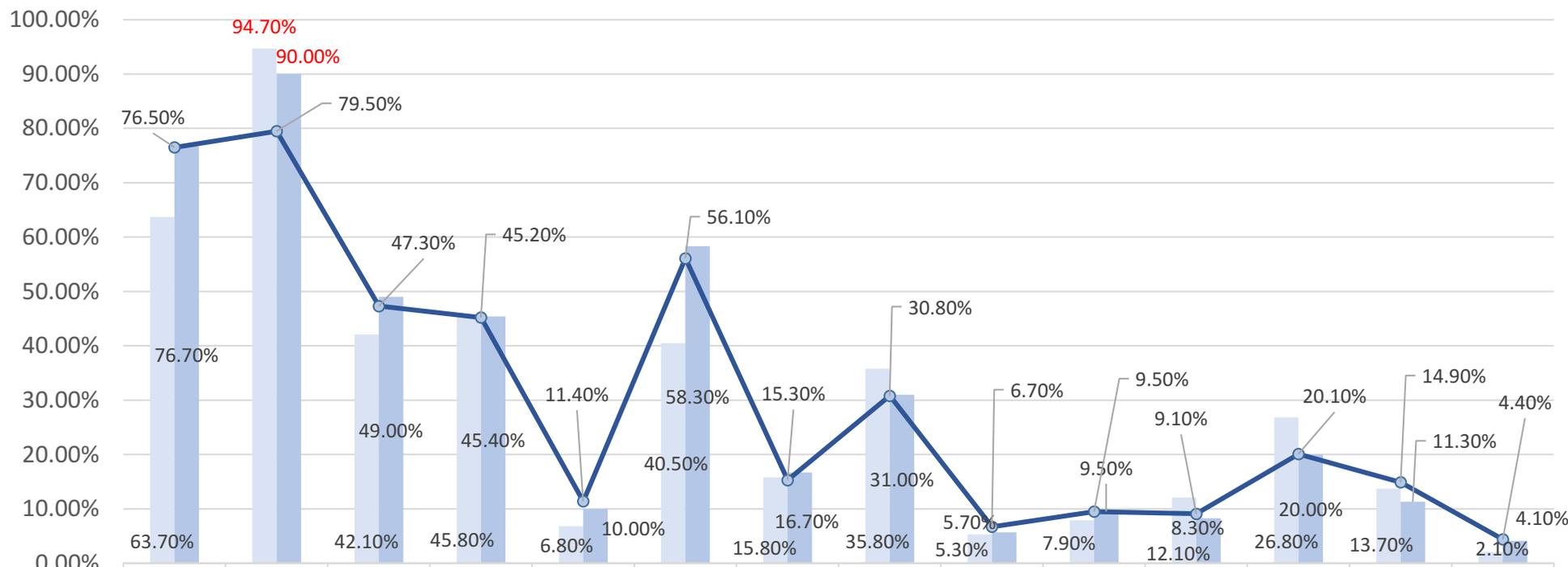
20代の女性は、現実に持てるこどもの人数が理想よりも少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（女性）・Q2年齢×Q3理想より少ない理由「子育てや教育にお金がかかりすぎる」（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=41.5$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別（女性）・Q2年齢×Q3理想より少ない理由「高齢出産は不安」（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=198.1$ 自由度=4 $p<0.001$

表62 女性×20代or30代×子ども1人×若年層定着のために充実させるべきもの

1人の子どもを持つ20代と30代の女性は、若年層定着のために充実させるべきものとして「子育てをしやすい環境の充実」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



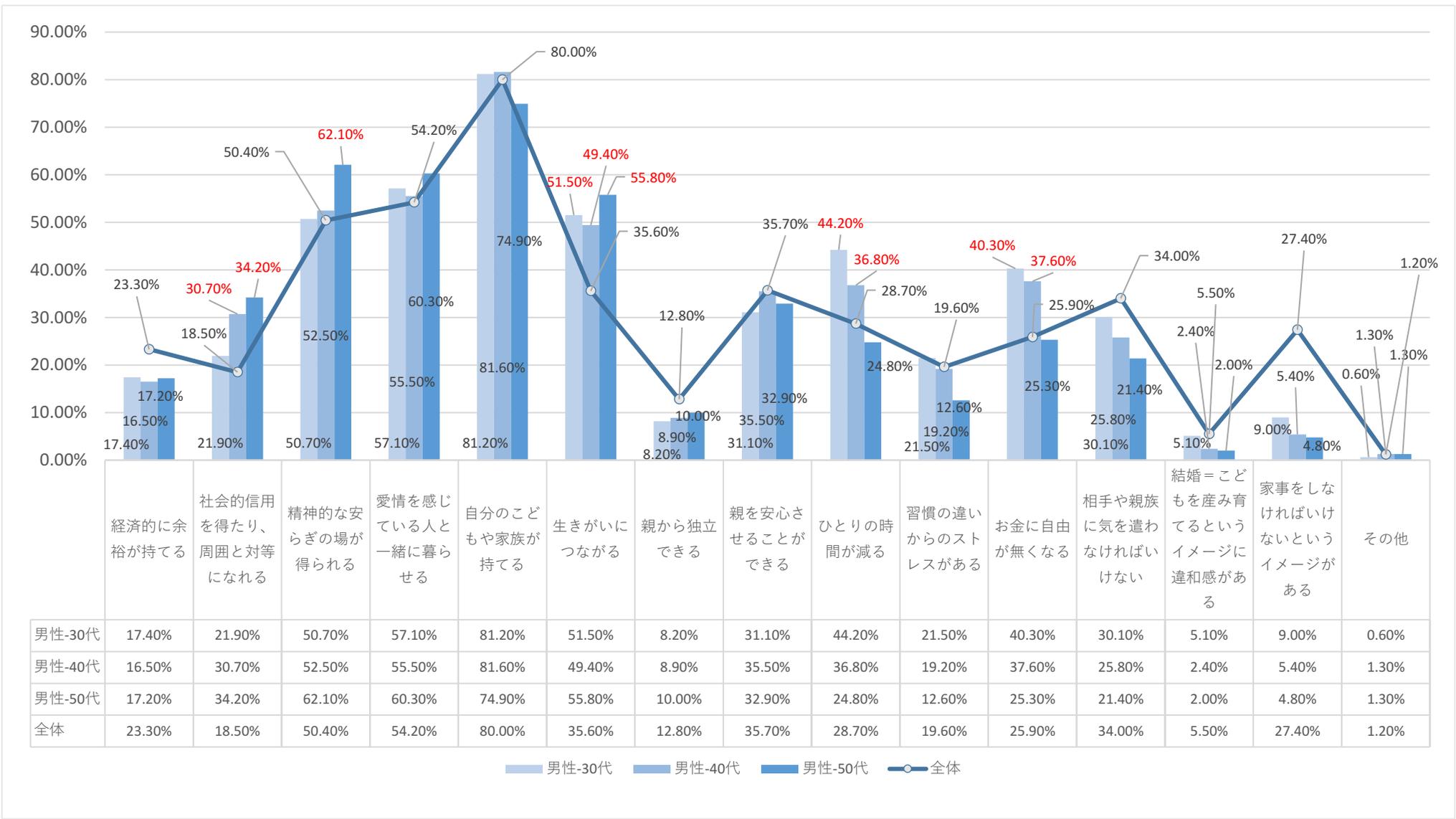
	企業の魅力向上 (働き続けたいと思う仕事や職場環境など)	子育てをしやすい環境の充実	教育環境の充実	医療・福祉体制の充実	デジタル環境の充実	交通環境の利便性向上	災害に強い街への整備	安全・安心な生活環境 (交通安全・防犯)	環境に優しい暮らしができる地域への変化	パートナーと出会うきっかけづくり	自然・食の魅力の向上	非日常を楽しめる娯楽やスポット	熊本で生活する魅力の情報発信	その他
女性-20代-1人	63.70%	94.70%	42.10%	45.80%	6.80%	40.50%	15.80%	35.80%	5.30%	7.90%	12.10%	26.80%	13.70%	2.10%
女性-30代-1人	76.70%	90.00%	49.00%	45.40%	10.00%	58.30%	16.70%	31.00%	5.70%	9.50%	8.30%	20.00%	11.30%	4.10%
全体	76.50%	79.50%	47.30%	45.20%	11.40%	56.10%	15.30%	30.80%	6.70%	9.50%	9.10%	20.10%	14.90%	4.40%

■ 女性-20代-1人 ■ 女性-30代-1人 ● 全体

Q1性別 (女性) ・ Q2年齢 (20代) ・ Q34子ども人数×Q11若年層定着のために充実させるべきもの「子育てをしやすい環境の充実」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=44.9$ 自由度=3 $p<0.001$
 Q1性別 (女性) ・ Q2年齢 (30代) ・ Q34子ども人数×Q11若年層定着のために充実させるべきもの「子育てをしやすい環境の充実」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=36.5$ 自由度=3 $p<0.001$

表63 男性×30代or40代or50代×結婚に対するイメージ

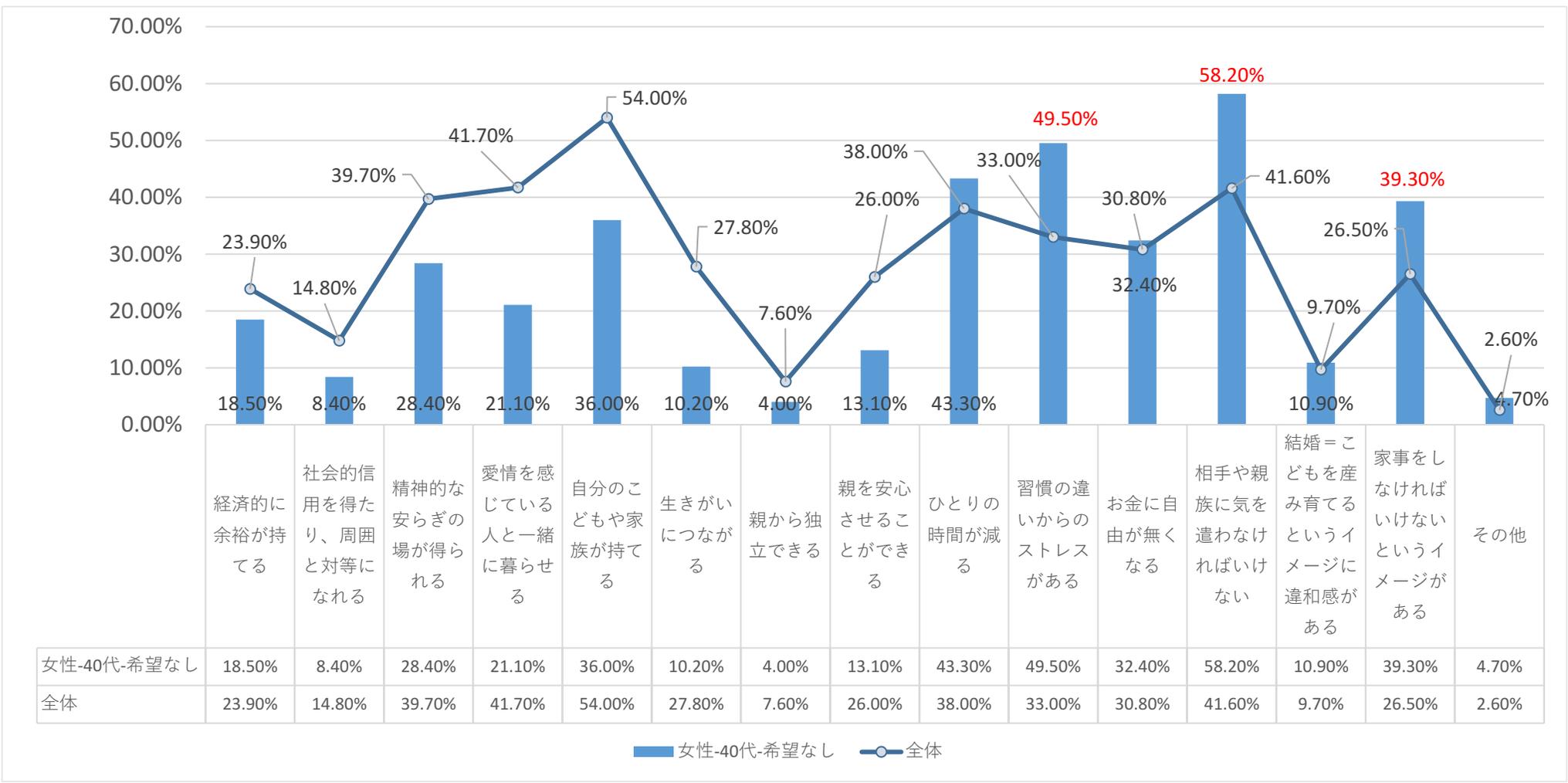
30代、40代、50代の男性は、結婚に対するイメージとして「生きがいにつながる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。40代と50代の男性では、「社会的信用を得たり、周囲と対等になれる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。また、30代と40代の男性では、「ひとりの時間が減る」「お金に自由が無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向もある。50代男性は「精神的な安らぎの場が得られる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（男性）・Q2年齢×Q20結婚に対するイメージ「社会的信用を得たり、周囲と対等になれる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=44.4$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別（男性）・Q2年齢×Q20結婚に対するイメージ「精神的な安らぎの場が得られる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=28.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別（男性）・Q2年齢×Q20結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=48.9$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別（男性）・Q2年齢×Q20結婚に対するイメージ「お金に自由が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=33.4$ 自由度=4 $p<0.001$

表64 女性×40代×結婚希望なし×結婚に対するイメージ

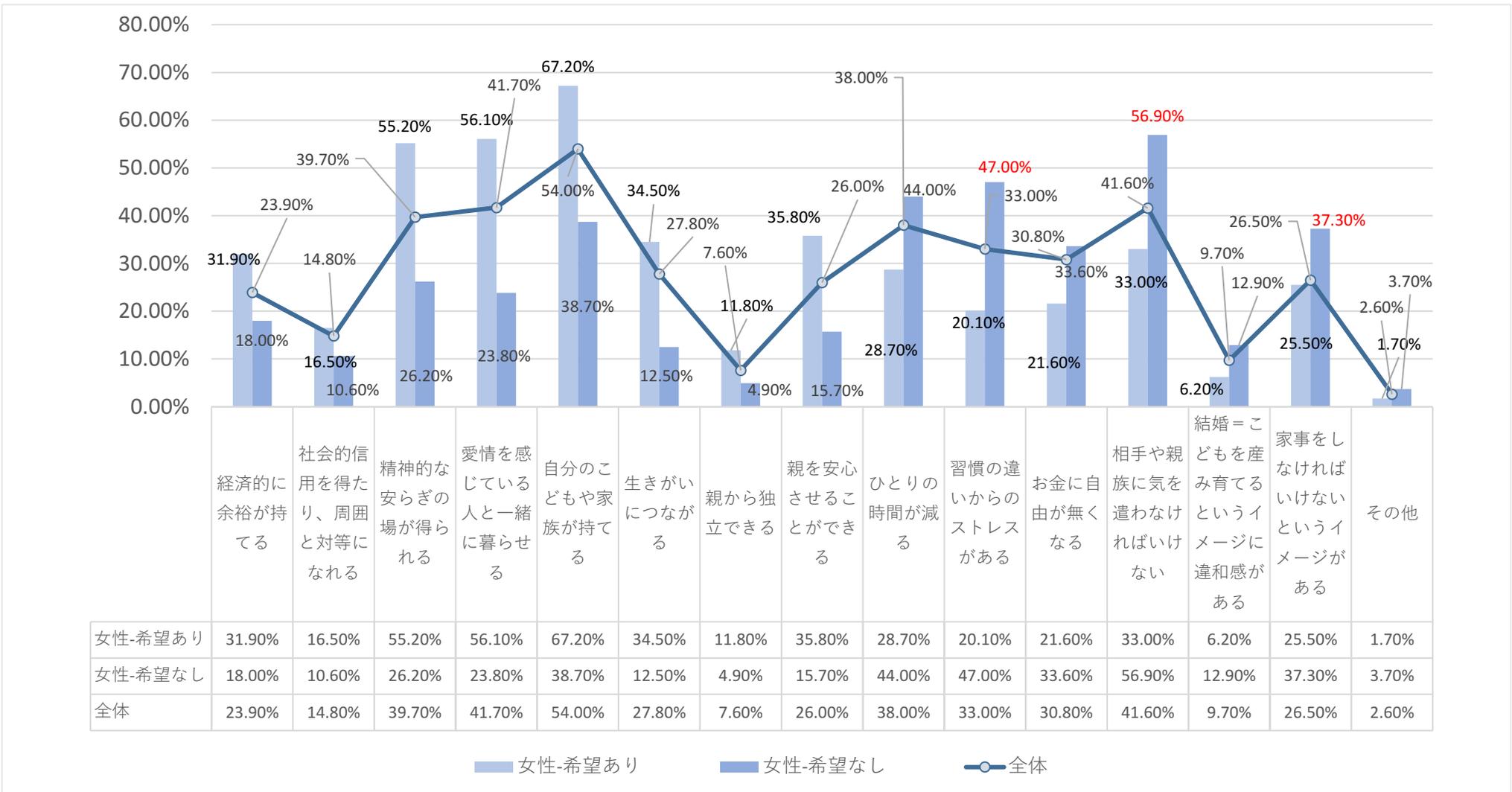
結婚を希望しない40代の女性は、結婚に対するイメージとして「習慣の違いからのストレスがある」「相手や親族に気を遣わなければならない」「家事をしなければいけないというイメージがある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（女性）・Q2年齢（40代）・結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「家事をしなければいけないというイメージがある」（※表は一部抜粋） $\chi^2=4.2$ 自由度=1 p<0.05
 Q1性別（女性）・Q2年齢（40代）・結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」（※表は一部抜粋） $\chi^2=23.4$ 自由度=1 p<0.001
 Q1性別（女性）・Q2年齢（40代）・結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければならない」（※表は一部抜粋） $\chi^2=24.8$ 自由度=1 p<0.001

表65 女性×結婚希望なし×結婚に対するイメージ

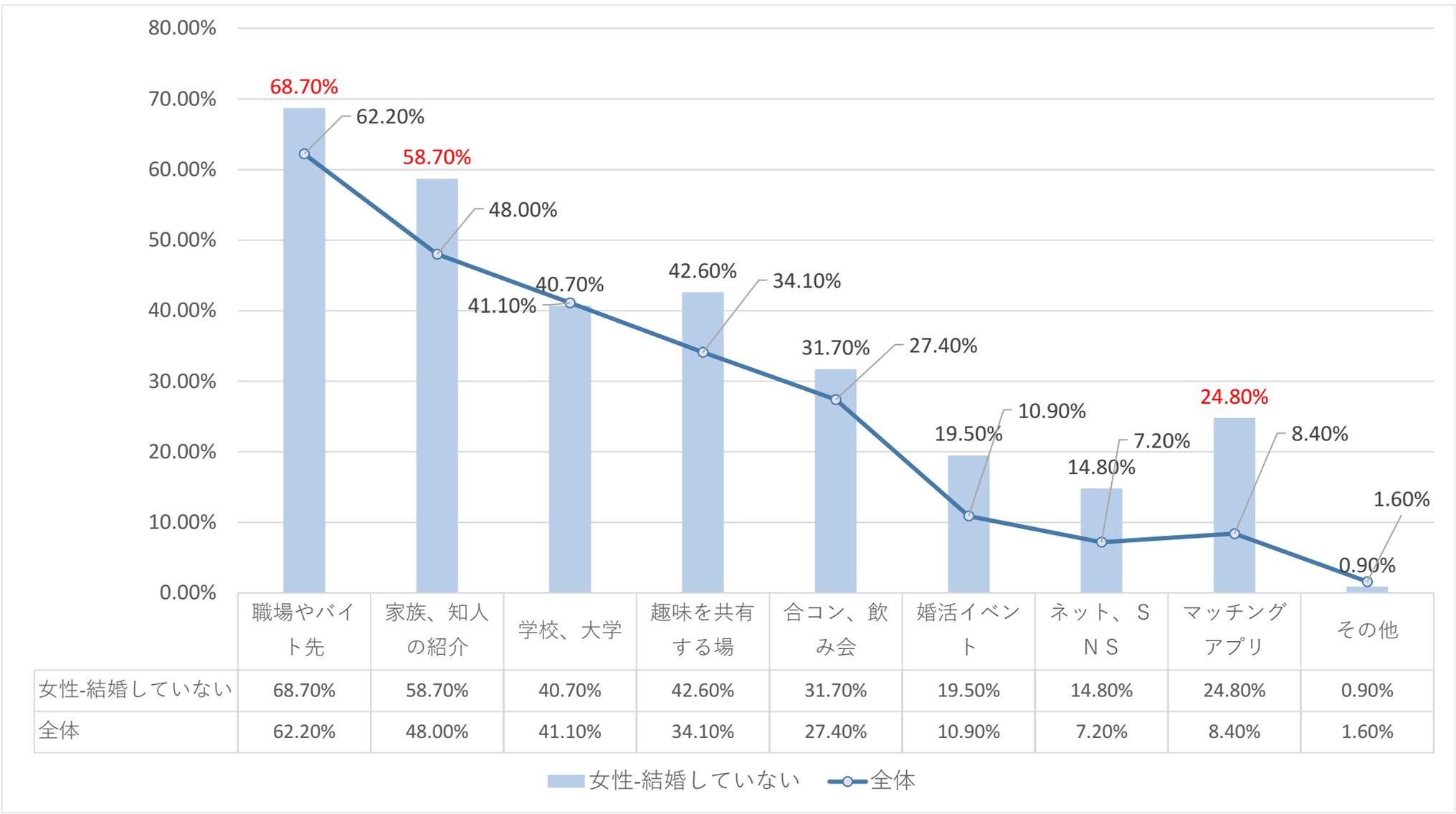
結婚を希望しない女性は、結婚に対するイメージとして「習慣の違いからのストレスがある」「相手や親族に気を遣わなければいけない」「家事をしなければいけないというイメージがある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別（女性）・結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=85.6$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q1性別（女性）・結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=55$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q1性別（女性）・結婚希望×Q20結婚に対するイメージ「家事をしなければいけないというイメージがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=18.2$ 自由度=1 $p<0.001$

表66 女性×未婚×結婚に繋がる出会いのシーン

未婚の女性は、結婚に繋がると思う出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「家族、知人の紹介」や「マッチングアプリ」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

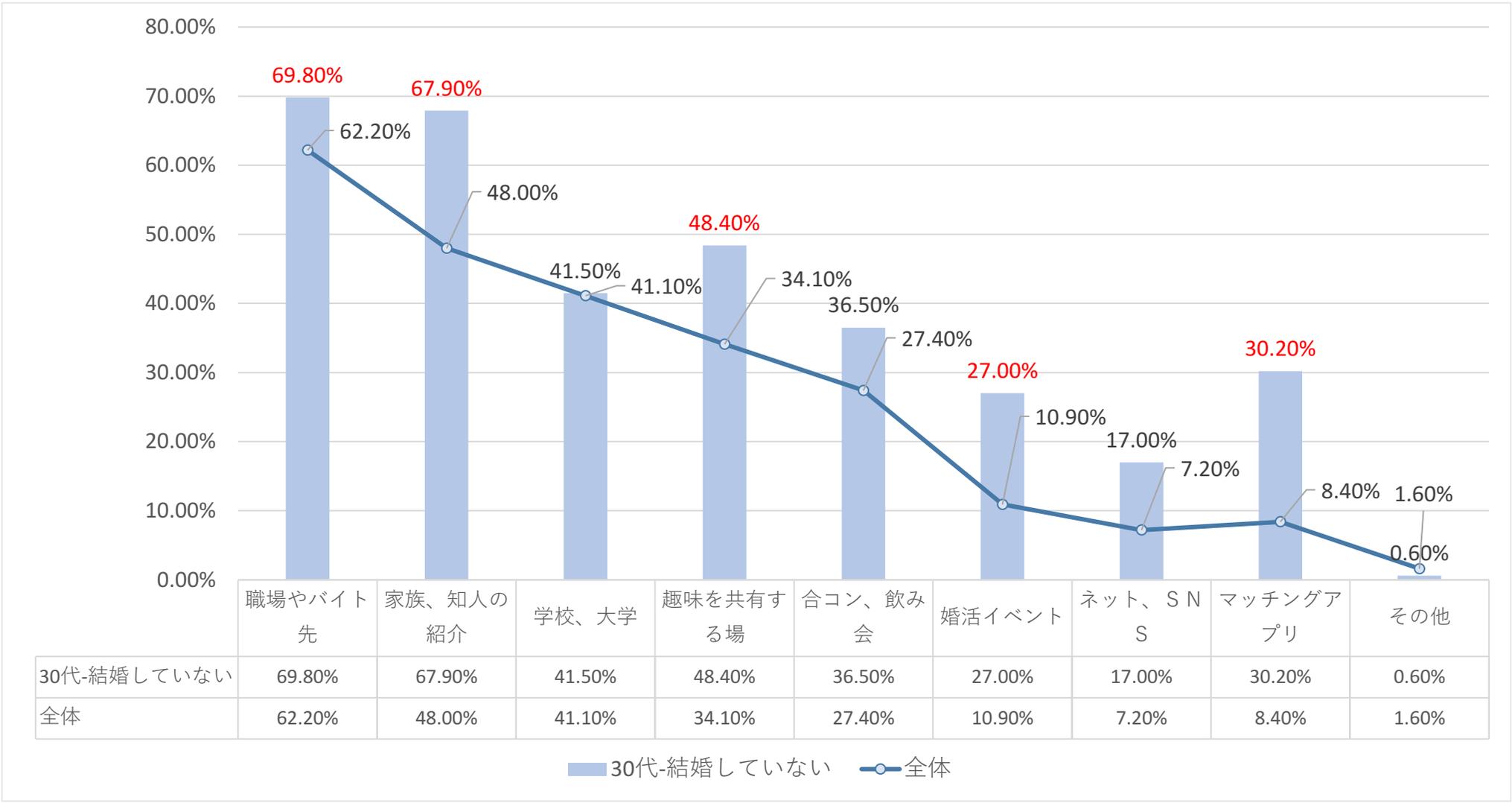


Q1性別（女性）・Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「家族、知人の紹介」（※表は一部抜粋） $\chi^2=21.5$ 自由度=1 $p<0.001$

Q1性別（女性）・Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「マッチングアプリ」（※表は一部抜粋） $\chi^2=198.1$ 自由度=1 $p<0.001$

表67 30代×未婚×結婚に繋がる出会いのシーン

30代の未婚者は、結婚に繋がると思う出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「家族、知人の紹介」や「趣味を共有する場」「婚活イベント」「マッチングアプリ」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q2 (30代) ・ Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「家族、知人の紹介」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=26$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q2 (30代) ・ Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「趣味を共有する場」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=17.9$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q2 (30代) ・ Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「婚活イベント」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=25$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q2 (30代) ・ Q12婚姻状況×Q22結婚に繋がる出会いのシーン「マッチングアプリ」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=69.8$ 自由度=1 $p<0.001$

表68 男性×20代or30代or40代or50代×希望するライフスタイル

男性は年齢に関わらず、希望するライフスタイルとして「結婚して子どもを持ち、仕事も続ける」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

